

【資料1】

令和7年度第1回 戸田市中小企業振興会議

戸田市 環境経済部 経済戦略室

令和7年6月3日（火） 13：30～

戸田市役所 501会議室

本日の流れ

1. 【議題 1】戸田市経済戦略プランにおける令和 6 年度の実績確認
2. 【議題 2】第 2 次経済戦略プラン策定に向けた現状把握と課題
3. 【議題 3】第 2 次経済戦略プラン（案）の基本方針と施策
4. その他

議題 1 戸田市経済戦略プランにおける 令和6年度の実績確認



【資料2】「経済戦略プラン進捗管理表」
を参照してください。

- ▶ 全48施策における
目標数値（KPI）に対する実績値及び進捗状況

議題 2 第2次経済戦略プラン策定に向けた 現状把握と課題

第2次プラン策定の方向性と策定スケジュール（リマインド）

戸田市企業経営状況調査の結果報告

第2次プランの骨子案及び本市の現状と課題

第2次経済戦略プラン策定の方向性と策定スケジュールについて

令和7年度第1回
戸田市中心企業振興会議【議題2】

令和7年度までを計画期間としている現在の戸田市経済戦略プランについて、以下のとおり改定に向けた取組を進める。

1 改定の基本方針

- (1) 現計画(48施策)の取組成果及び課題を明らかにするとともに、その有効性・実効性を検証・評価し、取組内容の整理を行う。
- (2) 基礎調査として、市内企業を対象とした経営状況調査を実施するとともに、今年度実施した労働者意識調査結果等により現状把握を行った上で、各種調査結果を踏まえた施策の検討を行う。
- (3) 昨今の社会経済状況の変化等を的確に捉え、より実効性の高い計画とする。

2 計画期間

戸田市総合振興計画との整合性を図るため、計画期間は2026(令和8)年度から2030(令和12)年度の5年間とする。なお、今後の総合振興計画の策定に合わせて、所要の見直しを行う。

第2次経済戦略プラン策定の方向性と策定スケジュールについて

令和7年度第1回
戸田市中心企業振興会議【議題2】

時期	工程	会議予定
令和7年5月	現プラン取組の評価・課題の洗い出し・整理 第2次プラン骨子案、たたきの作成	
令和7年6月	目指すビジョン・基本方針の検討・方向性の決定 現プランから継続する施策の選別	第1回中小企業振興会議（6月3日） ・経済戦略プランR6実施報告及び現プランの取組評価 ・第2次プラン基本方針、施策の検討・審議
令和7年7月	目指すビジョン・基本方針の決定 継続する施策の事業内容・指標の精査 新規で追加する事業の検討 関係機関との調整 第2次プラン素案完成	
令和7年8月		第2回中小企業振興会議（下旬） 第8期初回 ・委嘱状交付 ・市の現状説明、プラン改定の経過（改選少数の場合は割愛） ・プラン素案の審議
令和7年9月 ～令和7年10月	新規施策案の内容・指標の精査、構成案の決定	
令和7年11月	第2次プラン原案完成	第3回中小企業振興会議（中旬） （パブコメ実施報告・プラン原案の審議）
令和7年12月	議会（常任委員会）へパブコメ実施報告	
令和8年1月	パブリック・コメントの実施（1月広報）1/6～2/5	
令和8年2月	パブリック・コメント結果公表	第4回中小企業振興会議 （パブコメ結果報告・第2次プラン成案確定）
令和8年3月	第2次プラン印刷発注・納品	議員への計画書の配布をもって策定報告

委員改選

戸田市企業経営状況調査の結果報告について

令和7年度第1回
戸田市中心企業振興会議【議題2】

1. 調査結果概要

調査名称	戸田市企業経営状況調査
実施時期	令和7年3月10日(月)～3月30日(日)
調査内容	現プランの取組みに対する事業者側の認識や直近の社会情勢による事業への影響、現状の経営課題や改善に向けて行政に求める支援策等を中心に設問を構成
設問数	全48問
対象数	市民税課保有の法人データ+帝国データバンク提供データから1,623者を抽出し送付。 33件の返戻があったため、有効数は1,590件
調査手法	郵送により依頼しWEB回答
回答数	301件(回収率18.9%)
備考	例年1月に実施していた「景気動向調査」は実施せず、プランの改定に特化した調査内容とした。なお、今後は景気動向調査を年1回の実施とし、時期を調整したい。

2. 回答結果

【資料3】「戸田市企業経営状況調査報告書」を参照してください。

第2次プランの骨子案及び現状と課題について

令和7年度第1回
戸田市中小企業振興会議【議題2】

1. 第2次経済戦略プランの位置づけ

戸田市第5次総合振興計画
【基本目標】活力あふれ人が集い心ふれあうまち

施策29 多様な働き方への支援・充実

- ・人材や働き方の多様化に合わせ、それぞれのニーズに応じた就労機会の創出を図る
- ・商工会等の支援機関との連携による切れ目ない起業支援

施策30 産業振興の推進

- ・産業の競争力強化に向けた支援
- ・中小企業の経営基盤強化に向けた支援
- ・地域産業の魅力づくり・発信に関する支援

施策31 地域資源を活用した観光振興の推進

- ・観光振興の戦略的な展開
- ・地域の魅力を知る機会の提供
- ・フィルムコミッションの推進

総合振興計画における施策と
統合した実行計画としての位
置づけを踏襲

●振興会議と計画の沿革

- 平成23年 中小企業振興会議発足
平成25年 第4次総合振興計画と整合した「産業振興ビジョン
骨子」を提言書として提出。これを受け、振興会議
にてビジョン実現に向けた計画策定開始。
平成27年 戸田市産業振興計画策定（～R2.3月までの6年間）
毎年振興会議で進捗確認・ローリング
令和3年 戸田市経済戦略プラン策定
産業振興計画の実績や新型コロナ等の社会情勢を
踏まえ見直し。また第5次総合振興計画基本目標
を補完・実行するための産業分野全般を対象とする
計画と位置づけ

策定過程における中小企業振興会議への
諮問、同会議における進捗等のチェック
機能を踏襲

第2次戸田市経済戦略プラン

2. 第2次プランの骨子案と現行プランとの比較

【資料4】「第2次経済戦略プラン骨子案」を参照してください。

3. 第2次プラン骨子案のポイント

全体的に構成・内容を刷新

第1章に現行プランの振り返りと評価を掲載

第2章を「現状と課題」とし、社会情勢や本市の基本的事項、現状と課題について、オープンデータや調査結果等のデータを用いて、基本方針の設計に対するエビデンスを補完

施策の構成について、現行プランでは「柱」「基本方針」「施策」としていたものを、「基本方針」「施策」「事業」に見直しを行い、取組内容と文言のレベル感を合わせる形で調整

4. 「社会情勢の変化」のポイント

2021年以降に社会経済に大きな影響を及ぼした要因のうち、市内企業への影響も高いと考えられる5つのトピックをピックアップ

現行プランにも記載のある企業のSDGsへの取組について改めて言及する必要があるか、またその他のトピックの掲載についても要検討

【資料5】「第2次戸田市経済戦略プラン（素案）」を併せて参照してください。

5. 本市の基本的事項と現状のポイント

一般的な行政計画としての体裁を整える形で、産業活動との関連性を意識しながら、本市の基本的な情報に関するデータを掲載

主にオープンデータを活用し、本市産業の特徴や産業構造、事業所数・従業者数の推移等を掲載。新型コロナや人材不足、経営コストの増大などの影響により製造業をはじめ、市内の事業者数が減少傾向にある一方で、EC市場の拡大や高齢化の進展により、運輸業や医療・福祉の従事者数が増加している。

6. 本市の産業振興における課題のポイント

本市の地場産業である製造業、建設業、運輸・通信業をはじめ多くの業種における経営課題として、「人材強化」「収益性・販売力向上」が挙げられており、高い専門性を要する地場3業種では「技術人材・技術力の強化」も大きな課題となっている。

統計データ上は、従業者数が増加しているにもかかわらず、企業が人材不足を感じる背景として「雇用のミスマッチ」が生じていることが調査結果からも見られる。

有効な既存の事業者向け支援策と充実してほしい支援策のいずれにおいても、「人材確保や専門性の向上」に資する取組が上位となっているほか、融資やデジタル化、設備導入等の経営基盤の強化に向けたニーズも高い。



第5次総合振興計画における施策と目標
現経済戦略プランにおける施策の実効性
直近の社会経済情勢
市内産業の現状と課題
市内事業者のニーズ

これらの要素を踏まえ、基本方針
や施策内容を整理する

議題3 第2次経済戦略プラン（案）の 基本方針と施策

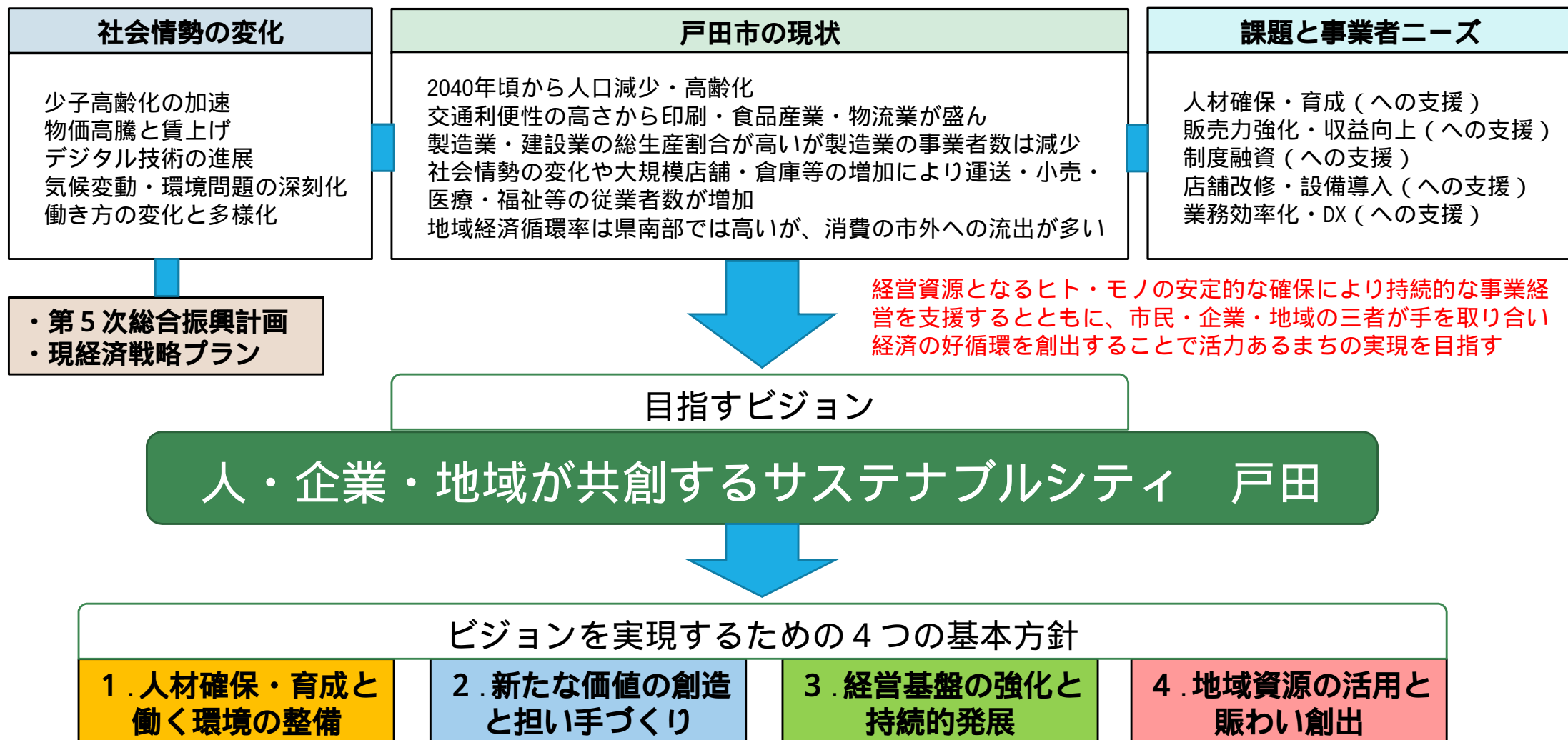
目指すビジョンと基本方針の方向性の決定（今回）

基本方針に沿った施策案と既存事業の整理（今回・第2回）

新規事業の検討（第2回・第3回）

目指すビジョンと基本方針の方向性について

令和7年度第1回
戸田市中心企業振興会議【議題3】



基本方針見直しの考え方

● 現行プランの基本方針の考え方

【背景】・新型コロナの影響による社会経済活動の停滞 ・企業のSDGsへの対応 ・脱炭素社会への取組
コロナからの回復に向けて地域経済と雇用を循環させるとともに、各企業が社会的責任を果たしながら企業価値を高め、一体となって地域経済を支えることを主眼としていた。

● 第2次プランの基本方針の考え方

先行き不透明な社会情勢において、ヒト・モノ・情報といった経営資源の安定的な確保による企業の持続的な事業継続・発展に焦点を当て、事業者のニーズ等を踏まえた「人材確保・育成」や「経営基盤の強化」に関する支援を推進することが求められる。

また、地域産業の維持・発展に向けた新たな産業や技術の創出に加え、引き続き社会的責任の遂行により、コロナ後の新たな価値観にフィットした企業価値の向上を促進するとともに、コロナ禍では実施困難であった地域振興イベントをさらに規模を拡大して実施し、本市の魅力をより強く発信することで地域の活性化を図り、人と企業と地域の持続的な発展を目指すというビジョンの実現に向けた4つの基本方針を設定した。

● 第5次総合振興計画の各施策とのリンクイメージ

施策29（起業・就労支援）		施策30（産業振興）		施策31（観光振興）	
1. 人材確保・育成と働く環境の整備		2. 新たな価値の創造と担い手づくり		3. 経営基盤の強化と持続的発展	
				4. 地域資源の活用と賑わい創出	

基本方針に沿った施策案と既存事業の整理

令和7年度第1回
戸田市中心企業振興会議【議題3】

基本方針ごとの施策構成案

1. 人材確保・育成と働く環境の整備	2. 新たな価値の創造と担い手づくり	3. 経営基盤の強化と持続的発展	4. 地域資源の活用と販わい創出
施策（案）			
1. 人材確保・就労支援 【事業例】 ・労働局、ハローワークと連携した人材確保支援 ・合同面接会等の開催	1. 起業・創業支援の充実 【事業例】 ・起業サポート体制の充実 ・起業支援セミナー開催	1. 経営基盤の安定化 【事業例】 ・中小企業融資事業 ・経営アドバイザーによる相談	1. 地域産品の創出と魅力発信 【事業例】 ・戸田ブランド事業 ・ふるさと納税返礼品PR
2. 人材育成支援 【事業例】 ・公的資格等取得補助事業 ・ビジネスマナー研修会開催	2. イノベーションの創出 【事業例】 ・新技術研究開発支援 ・商店等新業種等転換支援	2. 競争力の強化 【事業例】 ・販路拡大支援事業 ・DX・デジタル化支援	2. 販わいの創出と地域活性化 【事業例】 ・花火大会・イベントの開催 ・彩湖道満グリーンパーク活用
3. 多様な働き方推進環境整備 【事業例】 ・多様な働き方職場環境整備 ・多様な働き手の雇用拡大	3. 社会貢献活動支援 【事業例】 ・企業へのSDGsの推進 ・学校と連携した職業体験等	3. 持続可能な事業運営 【事業例】 ・事業承継支援 ・事業継続力強化計画策定推進	3. 観光資源の情報発信 【事業例】 ・トビックの運営と販売促進 ・フィルムコミッション事業

事業例は、現行プランに掲載している施策を第2次プランの基本方針に沿って整理し、一部例示したもの。
新規事業等については次回会議にて審議予定。

基本方針に沿った施策案と既存事業の整理

令和7年度第1回
戸田市中心企業振興会議【議題3】

第2次プランへ掲載しない現行プランの施策（案）

柱	基本方針	No.	施策名	総振施策	2023実績	2024実績	削除理由
01企業の魅力や価値を高める	01活力を生む事業者への支援	3	公衆浴場近代化設備資金補助事業	30	○	○	支援対象が特定事業者のみ
	03情報発信と交流の促進	9	埼玉県産の農作物の購入促進	9, 25, 32	×	×	総振の対象施策に該当しない
		10	収穫体験等姉妹都市交流事業	9, 25, 32	○	○	総振の対象施策に該当しない
02多様な人材による産業振興	02雇用促進と働く環境の整備	16	事業者向け公共施設貸し出しの促進	30	×	×	実績なしのため見直し
		17	永年勤続従業員の表彰	29	○	○	第2次の基本方針になじまない
03地域社会をつなぐ	01賑わいの創出と地域活性	26	土に親しむ広場の利用促進	9, 25, 31, 32	○	×	総振の対象施策に該当しない
	02人と企業を呼び込む	31	サイクリング環境の充実	31	○	○	都市交通課所管計画に記載あり
		32	観光・お店マップの作成	31	○	○	令和7年度に作成予定
	03快適なまちづくり	35	緑のまちづくりの推進	25	×	×	総振の対象施策に該当しない
04社会的責任の遂行	02社会貢献の促進	45	企業人権学習等の充実	29, 30	×	×	「多様な働き手の雇用拡大」施策に統合見直し
	03地球環境にやさしいまちへ	47	低公害車導入の普及促進と環境整備	27	○	○	「エコに取り組む事業者への支援」1本に統合見直し
		48	環境配慮型システム設置の支援	27	○	○	

上記理由から第2次プランへの掲載は不要と考えるが、いずれの施策も事業としては継続実施するものである。

【2021年度～2025年度】 経済戦略プラン

- 5年間の事業概要 進捗管理表 -

2025年6月現在
戸田市

No.	柱	基本方針	事業名	推進主体(主管課)	2021目標の達成	2022目標の達成	2023目標の達成	2024目標の達成
1	01企業の魅力や価値を高める	01活力を生む事業者への支援	従業員個々のスキルアップ	産業支援担当	×	○	○	○
2			新技術研究開発支援	産業支援担当	×	○	×	×
3			公衆浴場近代化設備資金補助事業	産業支援担当	○	○	○	○
4		02市内産品の魅力拡大	優良推奨品(戸田ブランド)創出と魅力アップ	地域魅力創造担当	○	○	○	○
5			販路拡大支援事業	産業支援担当	○	○	○	○
6			ふるさと納税返礼品PR事業	経済企画担当	○	○	○	○
7		03情報発信と交流の促進	ビジネス交流会開催事業	経済企画担当	×	×	×	×
8			工業見える化事業	産業支援担当	○	×	×	×
9			埼玉県産の農作物の購入促進	労働農政担当	×	×	×	×
10			収穫体験等姉妹都市交流事業	労働農政担当	×	○	○	○
11	02多様な人材による産業振興	01イノベーションの創出	起業サポート体制の充実	産業支援担当	○	○	○	○
12			起業支援セミナー開催事業	産業支援担当	○	○	○	○
13			商店等新業種等転換支援事業	産業支援担当	○	×	×	○
14		02雇用促進と働く環境の整備	雇用対策の推進	労働農政担当	○	○	○	○
15			就職・就労支援の充実	労働農政担当 各課	○	○	○	○
16			事業者向け公共施設貸し出しの促進	労働農政担当 各施設所管課	×	×	×	×
17			永年勤続従業員の表彰	市長公室	○	○	○	○
18			ビジネスマナー研修会開催事業	労働農政担当	×	○	○	○
19			合同企業説明会(面接会)の開催	労働農政担当	○	○	○	○
20		03ダイバーシティ経営の推進	事業者に対する多様な人材確保支援	労働農政担当	○	○	○	○
21			多様な働き方を推進する職場環境整備	経済企画担当	○	○	○	○
22			多様な働き手の雇用拡大に向けた事業者への働きかけの促進	労働農政担当	○	○	○	○
23			経営アドバイザーによる個別相談	商工会	○	○	×	○
24			業務効率化支援と啓発	産業支援担当	○	○	○	○
25	03地域社会をつなぐ	01賑わいの創出と地域活性	イベントの開催による賑わいの創出	産業支援担当	×	○	○	○
26			土に親しむ広場の利用促進	労働農政担当	○	○	○	×
27			商業活性化推進事業	産業支援担当	×	○	○	○
28			戸田橋花火大会の開催	地域魅力創造担当	×	×	○	○
29		02人と企業を呼び込む	彩湖道灌グリーンパークの活用と魅力拡大	みどり公園課	○	○	○	○
30			戸田市観光情報館トピックの管理運営と販売促進	地域魅力創造担当	○	○	○	○
31			サイクリング環境の充実	地域魅力創造担当	○	×	○	○
32			観光・お店マップの作成	地域魅力創造担当	○	○	○	○
33			フィルムコミッションの運営	水と緑の公社 地域魅力創造担当	○	○	×	×
34			産業立地推進事業	産業支援担当	○	×	×	×
35		03快適なまちづくり	緑のまちづくりの推進	みどり公園課	×	○	×	×
36			住宅改修資金助成事業	産業支援担当	○	○	○	○
37			商店街街路灯の維持管理支援	産業支援担当	○	○	○	○
38	04社会的責任の遂行	01持続可能な事業運営	CSR認定活動を通して企業へのSDGsの推進	経済企画担当	○	×	×	×
39			事業承継問題へのサポート	経済企画担当	×	○	○	○
40			企業の経営基盤強化	産業支援担当	×	×	×	×
41			経営革新計画の策定支援	産業支援担当	○	○	○	○
42			中小企業融資事業	産業支援担当	○	○	○	○
43			商工団体支援事業	経済企画担当	○	×	×	×
44		02社会貢献の促進	学校と連携しての職業体験、社会体験事業	労働農政担当 教育政策室	×	×	○	○
45			企業人権学習等の充実	労働農政担当 行政管理課	×	×	×	×
46		03地球環境にやさしいまちへ	エコに取り組む事業者への支援	労働農政担当	○	○	×	×
47			低公害車導入の普及促進と環境整備	環境課	○	○	○	○
48			環境配慮型システム設置の支援	環境課	×	○	○	○

達成
未達成

32
16

35
13

33
15

34
14

企業の魅力や価値を高める

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	事業者
No.	施策名			基本方針	
1	従業員個々のスキルアップ			(1)活力を生む事業者への支援	
概要					第5次総振での 該当施策
公的資格等取得補助金を活用することにより、現在雇用している従業員に資格を取得させ、 個々のスキルアップを図ります。 優秀な人材の確保が難しい状況であっても、必要なスキルを持つ人材を各企業で育てること で、雇用の定着につなげていきます。					30
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	公的資格取得補助金の交付件数	5	1	未達成	
2022	公的資格取得補助金の交付件数	5	6	達成	
2023	公的資格取得補助金の交付件数	7	9	達成	
2024	公的資格取得補助金の交付件数	7	16	達成	
2025	公的資格取得補助金の交付件数	10			
2021年度 進捗状況					
市HPの他、メルマガ、チラシ等で積極的に制度周知を行ったが、目標数値5件に対し、1件の交付であった。コロナ禍で事業者の方を中心とした集会等での周知ができておらず、周知がいきわたっていなかったのではないかと考える。2022年度以降は、事業者の方等、対象者が集まる集会等での周知に力をいれ、交付件数の拡大を目指す。					
2022年度 進捗状況					
市HPの他、メルマガ、チラシ等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値5件に対し、6件の交付であった。コロナ禍ではあったが、事業者の方を中心とした集会等での周知を図り、その成果が得られたのではないかと考える。2023年度以降も、引き続き事業者の方等、対象者が集まる集会等での周知に力を入れ、交付件数の拡大を目指す。					
2023年度 進捗状況					
市HPの他、メルマガ、チラシ等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値7件に対し、9件の交付であった。事業者の方を中心とした集会等での周知を図り、その成果が得られたのではないかと考える。2024年度以降も、引き続き事業者の方等、対象者が集まる集会等での周知に力を入れ、交付件数の拡大を目指す。					
2024年度 進捗状況					
市HPの他、メルマガ、チラシ等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値7件に対し、16件の交付であった。事業者の方を中心とした集会等での周知を図り、その成果が得られたのではないかと考える。2025年度以降も、引き続き事業者の方等、対象者が集まる集会等での周知に力を入れ、交付件数の拡大を目指す。					
2025年度 達成状況					

企業の魅力や価値を高める

		推進主体(主管課)		推進主体	
		経済戦略室		事業者	
No.	施策名	基本方針			
2	新技術研究開発支援事業	(1)活力を生む事業者への支援			
概要					第5次総振での 該当施策
防災や医療、環境等の分野におけるビジネスチャンスに対して、独自の技術や技術水準の向上、新製品や新技術の開発を支援することにより、市内事業者の競争力強化、脱下請けや取引先の拡大を図ります。					30
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	商工業支援事業補助金(新技術研究開発支援事業)の交付件数	1	0	未達成	
2022	商工業支援事業補助金(新技術研究開発支援事業)の交付件数	1	1	達成	
2023	商工業支援事業補助金(新技術研究開発支援事業)の交付件数	1	0	未達成	
2024	商工業支援事業補助金(新技術研究開発支援事業)の交付件数	2	0	未達成	
2025	商工業支援事業補助金(新技術研究開発支援事業)の交付件数	2			
2021年度 進捗状況					
市HPの他、メルマガ、チラシ等で積極的に制度周知を行ったが、目標数値1件に対し、交付はなかった。コロナ禍で事業者の方を中心とした集会等での周知ができておらず、周知がいきわたっていなかったのではないかと考える。2022年度以降は、事業者の方等、対象者が集まる集会等での周知に力をいれ、交付件数の拡大を目指す。					
2022年度 進捗状況					
市HPの他、メルマガ、チラシ等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値1件に対し、交付1件の実績があった。コロナ禍で事業者の方を中心とした集会等での周知が難しい面もあったが、これまでの周知の成果と考える。2023年度以降も引き続き、事業者の方等、対象者が集まる集会等での周知に力をいれ、交付件数の拡大を目指す。					
2023年度 進捗状況					
市HPの他、メルマガ、チラシ等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値1件に対し、交付はなかった。申請に関する問合せはあったが、要件を満たさなかったことから申請には至らなかった。2024年度以降も引き続き、事業者の方等、対象者が集まる集会等での周知に力をいれ、交付件数の拡大を目指す。					
2024年度 進捗状況					
市HPの他、メルマガ、チラシ等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値1件に対し、交付はなかった。2025年度以降も引き続き、事業者の方等、対象者が集まる集会等での周知に力をいれ、交付件数の拡大を目指す。					
2025年度 達成状況					

企業の魅力や価値を高める

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	一般公衆浴場
No.	施策名			基本方針	
3	公衆浴場近代化設備資金補助事業			(1)活力を生む事業者への支援	
概要					第5次総振での 該当施策
一般公衆浴場の設備の近代化を促進し、健全な経営を維持するために、埼玉県公衆浴場近代化設備資金補助金の対象となった一般公衆浴場の設備の設置及び改修に対し、補助を行い支援します。					30
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	公衆浴場近代化設備資金の補助件数	2	4	達成	
2022	公衆浴場近代化設備資金の補助件数	2	3	達成	
2023	公衆浴場近代化設備資金の補助件数	2	3	達成	
2024	公衆浴場近代化設備資金の補助件数	2	3	達成	
2025	公衆浴場近代化設備資金の補助件数	2			
2021年度 進捗状況					
目標数値2件に対し、4件の交付であった。2022年度以降も引き続き制度周知を行い、健全な経営を維持するために補助を行い支援をしていく。					
2022年度 進捗状況					
目標数値2件に対し、3件の交付であった。2023年度以降も引き続き制度周知を行い、健全な経営を維持するために補助を行い支援をしていく。					
2023年度 進捗状況					
目標数値2件に対し、3件の交付であった。2024年度以降も引き続き制度周知を行い、健全な経営を維持するために補助を行い支援をしていく。					
2024年度 進捗状況					
目標数値2件に対し、3件の交付であった。2025年度以降も引き続き制度周知を行い、健全な経営を維持するために補助を行い支援をしていく。					
2025年度 達成状況					

企業の魅力や価値を高める

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	商工会
No.	施策名			基本方針	
4	優良推奨品(戸田ブランド)創出と魅力アップ			(2)市内産品の魅力拡大	
概要					第5次総振での 該当施策
市内の優良な商品や製品、技術を推奨品等として認定することにより、消費の際の信頼を高めるとともに、「戸田ブランド」として普及と需要の拡大を図ります。戸田ブランド委員会において、ブランド力を高める手法、新しい優良推奨品の創出、優良推奨品制度のあり方、新しい認定基準などを検討していきます。					30
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	優良推奨品(戸田ブランド)に認定された件数	65	72	達成	
2022	優良推奨品(戸田ブランド)に認定された件数	67	75	達成	
2023	優良推奨品(戸田ブランド)に認定された件数	69	76	達成	
2024	優良推奨品(戸田ブランド)に認定された件数	71	85	達成	
2025	優良推奨品(戸田ブランド)に認定された件数	73			
2021年度 進捗状況					
2021年度は4事業者計9品の新規認定申請があった。2022年度以降も引き続き、戸田ブランドの普及を目指すとともに、PR方法や制度のあり方について検討していく。					
2022年度 進捗状況					
2022年度は4事業者計4品の新規認定申請があり、そのうち3品の新規認定に至った。また、例年発行していた戸田ブランドパンフレットをノート型に刷新するとともに、戸田ブランド公式キャラクターを新たに決定した。2023年度以降はそうしたツールを活用し、戸田ブランドの普及を目指していく。					
2023年度 進捗状況					
2023年度は1事業者1品の新規認定申請があり、新規認定に至った。2024年度以降も引き続き戸田ブランドの普及を目指すとともに、PR方法や制度のあり方について検討していく。					
2024年度 進捗状況					
2024年度は4事業者9品の新規認定申請があり、新規認定に至った。2025年度以降も引き続き戸田ブランドの普及を目指すとともに、PR方法や制度のあり方について検討していく。					
2025年度 達成状況					

企業の魅力や価値を高める

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	事業者
No.	施策名			基本方針	
5	販路拡大支援事業			(2)市内産品の魅力拡大	
概要					第5次総振での 該当施策
市内の事業者が国内外の展示会に出展し、自社の製品や技術を積極的に外部へ発信していくことを支援することにより、事業者の製品や技術力の周知と競争力の強化を図ります。また、販路拡大のため、彩の国ビジネスアリーナ等の展示商談会で市が確保したブースに市内事業者の出展を促します。					30
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	展示会等出展支援事業の交付件数 市内産品等セールス支援事業を活用し出展した事業者数	8	9	達成	
2022	展示会等出展支援事業の交付件数 市内産品等セールス支援事業を活用し出展した事業者数	8	13	達成	
2023	展示会等出展支援事業の交付件数 市内産品等セールス支援事業を活用し出展した事業者数	9	15	達成	
2024	展示会等出展支援事業の交付件数 市内産品等セールス支援事業を活用し出展した事業者数	9	16	達成	
2025	展示会等出展支援事業の交付件数 市内産品等セールス支援事業を活用し出展した事業者数	10			
2021年度 進捗状況					
市HPの他、チラシ等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値8件に対し、9件の交付であった。2022年度以降も引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2022年度 進捗状況					
市HPの他、チラシ等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値8件に対し、13件の交付であり、交付件数が増加した。2023年度以降も引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2023年度 進捗状況					
市HPの他、チラシ等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値9件に対し、15件の交付であり、交付件数が増加した。2024年度以降も引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2024年度 進捗状況					
市HPの他、チラシ等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値9件に対し、16件の交付であり、交付件数が増加した。2025年度以降も引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2025年度 達成状況					

企業の魅力や価値を高める

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	事業者
No.	施策名			基本方針	
6	ふるさと納税返礼品PR 事業			(2)市内産品の魅力拡大	
概要					第5次総振での 該当施策
市の産品を広く全国にPRできる場として、ふるさと納税制度を活用します。実施にあたっては、ふるさと納税支援サイトを適切に活用し、発信を行っていきます。体験型返礼品も含めて、返礼品の更なる充実を図ります。					10、30、31
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	ふるさと納税返礼品の出品数	35	42	達成	
2022	ふるさと納税返礼品の出品数	37	102	達成	
2023	ふるさと納税返礼品の出品数	39	134	達成	
2024	ふるさと納税返礼品の出品数	41	204	達成	
2025	ふるさと納税返礼品の出品数	43			
2021年度 進捗状況					
返礼品等協力事業者募集チラシを作成し、窓口や商工会での配布、個別に事業者へのお声掛け等、制度周知を行った結果、目標数値35件に対し、42件となった。2022年度以降も、委託業者と連携しながら事業者・返礼品開拓を行い、返礼品の更なる充実を目指す。					
2022年度 進捗状況					
市内事業者に対し、個別訪問等による返礼品への協力依頼を行った結果、出品数が増加した。また、より一層のPR等につなげるため、取扱サイトを新たに拡充した。2023年度以降も引き続き事業者・返礼品開拓を行いつつ、市内産品のPRに繋げていく。					
2023年度 進捗状況					
市内事業者に対し、個別訪問等による返礼品への協力依頼を行った結果、出品数が増加した。2024年度以降も引き続き事業者・返礼品開拓を行いつつ、市内産品のPRに繋げていく。					
2024年度 進捗状況					
市内事業者への個別訪問等による返礼品への協力依頼や、事業者向け勉強会の開催、返礼品上限数の撤廃等を行った結果、出品数が増加した。また、体験型返礼品の新規登録もあり、市の魅力をPRできる場として、ふるさと納税制度を活用することができた。2025年度以降も引き続き事業者・返礼品開拓を行いつつ、市内産品のPRに繋げていく。					
2025年度 達成状況					

企業の魅力や価値を高める

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	商工会・事業者
No.	施策名			基本方針	
7	ビジネス交流会開催事業			(3)情報発信と交流の促進	
概要					第5次総振での 該当施策
商業や工業などの枠を越えた異業種の経営者同士の出会いの場を提供し、情報交換や連携力を高めるとともに、支援機関等とのネットワークを構築します。					30
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	ビジネス交流会に参加した事業者数	50	0	未達成	コロナ感染防止のため中止
2022	ビジネス交流会に参加した事業者数	53	28	未達成	コロナ感染防止のため講演のみの開催
2023	ビジネス交流会に参加した事業者数	55	44	未達成	
2024	ビジネス交流会に参加した事業者数	57	47	未達成	
2025	ビジネス交流会に参加した事業者数	60			
2021年度 進捗状況					
新型コロナウイルス感染対策のため開催を中止した。2022年度は感染状況に配慮しつつ、8月3日(水)に開催する。					
2022年度 進捗状況					
感染状況に配慮しつつ、参加人数を制限して8月3日(水)に開催。感染拡大期であったため、参加者が少ない結果となった。					
2023年度 進捗状況					
PRを積極的に行ったが、コロナ禍後直後イベントで参加者側が敬遠した可能性あり。					
2024年度 進捗状況					
前年度比微増となったが、今後も交流会への参加を広く伝えていく。					
2025年度 達成状況					

企業の魅力や価値を高める

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	事業者
No.	施策名			基本方針	
8	工業見える化事業			(3)情報発信と交流の促進	
概要					第5次総振での 該当施策
普段馴染みの薄い工場等の事業内容や生活との関わりといった情報を記載したプレートを作成し、各事業者が掲示することにより、工業に対する理解の醸成と操業環境の向上を図ります。					29、30
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	工業見える化事業への参画企業数	94	99	達成	
2022	工業見える化事業への参画企業数	95	92	未達成	
2023	工業見える化事業への参画企業数	96	86	未達成	
2024	工業見える化事業への参画企業数	98	84	未達成	
2025	工業見える化事業への参画企業数	100			
2021年度 進捗状況					
広報等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値94件に対し、99件の参画企業数であった。2022年度以降も引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2022年度 進捗状況					
広報等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値95件に対し、92件の参画企業数であった。2022年度は新規の申込が1件あったが、廃業した事業所をHPの一覧から削除したことにより、2021年度の実績よりは減少となった。2023年度以降も引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2023年度 進捗状況					
広報等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値96件に対し、86件の参画企業数であった。2023年度は新規の申込が3件あったが、廃業した事業所等をHPの一覧から削除したことにより、2022年度の実績より減少となった。景気情勢に影響される部分はあるが、2024年度以降も引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2024年度 進捗状況					
広報等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値98件に対し、84件の参画企業数であった。2024年度は新規の申込はなく、廃業した事業所等をHPの一覧から削除したことにより、2023年度の実績より減少となった。2025年度以降も引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2025年度 達成状況					

企業の魅力や価値を高める

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	生産者
No.	施策名			基本方針	
9	埼玉県産の農作物の購入促進			(3)情報発信と交流の促進	
概要					第5次総振での該当施策
市内の産業のうち農業が占める割合の少ない戸田市では、県が推進する地産地消への取組を踏まえ、埼玉県産及び国産の農産物の購入を促進します。					9、25、32
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	市内農家や姉妹都市・友好都市で生産された野菜の購入促進を図るイベントの開催数	3	0	未達成	コロナ感染防止のため
2022	市内農家や姉妹都市・友好都市で生産された野菜の購入促進を図るイベントの開催数	3	2	未達成	コロナ感染防止のため
2023	市内農家や姉妹都市・友好都市で生産された野菜の購入促進を図るイベントの開催数	3	2	未達成	
2024	市内農家や姉妹都市・友好都市で生産された野菜の購入促進を図るイベントの開催数	3	1	未達成	
2025	市内農家や姉妹都市・友好都市で生産された野菜の購入促進を図るイベントの開催数	3			
2021年度 進捗状況					
戸田収穫祭などのイベントが新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施することが出来なかった。					
2022年度 進捗状況					
目標値は達成できていないが、戸田市商工祭・戸田収穫祭において美里町(姉妹都市)で生産された野菜を購入する機会を創出することが出来た。					
2023年度 進捗状況					
目標は未達成だが、野菜を戸田市商工祭で購入する機会をつくることができた。					
2024年度 進捗状況					
目標は未達成だが、市内野菜を戸田市コンパル祭りで購入する機会をつくることができた。					
2025年度 達成状況					

企業の魅力や価値を高める

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	美里町
No.	施策名			基本方針	
10	収穫体験等姉妹都市交流事業			(3)情報発信と交流の促進	
概要					第5次総振での該当施策
姉妹都市である埼玉県美里町との交流事業の一環として、美里町内でじゃがいもの収穫を体験するとともに、現地に滞在して地域資源について理解を深めます。					9、25、32
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	美里町での収穫体験事業への参加者数	30	0	未達成	コロナ感染防止のため
2022	美里町での収穫体験事業への参加者数	30	38	達成	
2023	美里町での収穫体験事業への参加者数	30	40	達成	
2024	美里町での収穫体験事業への参加者数	30	76	達成	
2025	美里町での収穫体験事業への参加者数	30			
2021年度 進捗状況					
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、収穫体験事業が実施できなかった。2022年度は6月4日(土)に開催済み。					
2022年度 進捗状況					
3年ぶりに収穫体験事業を実施することが出来た。収穫体験を出来る貴重な機会として継続して事業を実施していきたい。					
2023年度 進捗状況					
コロナが収束してきたこともあり、回数を2回に増やして開催することができた。					
2024年度 進捗状況					
6月及び11月の2回、開催することができた。					
2025年度 達成状況					

多様な人材による産業振興

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	商工会
No.	施策名			基本方針	
11	起業サポート体制の充実			(1)イノベーションの創出	
概要					第5次総振での該当施策
商工会や関連機関と連携し、起業相談を実施し、様々な分野の専門家が起業に関わる種々の悩みに応え、相談者の問題解決と経営者としての知識向上を図ります。					29
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	起業相談件数	10	52	達成	
2022	起業相談件数	10	47	達成	
2023	起業相談件数	10	91	達成	
2024	起業相談件数	10	35	達成	
2025	起業相談件数	10			
2021年度 進捗状況					
毎月発行の会報誌やホームページ等により周知を行った結果目標値10件に対し52件となった。起業に対する経営全般の相談に 対し対応した。2022年度も引き続き周知を行うことにより、目標を達成していく。					
2022年度 進捗状況					
創業塾や起業をテーマとしたセミナーの周知を継続、またオレンジキューブのPRにも注力し、起業に対する様々な相談に対応し、 目標値10件に対し47件の実績となった。					
2023年度 進捗状況					
創業塾や起業をテーマとしたセミナーの周知を継続、またオレンジキューブのPRにも注力し、インキュベーションマネージャーによ る創業相談を定例実施したことにより、目標値10件に対し91件の実績となった。					
2024年度 進捗状況					
目標は達成しているが、オレンジキューブ入居率は高く、市内に事務所用物件が少なく、また高騰していることもあり市外で創業を 検討される方も多い。					
2025年度 達成状況					

多様な人材による産業振興

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	商工会
No.	施策名			基本方針	
12	起業支援セミナー開催事業			(1)イノベーションの創出	
概要					第5次総振での該当施策
商工会と連携し、ビジネスプランの立て方、資金調達、販路拡大など、起業に際しての課題となるようなテーマを選定し、対策やノウハウなどを学ぶためのセミナーを開催します。					29
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	起業支援セミナーの年間受講者数	80	97	達成	
2022	起業支援セミナーの年間受講者数	80	100	達成	
2023	起業支援セミナーの年間受講者数	90	102	達成	
2024	起業支援セミナーの年間受講者数	90	152	達成	
2025	起業支援セミナーの年間受講者数	100			
2021年度 進捗状況					
市HPの他、メルマガ、チラシ等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値80人に対し97人の受講者数であった。2022年度以降はコロナの感染状況を注視し、感染症対策をしっかりと行いながら、引き続き年間受講者数の拡大を目指す。					
2022年度 進捗状況					
市HPの他、メルマガ、チラシ等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値80人に対し100人の受講者数であった。2023年度以降も引き続き年間受講者数の拡大を目指す。					
2023年度 進捗状況					
市HPの他、メルマガ、チラシ、市SNS等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値90人に対し102人の受講者数であった。2024年度以降もセミナーの実施内容の検討・見直しを行い、引き続き年間受講者数の拡大を目指す。					
2024年度 進捗状況					
市HPの他、メルマガ、チラシ、市SNS等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値90人に対し152人の受講者数であった。2025年度以降もセミナーの実施内容の検討・見直しを行い、引き続き年間受講者数の拡大を目指す。					
2025年度 達成状況					

多様な人材による産業振興

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	事業者
No.	施策名			基本方針	
13	商店等新業種等転換支援事業			(1)イノベーションの創出	
概要					第5次総振での該当施策
市内の現用店舗や空き店舗の社会的課題へ対応するための改修工事や、改修工事後の家賃負担に係る初期費用の一部を補助することで、需要に応える業種や業態への転換を支援します。					30
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	商店等新業種等転換支援事業の交付件数	8	17	達成	
2022	商店等新業種等転換支援事業の交付件数	9	7	未達成	
2023	商店等新業種等転換支援事業の交付件数	10	6	未達成	
2024	商店等新業種等転換支援事業の交付件数	11	14	達成	
2025	商店等新業種等転換支援事業の交付件数	12			
2021年度 進捗状況					
市HPの他、チラシ等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値8件に対し、17件の交付であった。2022年度以降も引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2022年度 進捗状況					
市HPの他、チラシ等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値9件に対し、7件の交付であった。前年度より10件減少しているが、2022年度はコロナが収束しつつあり、感染症対策に係る申請が減少したことが要因と考えられる。2023年度以降も引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2023年度 進捗状況					
市HPの他、チラシ等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値10件に対し、6件の交付であった。前年度より1件減少しているが、2023年度は新型コロナウイルス感染症が収束しつつあり、同感染症の位置付けが国により「5類」へ移行された背景もあり、感染症対策に係る申請数が減少したことが要因と考えられる。このような状況から要綱を改正し、2024年度助成事業の実施については感染症対策の備品購入に関する部分を削除することとした。2024年度以降も引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2024年度 進捗状況					
市HPの他、チラシ等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値11件に対し、14件の交付であった。2025年度以降も引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2025年度 進捗状況					

多様な人材による産業振興

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	埼玉労働局、埼玉県
No.	施策名			基本方針	
14	雇用対策の推進			(2)雇用促進と働く環境の整備	
概要					第5次総振での該当施策
埼玉県労働局及びハローワークと連携し、求職相談等の支援を行うとともに、求人企業への相談支援や就職面接会等を実施します。また、埼玉県と共催しセミナーを実施します。さらに、事業者に対し就業規則の制定や、労働局との書面による労働契約内容の確認を周知していきます。					29
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	国、県との連携・共催事業数	3	5	達成	
2022	国、県との連携・共催事業数	3	5	達成	
2023	国、県との連携・共催事業数	3	5	達成	
2024	国、県との連携・共催事業数	3	5	達成	
2025	国、県との連携・共催事業数	3			
2021年度 進捗状況					
埼玉県と共催で労働セミナーを実施し、参加者は10名であった。 南部地域高校生・保育士・介護・彩の京(川口・王子・浦和・大宮合同)の面接会・説明会の後援を行い、ハローワークと連携して就労の機会を創出した。					
2022年度 進捗状況					
面接会・説明会の講演を行い、ハローワークと連携して就労の機会を創出した。 氷河期世代向けの講座をハローワーク川口と連携して開催し、11名が参加した。 介護施設見学会をハローワーク川口と連携して開催し、人材が不足している業界に対する支援を行った(参加者1名)。					
2023年度 進捗状況					
ハローワークと連携し、労働セミナーを実施し、参加者は16名であった。 氷河期世代向けの講座をハローワーク川口と連携して開催し、9名が参加した。 介護施設見学会を2事業所それぞれ2回(計4回)ハローワーク川口と連携して開催し、人材が不足している業界に対する支援を行った(参加者合計16名)。					
2024年度 進捗状況					
ハローワークと就職氷河期世代就職支援セミナーを共催した。(参加者:10名) ハローワークと介護施設見学会を2事業所にて1回ずつ共催した。(参加者:計6名) ハローワークと介護・医療就職面接会＆説明会を共催した。(参加者:44名 内定者:4名) 埼玉県と労働セミナーを共催した。(参加者:17名)					
2025年度 達成状況					

多様な人材による産業振興

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室、各課	埼玉県
No.	施策名			基本方針	
15	就職・就労支援の充実			(2)雇用促進と働く環境の整備	
概要					第5次総振での 該当施策
キャリアカウンセラーが就職活動に役立つ内容の講座を様々なテーマで開催し、求職者の初歩的な課題解決を図ります。また、職場での仕事上の悩みや仕事と家庭の両立などに至るまで、働くこと全般に関する様々な相談に応じます。さらに、関係各課と協力し、女性・障がい者・高齢者・外国人・氷河期世代も含む若年者()の就職・就労支援を行います。					29
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	就職支援セミナー、就職支援・キャリアデザイン相談の開催回数	30	104	達成	就職支援セミナー14回 キャリアデザイン相談90回
2022	就職支援セミナー、就職支援・キャリアデザイン相談の開催回数	30	107	達成	就職支援セミナー15回 キャリアデザイン相談92回
2023	就職支援セミナー、就職支援・キャリアデザイン相談の開催回数	30	108	達成	就職支援セミナー17回 キャリアデザイン相談92回
2024	就職支援セミナー、就職支援・キャリアデザイン相談の開催回数	30	111	達成	就職支援セミナー17回 就職支援相談94回
2025	就職支援セミナー、就職支援・キャリアデザイン相談の開催回数	30			
2021年度 進捗状況					
新型コロナウイルスにより必要性が増したためか、目標30件に対し104件となった。翌年度以降も、就労支援セミナー及び就職支援・キャリアデザイン相談をとおして、継続して就労支援を行っていく。					
2022年度 進捗状況					
翌年度以降も就職支援セミナー及びキャリアデザイン相談を通して、就労支援を行っていく。					
2023年度 進捗状況					
翌年度以降も就職支援セミナー及びキャリアデザイン相談を通して、就労支援を行っていく。					
2024年度 進捗状況					
翌年度以降も就職支援セミナー及び就職支援相談相談(キャリアデザイン相談から名称変更)を通して、就労支援を行っていく。					
2025年度 達成状況					

多様な人材による産業振興

		推進主体(主管課)		推進主体	
		経済戦略室、各施設所管課		事業者	
No.	施策名		基本方針		
16	事業者向け公共施設貸し出しの促進		(2)雇用促進と働く環境の整備		
概要				第5次総振での該当施策	
コロナ禍でテレワークが推進されている現状を踏まえ、市内公共施設をサテライトオフィス()やシェアオフィス()、コワーキングスペース()として事業者に貸し出します。また、会議室を持たない小規模事業者等に密を避けて会議等を行っていただくために、各施設所管課と協力し、市内公共施設の会議室の貸し出しを促進します。(一般向け貸し出し対象外施設を除きます)				30	
				達成予定年度	
				2025	
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	公共施設の事業者への貸し出し数	5	0	未達成	
2022	公共施設の事業者への貸し出し数	5	0	未達成	
2023	公共施設の事業者への貸し出し数	6	0	未達成	
2024	公共施設の事業者への貸し出し数	6	0	未達成	
2025	公共施設の事業者への貸し出し数	7			
2021年度 進捗状況					
テレワークスペースについては2か所実施したが、事業者向けの貸し出しについての促しは行っていない。 市内公共施設の事業者への貸し出しについては、今後、促進していく必要があるかの検討を行っていく必要がある。					
2022年度 進捗状況					
事業者向けの貸し出しについての促しは行っていない。 市内公共施設の事業者への貸し出しについては、現状検討していない。					
2023年度 進捗状況					
事業者向けの貸し出しについての促しは行っていない。 市内公共施設の事業者への貸し出しについては、現状検討していない。					
2024年度 進捗状況					
事業者向けの貸し出しについての促しは行っていない。 市内公共施設の事業者への貸し出しについては、現状検討していない。					
2025年度 達成状況					

多様な人材による産業振興

				推進主体(主管課)	推進主体
				市長公室	事業者
No.	施策名			基本方針	
17	永年勤続従業員の表彰			(2)雇用促進と働く環境の整備	
概要					第5次総振での 該当施策
戸田市表彰規則に基づき、市内の同一事業所に引き続き10 年又は20 年勤務し勤務成績良好な者に対して行います。					29
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	永年勤続従業員の表彰数	10	21	達成	10年:15名 20年:6名
2022	永年勤続従業員の表彰数	10	18	達成	10年:15名 20年:3名
2023	永年勤続従業員の表彰数	10	50	達成	10年:33名 20年:17名
2024	永年勤続従業員の表彰数	10	28	達成	10年:19名 20年:9名
2025	永年勤続従業員の表彰数	10			
2021年度 進捗状況					
「永年勤続従業員の表彰」について、戸田市商工会や市内事業者に推薦依頼や周知を行い、目標数値10に対し、令和3年11月3日実施の表彰式において21名を表彰することができた。2022年度以降も引き続き制度周知を行い、表彰件数の拡大を目指す。					
2022年度 進捗状況					
「永年勤続従業員の表彰」について、戸田市商工会や市内事業者に推薦依頼や周知を行い、目標数値10に対し、令和4年11月3日実施の表彰式において18名を表彰することができた。2023年度以降も引き続き制度周知を行い、表彰件数の拡大を目指す。					
2023年度 進捗状況					
「永年勤続従業員の表彰」について、戸田市商工会や市内事業者に推薦依頼や周知を行い、目標数値10に対し、令和5年11月3日実施の表彰式において50名を表彰することができた。2024年度以降も引き続き制度周知を行い、表彰件数の拡大を目指す。					
2024年度 進捗状況					
「永年勤続従業員の表彰」について、戸田市商工会や市内事業者に推薦依頼や周知を行い、目標数値10に対し、令和6年11月3日実施の表彰式において50名を表彰することができた。2025年度以降も引き続き制度周知を行い、表彰件数の拡大を目指す。					
2025年度 達成状況					

多様な人材による産業振興

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	商工会
No.	施策名			基本方針	
18	ビジネスマナー研修会開催事業			(2)雇用促進と働く環境の整備	
概要					第5次総振での 該当施策
市内の事業者の新入社員や若手社員、教育担当者等を対象に、接遇や応対等の初歩的なビジネスマナーなどを身につける機会として、研修会というかたちで開催します。					29
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	市内企業の新人研修やマナー研修となる講座の実施回数	1	0	未達成	コロナ感染防止のため
2022	市内企業の新人研修やマナー研修となる講座の実施回数	1	1	達成	
2023	市内企業の新人研修やマナー研修となる講座の実施回数	1	1	達成	
2024	市内企業の新人研修やマナー研修となる講座の実施回数	1	1	達成	
2025	市内企業の新人研修やマナー研修となる講座の実施回数	1			
2021年度 進捗状況					
例年は、戸田市商工会との共催で実施していたが、新型コロナウイルス感染対策における市の方針により共催することができず、戸田市商工会が単独で開催した。					
2022年度 進捗状況					
戸田市商工会と共催で開催し市内企業の35名が参加した。人材育成の観点から継続して実施していきたい。					
2023年度 進捗状況					
戸田市商工会と共催で開催し市内企業の16名が参加した。人材育成の観点から継続して実施していきたい。					
2024年度 進捗状況					
戸田市商工会と共催で開催し市内企業の18名が参加した。人材育成の観点から継続して実施していきたい。					
2025年度 達成状況					

多様な人材による産業振興

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	商工会、県、ハローワーク、事業者
No.	施策名			基本方針	
19	合同企業説明会(面接会)の開催			(2)雇用促進と働く環境の整備	
概要					第5次総振での該当施策
戸田市での就職、或いは戸田市近隣の事業所への就職を希望する者と、人材を確保したい地域の中小企業とのマッチングを図る機会として、合同企業説明会または面接会を実施します。					29、30
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	合同企業説明会または面接会の実施回数	1	4	達成	
2022	合同企業説明会または面接会の実施回数	1	3	達成	
2023	合同企業説明会または面接会の実施回数	1	1	達成	
2024	合同企業説明会または面接会の実施回数	1	1	達成	
2025	合同企業説明会または面接会の実施回数	1			
2021年度 進捗状況					
ハローワークが開催する面接会を後援・連携し、雇用の機会を創出した。					
2022年度 進捗状況					
ハローワークが開催する面接会を後援・連携し、雇用の機会を創出した。					
2023年度 進捗状況					
ハローワークが開催する面接会を後援・連携し、雇用の機会を創出した。					
2024年度 進捗状況					
ハローワークと介護・医療就職面接会＆説明会を共催した。(参加者:44名 内定者:4名)					
2025年度 達成状況					

多様な人材による産業振興

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	事業者
No.	施策名			基本方針	
20	事業者に対する多様な人材確保支援			(3)ダイバーシティ経営の推進	
概要					第5次総振での 該当施策
埼玉労働局と締結している雇用対策協定に基づき、ハローワーク及び関係各課と連携した戸田市に有効な事業計画を毎年策定し、「女性・障がい者・高齢者・外国人」を含む多様な人材確保の支援を行います。					29
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	雇用対策協定に定める雇用施策に関する数値目標(県内目標を除く)	1	2	達成	
2022	雇用対策協定に定める雇用施策に関する数値目標(県内目標を除く)	1	2	達成	
2023	雇用対策協定に定める雇用施策に関する数値目標(県内目標を除く)	1	2	達成	
2024	雇用対策協定に定める雇用施策に関する数値目標(県内目標を除く)	1	2	達成	
2025	雇用対策協定に定める雇用施策に関する数値目標(県内目標を除く)	1			
2021年度 進捗状況					
ふるさとハローワークの相談件数と民間企業の障害者雇用率が達成できていたが、引き続きハローワーク及び関係各課と連携し多様な人材確保の支援を行っていくこととする。					
2022年度 進捗状況					
民間企業の障害者雇用率及び保育人材の就職面接会等の開催を達成することが出来たが、引き続きハローワーク及び関係各課と連携して、多様な人材確保の支援を行っていくこととする。					
2023年度 進捗状況					
民間企業の障害者雇用率及び保育人材の就職面接会等の開催を達成することが出来た。引き続きハローワーク及び関係各課と連携して、多様な人材確保の支援を行っていくこととする。					
2024年度 進捗状況					
民間企業の障害者雇用率及び保育人材の就職面接会等の開催を達成することが出来た。引き続きハローワーク及び関係各課と連携して、多様な人材確保の支援を行っていくこととする。					
2025年度 達成状況					

多様な人材による産業振興

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	事業者
No.	施策名			基本方針	
21	多様な働き方を推進する職場環境整備			(3)ダイバーシティ経営の推進	
概要					第5次総振での該当施策
コロナ禍の社会情勢や働き方改革、通勤時間の削減などへの対応策としてテレワーク等の職場環境整備の促進が求められています。大きく変わりつつある多様な働き方のニーズを把握し、IT コンサルタントのアドバイス事業、セミナー等の導入等、有効な支援策を検討しつつ、導入に向けた取組みを行っていきます。					29
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	導入支援を行った事業者数	3	4	達成	
2022	導入支援を行った事業者数	3	8	達成	
2023	導入支援を行った事業者数	4	9	達成	
2024	導入支援を行った事業者数	4	13	達成	
2025	導入支援を行った事業者数	5			
2021年度 進捗状況					
デジタル化支援事業補助金により、働き方改革を行った事業者4社を支援した。2022年度はDX推進補助金により、引き続き支援を行っていく。					
2022年度 進捗状況					
DX推進補助金、DX伴走型支援事業により、生産性向上、業務の効率化等を図ることで職場環境整備を促進した。2023年度もDX推進補助金、伴走型支援事業により、引き続き支援を行っていく。					
2023年度 進捗状況					
DX推進補助金、DX伴走型支援事業により、生産性向上、業務の効率化等を図ることで職場環境整備を促進した。2024年度もDX推進補助金、伴走型支援事業により、引き続き支援を行っていく。					
2024年度 進捗状況					
DX推進補助金(8件)、DX伴走型支援事業(5件)により、生産性向上、業務の効率化等を図ることで職場環境整備を促進した。2025年度はDX推進補助金により、引き続き支援を行っていく。					
2025年度 達成状況					

多様な人材による産業振興

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	事業者
No.	施策名			基本方針	
22	多様な働き手の雇用拡大に向けた事業者への働きかけの促進			(3)ダイバーシティ経営の推進	
概要					第5次総振での該当施策
女性・障がい者・高齢者・外国人雇用の促進に向け、事業者へ情報提供や啓発活動を行います。					29
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	埼玉県の認定する多様な働き方実践企業数	100	103	達成	
2022	埼玉県の認定する多様な働き方実践企業数	100	111	達成	
2023	埼玉県の認定する多様な働き方実践企業数	110	123	達成	
2024	埼玉県の認定する多様な働き方実践企業数	110	125	達成	
2025	埼玉県の認定する多様な働き方実践企業数	115			
2021年度 進捗状況					
目標数値100件に対し103件の認定となった。着実に認定企業は増えており、今後も周知等を継続して行っていくこととする。					
2022年度 進捗状況					
令和5年3月末時点で111件の認定となっている。認定企業は着実に増えていることから、今後も継続して周知を行っていく。					
2023年度 進捗状況					
令和6年3月末時点で123件の認定となっている。認定企業は着実に増えていることから、今後も継続して周知を行っていく。					
2024年度 進捗状況					
令和7年3月末時点で125件の認定となっている。認定企業は着実に増えていることから、今後も継続して周知を行っていく。					
2025年度 達成状況					

多様な人材による産業振興

				推進主体(主管課)	推進主体
				商工会	事業者
No.	施策名			基本方針	
23	経営アドバイザーによる個別相談			(3)ダイバーシティ経営の推進	
概要					第5次総振での 該当施策
「財務、リーダーシップ、情報発信、交渉力、分析力、企画力」等、経営者の資質を高めるために、商工会で専門の相談員による経営相談を実施し、課題解決へ向けての伴走型支援により事業者への適切なサポートを行います。					30
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	経営アドバイザーによる個別相談実施数	120	266	達成	
2022	経営アドバイザーによる個別相談実施数	120	193	達成	
2023	経営アドバイザーによる個別相談実施数	120	98	未達成	
2024	経営アドバイザーによる個別相談実施数	120	165	達成	
2025	経営アドバイザーによる個別相談実施数	120			
2021年度 進捗状況					
毎月発行の会報誌による周知を行いました、支援員による情報の発掘を行った結果、目標値120に対し266となった。今後も継続的に周知を行っていき目標の達成を行っていく。					
2022年度 進捗状況					
毎月発行の会報誌による周知を、昨年度から継続して実施。また支援員による情報の発掘を行った結果、目標値120に対し実績193となった。					
2023年度 進捗状況					
毎月発行の会報誌による周知を、昨年度から継続して実施。また支援員による情報の発掘、コロナ禍後となり、コロナ関連の相談が減少。標値120に対し98の実績となった。					
2024年度 進捗状況					
原材料・エネルギー高騰の影響や人手不足もあり事業者の相談が増加した。今後も関係機関とも協力しながら相談体制を強化していく。					
2025年度 達成状況					

多様な人材による産業振興

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	事業者・商工会
No.	施策名			基本方針	
24	業務効率化支援と啓発			(3)ダイバーシティ経営の推進	
概要					第5次総振での該当施策
人手不足、労働者不足への対策として、AI()やRPA()の活用についての業務効率化支援に関する情報を企業に提供します。支援策としては、AIやRPAの導入についての講習会、セミナーの開催や各種支援策等の情報提供と啓発活動を行います。					30
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	情報提供の実施数	3	4	達成	
2022	情報提供の実施数	3	8	達成	
2023	情報提供の実施数	3	8	達成	
2024	情報提供の実施数	4	5	達成	
2025	情報提供の実施数	4			
2021年度 進捗状況					
AI、RPAに限定していた施策の概要について、上記のとおり見直しを図った。毎月発行の戸田市産業・就労情報メールにて、業務効率化支援に関する情報提供を実施した。翌年度以降も引き続き情報提供に努めたい。					
2022年度 進捗状況					
毎月発行の戸田市産業・就労情報メールにて、業務効率化支援に関する情報提供を実施した。また、DXをテーマとしたセミナーを開催した。2023年度以降も引き続き情報提供に努めたい。					
2023年度 進捗状況					
毎月発行の戸田市産業・就労情報メールにて、業務効率化支援に関する情報提供を実施した。また、DXをテーマとしたセミナーを開催した。2024年度以降も引き続き情報提供に努めたい。					
2024年度 進捗状況					
毎月発行の戸田市産業・就労情報メールにて、業務効率化支援に関する情報提供を実施した。2025年度以降も引き続き情報提供に努めたい。					
2025年度 達成状況					

地域社会をつなぐ

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	商工会・公社・商店会・市民
No.	施策名			基本方針	
25	イベントの開催による賑わいの創出			(1)賑わいの創出と地域活性	
概要					第5次総振での 該当施策
「戸田市商工祭」「戸田収穫祭」「彩湖・道満グリーンパークでの各種イベント」「各商店会のイルミネーション」「戸田朝市」等市民や各種団体が共に協力し賑わいを創出するイベントを開催します。また、オンライン等を活用した、新しい形のイベントの創出についても検討をしていきます。					31
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	各イベントの開催数、来場者数 各イベントの開催数	5	2	未達成	コロナ感染防止のため
2022	各イベントの開催数、来場者数 各イベントの開催数	5	7	達成	
2023	各イベントの開催数、来場者数 各イベントの開催数	5	8	達成	
2024	各イベントの開催数、来場者数 各イベントの開催数	5	10	達成	
2025	各イベントの開催数、来場者数 各イベントの開催数	5			
2021年度 進捗状況					
全てのイベントで来場者数を把握することが困難であるため、指標をイベント開催数のみに見直した。2021年度はコロナ禍でイベントの中止が多く、イベントの開催数は少なかった。2022年度はコロナが収束しつつあるため、感染症対策をしっかりと行い、イベント開催に向け引き続き周知を行っていきたい。					
2022年度 進捗状況					
2022年度は、コロナ禍ではあったが感染症対策をしっかりと行い、イベントを開催することができた。2023年度はコロナが収束しつつあるため、感染症対策をしっかりと行い、イベント開催に向け引き続き周知を行っていきたい。					
2023年度 進捗状況					
2023年度は、コロナも5類に移行し収束しつつある中で、引き続き感染症対策を行い、目標を達成するイベント数を開催することができた。2024年度も、イベント開催に向け引き続き周知を行っていきたい。					
2024年度 進捗状況					
2024年度は、新商店会も立ち上がり、目標を達成するイベント数を開催することができた。2025年度も、イベント開催に向け引き続き周知を行っていきたい。					
2025年度 達成状況					

地域社会をつなぐ

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	教育政策室・保育幼稚園課
No.	施策名			基本方針	
26	土に親しむ広場の利用促進			(1)賑わいの創出と地域活性	
概要					第5次総振での該当施策
市民農園「土に親しむ広場」について周知を図るとともに、広場の共有スペースを活用し、利用者との協働による良好な景観形成を図ります。 また、教育支援センター「すてっぷ」()の児童生徒や保育園児への農業体験による生きた環境教育の場として活用します。					9、25、31、32
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	広場の貸出区画数	480	521	達成	
2022	広場の貸出区画数	480	504	達成	
2023	広場の貸出区画数	480	525	達成	
2024	広場の貸出区画数	480	398	未達成	
2025	広場の貸出区画数	480			
2021年度 進捗状況					
教育センター「すてっぷ」や保育園に貸し出しを行っており、継続的に農業体験の場を提供できている。 2021年度をもって広場が一つ閉鎖になるため、2022年度以降は貸し出せる区画が減少する見込みである。					
2022年度 進捗状況					
教育センター「すてっぷ」や保育園に貸し出しを行っており、継続的に農業体験の場を提供できている。 野菜作り初心者講座を開催し、土に親しむ広部の周知と土と親しむ機会の創出をすることができた。					
2023年度 進捗状況					
教育センター「すてっぷ」や保育園に貸し出しを行っており、継続的に農業体験の場を提供できている。 野菜作り初心者講座を開催し、土に親しむ広部の周知と土と親しむ機会の創出をすることができた。					
2024年度 進捗状況					
教育センター「すてっぷ」や保育園に貸し出しを行っており、継続的に農業体験の場を提供できている。 2024年度をもって広場が一つ閉鎖になるため、2025年度以降は貸し出せる区画が減少する見込みである。					
2025年度 達成状況					

地域社会をつなぐ

		推進主体(主管課)		推進主体	
		経済戦略室		商店会	
No.	施策名		基本方針		
27	商業活性化推進事業		(1)賑わいの創出と地域活性		
概要				第5次総振での該当施策	
市内の商店会や商業団体が地域住民に親しまれ活力あるものとなるように、イベントをはじめ地域特性に合わせ創意工夫がみられる事業に対し、対象経費の一部を補助して支援します。				30	
				達成予定年度	
				2025	
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	商業活性化推進事業補助金の交付件数	8	6	未達成	コロナ感染防止のため
2022	商業活性化推進事業補助金の交付件数	8	10	達成	
2023	商業活性化推進事業補助金の交付件数	9	9	達成	
2024	商業活性化推進事業補助金の交付件数	9	11	達成	
2025	商業活性化推進事業補助金の交付件数	10			
2021年度 進捗状況					
目標数値8件に対し、6件の交付であった。コロナ禍でイベントが中止となっていたため、交付件数が目標に満たなかった。2022年度は、コロナが収束しつつあり、様々なイベントも開催される予定なので、引き続き周知を行っていきたい。					
2022年度 進捗状況					
目標数値9件に対し、10件の交付であった。2023年度は、コロナが収束しつつあり、様々なイベントも開催される予定なので、引き続き周知を行っていきたい。					
2023年度 進捗状況					
目標数値9件に対し、9件の交付であった。2024年度は、様々なイベントも開催される予定なので、引き続き周知を行っていきたい。					
2024年度 進捗状況					
目標数値9件に対し、11件の交付であった。2025年度は、様々なイベントも開催される予定なので、引き続き周知を行っていきたい。					
2025年度 達成状況					

地域社会をつなぐ

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	
No.	施策名			基本方針	
28	戸田橋花火大会の開催			(1)賑わいの創出と地域活性	
概要					第5次総振での該当施策
昭和25年に当時の戸田町と板橋区との境界変更が成立したことを記念し、翌年8月に開催したのを皮切りに、第2回から荒川を挟んで板橋区との同時開催で継続しています。市を代表するイベントとして賑わいを創出すると共に、地域の活性化につなげていきます。					31
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	戸田橋花火大会への来場者数	450,000	0	未達成	コロナ感染防止のため中止
2022	戸田橋花火大会への来場者数	450,000	0	未達成	コロナ感染防止のため中止
2023	戸田橋花火大会への来場者数	450,000	450,000	達成	
2024	戸田橋花火大会への来場者数	450,000	450000	達成	
2025	戸田橋花火大会への来場者数	450,000			
2021年度 進捗状況					
2021年度の戸田橋花火大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となったが、同感染症の状況を注視しつつ、次年度以降の円滑な大会開催に向けた準備等の業務を実施した。なお、2022年度の開催も中止が決定した。					
2022年度 進捗状況					
2022年度の戸田橋花火大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により2021年度に引き続き中止となったが、2023年度の大会実施に向け機運を高めるため、市内小学生を対象としたプレイベントを実施した。2023年度は同感染症の状況を注視しつつ、大会開催に向け調整等を行っていく。					
2023年度 進捗状況					
2023年度の戸田橋花火大会は、2019年以来4年ぶりの開催となった。市内商店による一部有料席チケットの販売や当日の出店により地域の活性化が図れた。また、前年度に実施した花火大会のプレイベントに参加した市内の小学生とその家族、2020年度の成人式対象者、新成人(18歳)を招待し、郷土愛や戸田橋花火大会への愛着心の醸成につながった。					
2024年度 進捗状況					
2024年度の戸田橋花火大会は、荒川放水路通水100周年記念大会として開催し、大会開催場所である国道17号戸田橋上流荒川河川敷を管理する荒川下流河川事務所に後援をいただくなど、地域をとりまく団体からこれまで以上のご協力をいただき、開催することができた。大会史上最多の打ち上げ数や荒川対岸で同時開催しているいたばし花火大会とのコラボレーション演出など初めての試みを行い、来場者に戸田市ならではのイベントを提供し、まちへの愛着心の醸成につなげることができた。					
2025年度 達成状況					

地域社会をつなぐ

				推進主体(主管課)	推進主体
				みどり公園課	公園指定管理者
No.	施策名			基本方針	
29	彩湖道満グリーンパークの活用と魅力拡大			(2)人と企業を呼び込む	
概要					第5次総振での該当施策
彩湖・道満グリーンパークの魅力を拡大するため、公園指定管理者が中心となり、金魚釣り場、へら鮎釣り場、中心広場等の公園施設の活用により、手ぶらでバーベキューのような集客効果の高い事業を展開し、利用者数の増加を図ります。					31
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	駐車場利用台数	320,000	385,967	達成	
2022	駐車場利用台数	321,000	389,450	達成	
2023	駐車場利用台数	322,000	372,577	達成	
2024	駐車場利用台数	323,000	364,229	達成	
2025	駐車場利用台数	324,000			
2021年度 進捗状況					
新型コロナウイルス感染症による影響が比較的縮小し、来園者数が回復したことから、目標数値を大幅に上回る結果となった。引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しつつ、彩湖・道満グリーンパークの魅力拡大のため、集客効果の高い事業を展開し、利用者数の増加を図っていく。					
2022年度 進捗状況					
新型コロナウイルス感染症によるまん延防止等重点措置解除(令和4年3月22日～)に伴いBBQ、火器使用を再開したこともあり、昨年の実績を上回り、目標数値についても大幅に上回った。引き続き、彩湖・道満グリーンパークの魅力拡大のため、集客効果の高い事業を展開し、利用者数の増加を図っていく。					
2023年度 進捗状況					
5月末から6月初めにかけて、降雨による公園内の一部が冠水し、公園施設の一部閉鎖が発生したが、タンデム自転車レンタルを開始するなど新たな事業展開により、目標数値を上回ることができた。引き続き、彩湖・道満グリーンパークの魅力拡大のため、集客効果の高い事業を展開し、利用者数の増加を図っていく。					
2024年度 進捗状況					
夏場の酷暑が影響したのか2023年度の実績を下回ったが、目標数値を上回ることができた。引き続き、彩湖・道満グリーンパークの魅力拡大のため、集客効果の高い事業を展開し、利用者数の増加を図っていく。					
2025年度 達成状況					

地域社会をつなぐ

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	水と緑の公社
No.	施策名			基本方針	
30	戸田市観光情報館トピックの管理運営と販売促進			(2)人と企業を呼び込む	
概要					第5次総振での該当施策
戸田市優良推奨品などに認定された商品を中心とする展示販売コーナーを充実させるとともに、観光情報や店舗等の情報発信の場としての利用を促進します。					10、31
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	観光情報館への来場者数	10,000	11,596	達成	
2022	観光情報館への来場者数	10,500	13,555	達成	
2023	観光情報館への来場者数	11,000	11,630	達成	
2024	観光情報館への来場者数	11,500	13,849	達成	
2025	観光情報館への来場者数	12,000			
2021年度 進捗状況					
2021年度は、市民参加型のリアル宝探しイベントの実施施設として参加する等、積極的な集客活動を行った結果、目標を達成できた。2022年度も引き続き、多くの方に来場いただけるよう、集客活動を行っていく。					
2022年度 進捗状況					
2022年度は集客活動として、県の観光スタンプラリーのスポット施設として参加し、また本市マンホールカード配付をトピックでも開始する等を行った結果、来場者数が増加した。2023年度も引き続き集客活動を行いつつ、トピックの活用方法を検討していく。					
2023年度 進捗状況					
2023年度は集客活動として、共創企画課が実施したSDGs啓発イベントのチェックポイントとして活用するなどの活動を行い、前年度比では来場者が減少したものの目標を達成できた。2024年度も引き続き集客活動を行いつつ、トピックの活用方法を検討していく。					
2024年度 進捗状況					
2024年度は集客活動として、花火大会の映像放映やリニューアルした本市のマンホールカードの配付を行い、来場者数が増加した。2025年度も引き続き集客活動を行いつつ、トピックの活用方法を検討していく。					
2025年度 達成状況					

地域社会をつなぐ

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	水と緑の公社
No.	施策名			基本方針	
31	サイクリング環境の充実			(2)人と企業を呼び込む	
概要					第5次総振での 該当施策
観光雑誌るぶに掲載しているサイクリングマップを周知すると共に、市内にレンタサイクルポートを設置し市内の周遊性を高め、サイクリング観光をPRしていきます。					31
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	レンタサイクルやシェアサイクルのポート設置数	5	45	達成	
2022	レンタサイクルやシェアサイクルのポート設置数	50	48	未達成	
2023	レンタサイクルやシェアサイクルのポート設置数	55	66	達成	
2024	レンタサイクルやシェアサイクルのポート設置数	60	85	達成	
2025	レンタサイクルやシェアサイクルのポート設置数	63			
2021年度 進捗状況					
都市交通課が中心となり、シェアサイクル事業者であるシナネンモビリティPLUS株式会社、OpenStreet株式会社とシェアサイクルの実証実験に係る基本協定を締結した。本締結により、市内にシェアサイクルポートが拡充されていく予定であるため、2022年度以降の目標数値に関して上方修正を行い、関係課と連携しつつ、サイクリング観光のPR及びシェアサイクルの利用促進を図っていく。					
2022年度 進捗状況					
前年度に、都市交通課にてシェアサイクル事業者とのシェアサイクルの実証実験に係る基本協定を締結したことにより、目標数値には達していないものの、市内にシェアサイクルポートが拡充されている。2023年度も引き続き当室においても、都市交通課等と連携しつつ、サイクリング観光マップの作成協力等を行い、サイクリング観光のPRを図っていく。					
2023年度 進捗状況					
2021年度にシェアサイクル事業者とシェアサイクルの実証実験に係る基本協定を締結したことにより、市内のシェアサイクルポートの拡充が進み、目標を達成できた。当室も情報提供という形で参画した市内サイクリングマップを都市交通課が制作しPRを行っていることから、当室でもサイクリング観光のPRを行っていく。					
2024年度 進捗状況					
市内のシェアサイクルポートの拡充が進み、目標を達成できた。都市交通課が制作したサイクリングマップを活用して、当室でも引き続きサイクリング観光のPRを行っていく。					
2025年度 達成状況					

地域社会をつなぐ

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	水と緑の公社
No.	施策名			基本方針	
32	観光・お店マップの作成			(2)人と企業を呼び込む	
概要					第5次総振での 該当施策
レジャー施設や観光名所だけでなく、市内の店舗情報も網羅した観光マップを作成し、店舗の情報を発信します。					31
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	マップの掲載店舗数、観光入込客数	705,000	707,982	達成	
2022	マップの掲載店舗数、観光入込客数	710,000	839,153	達成	
2023	マップの掲載店舗数、観光入込客数	720,000	1,382,871	達成	
2024	マップの掲載店舗数、観光入込客数	800,000	1,259,173	達成	
2025	マップの掲載店舗数、観光入込客数	900,000			
2021年度 進捗状況					
観光情報誌として作成した「るるぶ特別編集戸田」を市外の施設等へも配架を依頼する等、市観光情報の積極的な発信を実施した。2022年度も新型コロナウイルス感染症の影響は依然としてあるが、積極的な観光情報発信行いつつ、観光振興を図っていく。					
2022年度 進捗状況					
「るるぶ特別編集戸田」を市外の施設等へ積極的に配架を依頼し、市観光情報の発信を実施した。引き続き同誌を活用しつつ、積極的な観光情報の発信を行うとともに、その他の効果的な発信手段を模索していく。					
2023年度 進捗状況					
「るるぶ特別編集戸田」を市外の施設等へ積極的に配架を依頼し、市観光情報の発信を実施した。引き続き同誌を活用しつつ、積極的な観光情報の発信を行うとともに、その他の効果的な発信手段を模索していく。 また、前回の改定から年数が経過しその間に新型コロナウイルス感染症の蔓延など環境の変化もあったため、2024年度に改定を実施するか検討する。					
2024年度 進捗状況					
前年度から検討していた「るるぶ特別編集戸田」の改訂に向けてプロポーザル方式による業者選定を実施し、改定に向けた準備を行った。引き続き改定版の発行に向けて制作を進め、市内の最新の観光情報を届けられる環境を整えていく。					
2025年度 達成状況					

地域社会をつなぐ

				推進主体(主管課)	推進主体
				水と緑の公社	経済戦略室
No.	施策名			基本方針	
33	フィルムコミッションの運営			(2)人と企業を呼び込む	
概要					第5次総振での該当施策
戸田市を映像等を通じて発信し、まちの魅力を内外に向けて積極的にPRするとともに、市民の愛着につなげるなど、良好な都市イメージの構築を図ります。					31
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	戸田市での撮影実績件数	75	95	達成	
2022	戸田市での撮影実績件数	80	106	達成	
2023	戸田市での撮影実績件数	85	75	未達成	
2024	戸田市での撮影実績件数	90	72	未達成	
2025	戸田市での撮影実績件数	95			
2021年度 進捗状況					
市HPや戸田市フィルムコミッション協議会HPで周知を行ったところ、ロケ地候補となっている施設等のご協力もあり、目標数値を達成できた。2022年度以降も目標達成を図るための周知活動を行いつつ、撮影された映像等の発信による市のPRにつなげていく。					
2022年度 進捗状況					
2022年度は、戸田市フィルムコミッション協議会を運営している(公財)戸田市水と緑の公社とフィルムコミッション事業に係る意見交換等を行いつつ、本事業に関する周知を行った結果、市内各施設等のご協力もあり目標数値を達成できた。引き続き周知活動を行うとともに、当該事業のより効果的な活用方法等を検討しながら、本市PRにつなげていく。					
2023年度 進捗状況					
2023年度も市HPや戸田市フィルムコミッション協議会HPで周知を行ったところ、ロケ地候補となっている施設等のご協力や新型コロナウイルス感染症の類型が5類に引き下がったこと等により、撮影実績はあったものの、問い合わせ件数を含め減少し目標を達成できなかった。引き続き周知活動を行うとともに、当該事業のより効果的な活用方法等を検討しながら、本市PRにつなげていく。					
2024年度 進捗状況					
2024年度は、実績の倍以上の相談があったものの、撮影につながらなかった案件も多く目標は未達成となった。市内には彩湖・道満グリーンパークなど、さまざまな撮影に活用できる環境があることをPRし、相談から撮影へと効果的につなげることができるよう、さらなる周知を図っていく。					
2025年度 達成状況					

地域社会をつなぐ

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	
No.	施策名			基本方針	
34	産業立地推進事業			(2)人と企業を呼び込む	
概要					第5次総振での 該当施策
工業地域等における工場の立地や設備投資に対し支援することで「工業の集積」を図るとともに、「新たな産業の誘致」と「既存産業の流出防止」を図るほか、立地に際しての市民の雇用を促進します。					29, 30
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	産業立地推進事業補助金の交付件数	10	10	達成	
2022	産業立地推進事業補助金の交付件数	10	6	未達成	
2023	産業立地推進事業補助金の交付件数	11	2	未達成	
2024	産業立地推進事業補助金の交付件数	11	2	未達成	
2025	産業立地推進事業補助金の交付件数	12			
2021年度 進捗状況					
市HPや広報にて補助金制度の周知を行った結果、目標数値10件に対し実績は10件であった。2022年度は新たに補助対象事業者 者にIT関連企業を追加した。引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2022年度 進捗状況					
市HPや広報にて補助金制度の周知を行ったが、目標数値10件に対し実績は6件であった。2022年度に新たに補助対象事業者 者にIT関連企業を追加して実績増加を目指したが、未達成となった。新型コロナウイルスの影響で、在宅ワークなど働き方が多様化し ていることも要因の一つにあると考えられる。引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2023年度 進捗状況					
市HPや広報にて補助金制度の周知を行ったが、目標数値11件に対し実績は2件であった。申請に関する問合せはあったが、要件 を満たさなかったことから申請には至らなかった。引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2024年度 進捗状況					
市HPや広報にて補助金制度の周知を行ったが、目標数値11件に対し実績は2件であった。申請に関する問合せはあったが、要件 を満たさなかったことから申請には至らなかった。引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2025年度 達成状況					

地域社会をつなぐ

		推進主体(主管課)		推進主体	
		みどり公園課		公社、市民、事業者	
No.	施策名	基本方針			
35	緑のまちづくりの推進	(3) 快適なまちづくり			
概要					第5次総振での該当施策
緑に関するイベント、地域のまちづくり活動や講習会など様々な機会を通じ、市民、事業者との協働による緑のまちづくりを推進します。					25
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	緑化に関する講習会やイベントへの参加者数 「とだグリーンウェイ」活動による植樹累計数	400 380	581 374	達成 未達成	R3実績44本
2022	緑化に関する講習会やイベントへの参加者数 「とだグリーンウェイ」活動による植樹累計数	450 430	1051 433	達成 達成	R4実績59本
2023	緑化に関する講習会やイベントへの参加者数 「とだグリーンウェイ」活動による植樹累計数	500 480	1005 466	達成 未達成	R5実績33本
2024	緑化に関する講習会やイベントへの参加者数 「とだグリーンウェイ」活動による植樹累計数	550 530	1113 499	達成 未達成	R6実績33本
2025	緑化に関する講習会やイベントへの参加者数 「とだグリーンウェイ」活動による植樹累計数	600 580			
2021年度 進捗状況					
講習会やイベント等の参加者数については、新型コロナウイルス感染症による影響が比較的縮小し、イベントが開催できたことから、目標数値を上回る結果となった。引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しつつ、イベント等の開催により市民、事業者との協働の機会の提供を行っていく。 とだグリーンウェイによる植樹累計数については、例年と同等の植樹数となったが、目標数値の達成には至らなかった。単年度50本の植樹を目標としていくとともに、新規参加者の増加に向け、周知啓発を継続していく。					
2022年度 進捗状況					
講習会やイベントの参加者数については、従来どおりイベントが開催できるようになり、さくらそうまつりにも多くの来場があったことから、目標数値を上回る結果となった。引き続き、イベント等の開催により、市民、事業者と協働し緑のまちづくりを推進していく。とだグリーンウェイによる植樹累計数については、グリーンウェイ活動の展示等の効果もあり、昨年度よりも多くの植樹が行われ目標数値を上回ることができた。今後も新規参加者を増やすべく、周知啓発を実施していく。					
2023年度 進捗状況					
講習会やイベントの参加者数については、さくらそうまつりにも多くの来場があったことから、目標数値を上回る結果となった。引き続き、イベント等の開催により、市民、事業者と協働し緑のまちづくりを推進していく。 とだグリーンウェイによる植樹累計数については、植樹数が減少し、目標数値の達成には至らなかった。単年度50本の植樹を目標としていくとともに、新規参加者の増加に向け、周知啓発を継続していく。					
2024年度 進捗状況					
講習会やイベントの参加者数については、さくらそうまつりにも多くの来場があったことから、目標数値を上回る結果となった。引き続き、イベント等の開催により、市民、事業者と協働し緑のまちづくりを推進していく。 とだグリーンウェイによる植樹累計数については、植樹数が減少し、目標数値の達成には至らなかった。単年度50本の植樹を目標としていくとともに、新規参加者の増加に向け、周知啓発を継続していく。					
2025年度 達成状況					

地域社会をつなぐ

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	
No.	施策名			基本方針	
36	住宅改修資金助成事業			(3)快適なまちづくり	
概要					第5次総振での 該当施策
市内施工業者を利用し個人住宅等を改修する場合、その工事費の一部を助成することにより、地域経済の振興と居住環境の向上を図ります。					30
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	住宅改修資金助成金の交付件数	20	30	達成	
2022	住宅改修資金助成金の交付件数	21	40	達成	
2023	住宅改修資金助成金の交付件数	22	39	達成	
2024	住宅改修資金助成金の交付件数	23	40	達成	
2025	住宅改修資金助成金の交付件数	24			
2021年度 進捗状況					
市HPや広報にて補助金制度の周知を行った結果、目標数値20件に対し実績は30件であった。2022年度も、引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2022年度 進捗状況					
市HPや広報にて補助金制度の周知を行った結果、目標数値21件に対し実績は40件であった。2023年度も、引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2023年度 進捗状況					
市HPや広報にて補助金制度の周知を行った結果、目標数値22件に対し実績は39件であった。2024年度も、引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2024年度 進捗状況					
市HPや広報にて補助金制度の周知を行った結果、目標数値23件に対し実績は40件であった。2025年度も、引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2025年度 達成状況					

地域社会をつなぐ

		推進主体(主管課)		推進主体	
		経済戦略室		街路灯管理団体	
No.	施策名		基本方針		
37	商店街街路灯の維持管理支援		(3)快適なまちづくり		
概要				第5次総振での 該当施策	
地域の安心・安全に貢献している商店街街路灯の維持管理を支援するため、街路灯管理団体に対し電気料金や改修等の経費の一部を補助して支援を行います。				30	
				達成予定年度	
				2025	
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	商店街街路灯電気料補助金の交付件数	7	7	達成	
2022	商店街街路灯電気料補助金の交付件数	7	7	達成	
2023	商店街街路灯電気料補助金の交付件数	7	7	達成	
2024	商店街街路灯電気料補助金の交付件数	7	7	達成	
2025	商店街街路灯電気料補助金の交付件数	7			
2021年度 進捗状況					
目標数値7件に対し、7件の交付であった。2022年以降も引き続き商店街街路灯の維持管理支援を行っていく。					
2022年度 進捗状況					
目標数値7件に対し、7件の交付であった。2023年以降も引き続き商店街街路灯の維持管理支援を行っていく。					
2023年度 進捗状況					
目標数値7件に対し、7件の交付であった。2024年以降も引き続き商店街街路灯の維持管理支援を行っていく。					
2024年度 進捗状況					
目標数値7件に対し、7件の交付であった。2025年度以降も引き続き商店街街路灯の維持管理支援を行っていく。					
2025年度 達成状況					

社会的責任の遂行

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	経済団体、商工会
No.	施策名			基本方針	
38	CSR認定活動を通して企業へのSDGsの推進			(1)持続可能な事業運営	
概要					第5次総振での該当施策
社会的に模範や目標となるような市内の企業を認定するCSR認定制度を開始し、地域に根付いた優良企業を顕彰し、地域経済の持続と繁栄を促します。また、埼玉県と連携し、SDGsの取組を自ら実施、公表する企業・団体等を「戸田市SDGsパートナー」として登録し、SDGsの推進を図ります。					30
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	CSR認定制度の認定者数 埼玉県SDGsパートナー登録者数	10	20	達成	
2022	埼玉県SDGsパートナー登録者数	12	10	未達成	
2023	埼玉県SDGsパートナー登録者数	15	13	未達成	
2024	埼玉県SDGsパートナー登録者数	20	9	未達成	
2025	埼玉県SDGsパートナー登録者数	25			
2021年度 進捗状況					
本プラン作成時に設定したCSR認定制度は、SDGsが主流となってきた現在の社会状況、及び、市の総合振興計画にSDGs推進が掲げられていることに鑑み、概要を一部見直した。また、併せて目標となる指標についても「埼玉県SDGsパートナー登録者数」として見直した。					
2022年度 進捗状況					
「埼玉県SDGsパートナー登録者」は、10件となった。また、12月1日より「とだSDGsパートナー制度」を創設し、2022年度の実績は、13件となった。					
2023年度 進捗状況					
「埼玉県SDGsパートナー登録者」は、13件となった。また、「とだSDGsパートナー制度」の2023年度の実績は、19件となった。					
2024年度 進捗状況					
「埼玉県SDGsパートナー登録者」は、9件となった。また、「とだSDGsパートナー制度」の2024年度の実績は、15件となった。					
2025年度 達成状況					

社会的責任の遂行

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	金融機関、商工会
No.	施策名			基本方針	
39	事業承継問題へのサポート			(1)持続可能な事業運営	
概要					第5次総振での 該当施策
約4割の企業が事業承継に対し何も取り組んでいない状況において、行政で出来る役割としては主として情報提供が考えられます。 金融機関、商工会との協力体制を築き、金融機関等が行っている相続や税制のセミナーをメルマガなどで紹介して情報提供します。					30
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	金融機関や商工会と協力し行うセミナーの情報提供数、相談会等の実施数	3	0	未達成	
2022	金融機関や商工会と協力し行うセミナーの情報提供数、相談会等の実施数	3	9	達成	
2023	金融機関や商工会と協力し行うセミナーの情報提供数、相談会等の実施数	3	9	達成	
2024	金融機関や商工会と協力し行うセミナーの情報提供数、相談会等の実施数	4	12	達成	
2025	金融機関や商工会と協力し行うセミナーの情報提供数、相談会等の実施数	4			
2021年度 進捗状況					
2021年度は、情報提供や相談会開催周知のための仕組みづくりを実施した。2022年度からは商工会、埼玉県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、相談会の開催と情報発信を行っていく。					
2022年度 進捗状況					
商工会、埼玉県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、広報・メルマガにて、情報発信を9回実施した。2023年度も相談会の開催と情報発信を引き続き行っていく。					
2023年度 進捗状況					
商工会、埼玉県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、広報・メルマガにて、情報発信を9回実施した。2024年度も相談会の開催と情報発信を引き続き行っていく。					
2024年度 進捗状況					
商工会、埼玉県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、広報・メルマガにて、情報発信を12回実施した。2025年度も相談会の開催と情報発信を引き続き行っていく。					
2025年度 達成状況					

社会的責任の遂行

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	商工会、事業者
No.	施策名			基本方針	
40	企業の経営基盤強化			(1)持続可能な事業運営	
概要					第5次総振での 該当施策
災害や事故、感染症、インフラやシステムの障害等をはじめ、様々な事態により事業が中断するリスクを極力回避できるよう、事業の継続や早期復旧を確実にする事業継続力強化計画()策定を推進します。					30
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	事業継続力強化計画を策定した事業者数	2	0	未達成	
2022	事業継続力強化計画を策定した事業者数	2	0	未達成	
2023	事業継続力強化計画を策定した事業者数	2	1	未達成	
2024	事業継続力強化計画を策定した事業者数	2	1	未達成	
2025	事業継続力強化計画を策定した事業者数	2			
2021年度 進捗状況					
商工会会報でのPR、ホームページでのPRをおこない、策定事業者を継続的に募集した。今後は、計画策定が必要と思われる事業者(台風による水害被害事業者等)をターゲットとして、事業PRを行うことにより目標を達成していく。					
2022年度 進捗状況					
将来への備えは必要であるが商工業者は、コロナ禍の現状を乗り切る事に注力しており、推進しにくい状況であった。					
2023年度 進捗状況					
将来へ備えて、計画作りに取り組む様、経営計画を作成した事業者へ説明。現在計画作成中の事業者1者あり。					
2024年度 進捗状況					
個別支援の中で計画の策定を推奨し策定中事業所1社。今後はセミナー等も活用し策定事業者を募集していく。					
2025年度 達成状況					

社会的責任の遂行

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	商工会、県、事業者
No.	施策名			基本方針	
41	経営革新計画の策定支援			(1)持続可能な事業運営	
概要					第5次総振での 該当施策
埼玉県では経営革新計画の策定を推進しており、経営革新計画の承認を受けると様々な支援措置を受けられることから、商工会と協力し、市内事業者の経営革新計画の策定を支援します。					30
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	経営革新計画の策定支援	20	20	達成	
2022	経営革新計画の策定支援	20	22	達成	
2023	経営革新計画の策定支援	20	23	達成	
2024	経営革新計画の策定支援	20	23	達成	
2025	経営革新計画の策定支援	20			
2021年度 進捗状況					
コロナ禍において、現状を分析・把握し、今後の進むべき方向について専門家の意見も聞きながら策定していくことの重要性について説明、納得いただき経営革新計画策定に取り組んだ結果、目標の20件の策定、承認を得ることができた。					
2022年度 進捗状況					
変化の激しい経営環境の中で現状を分析・把握し、今後の進むべき方向について専門家の意見も聞きながら策定していくことの重要性を認識していただき、また事業計画策定を行う上では、財務データ等から見えてくる表面的な課題だけではなく、経営にかかる本質的な課題も認識していただいた上で、事業計画の作成に取り組み22件の策定、承認を得ることができた。					
2023年度 進捗状況					
変化の激しい経営環境の中で現状を分析・把握し、今後の進むべき方向について専門家の意見も聞きながら策定していくことの重要性を認識していただき、また事業計画策定を行う上では、財務データ等から見えてくる表面的な課題だけではなく、経営にかかる本質的な課題も認識していただいた上で、事業計画の作成に取り組み23件の策定、承認を得ることができた。					
2024年度 進捗状況					
原材料・エネルギー高騰の影響や人手不足もあり事業者の相談が増加、事業者とともに伴走型の支援を継続し、今後の進むべき方向について専門家の意見も聞きながら事業計画の策定に取り組み、23件の承認を得ることができた。					
2025年度 達成状況					

社会的責任の遂行

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	金融機関、保証協会、商工会
No.	施策名			基本方針	
42	中小企業融資事業			(1)持続可能な事業運営	
概要					第5次総振での 該当施策
市が市内金融機関に資金を預託し融資を実施するとともに、借入れの負担軽減のために利子補給を行うなど、中小企業の運転や設備等事業資金の円滑化を支援します。					30
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	市、県制度融資及び政策金融公庫貸付件数	60	90	達成	県制度融資88件 政策公庫2件
2022	市、県制度融資及び政策金融公庫貸付件数	60	172	達成	県制度融資168件 政策公庫4件
2023	市、県制度融資及び政策金融公庫貸付件数	60	125	達成	県制度融資121件 政策公庫4件
2024	市、県制度融資及び政策金融公庫貸付件数	60	159	達成	県制度融資153件 政策公庫6件
2025	市、県制度融資及び政策金融公庫貸付件数	60			
2021年度 進捗状況					
斡旋した件数は164件であるが、必要以上の借入として承認が得られない事があったため、最終的な貸付は目標数値60件に対し90件となった。2022年度は補助金を絡めつつ融資件数の増加を図りたい。					
2022年度 進捗状況					
コロナ対策融資の継続やエネルギー・原材料高に対応した融資制度の拡充により、融資件数が増加したものと思われる。コロナ禍のいわゆるゼロゼロ融資の償還も始まっており、今後も慎重な対応が必要である。					
2023年度 進捗状況					
ゼロゼロ融資の返済に対する金融機関が直接貸付を行う制度ができたことで、商工会への融資相談が減少したと思われる。コロナ禍後、倒産が増加傾向にあり、今後も慎重な対応が必要である。					
2024年度 進捗状況					
金利は上昇傾向にあるものの、原材料・エネルギー高騰の影響や人手不足もあり事業者資金需要は高い。今後も金融機関との連携を密にした対応を継続していく。					
2025年度 達成状況					

社会的責任の遂行

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	商工会
No.	施策名			基本方針	
43	商工団体支援事業			(1)持続可能な事業運営	
概要					第5次総振での 該当施策
市内における商工業の経営の安定と事業の健全な進展、社会福祉の増進を図ることを目的として、戸田市商工会が市内事業者のために実施する事業の促進を支援します。					30
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	商工会が主体となって行う施策実施数	100	109	達成	
2022	商工会が主体となって行う施策実施数	100	79	未達成	
2023	商工会が主体となって行う施策実施数	100	83	未達成	
2024	商工会が主体となって行う施策実施数	100	97	未達成	
2025	商工会が主体となって行う施策実施数	100			
2021年度 進捗状況					
毎月会員宛に情報を発信しつつ、経営改善普及事業、税務、労務、金融、税務の各事業については日々の相談の中で事業を遂行した。総合振興対策については、コロナ対策関連の国、県、市の施策の相談、申請支援を中心に行った。施策項目については、今後、事業者の状況に合わせて増減していく予定である。					
2022年度 進捗状況					
毎月会員宛に情報を発信しつつ、経営改善普及事業、税務、労務、金融、税務の各事業については日々の相談の中で事業を遂行した。総合振興対策については、コロナ対策関連の行政からの支援策のが終了したことで、相談件数が減少した。施策項目については、今後、事業者の状況に合わせて増減していく予定である。					
2023年度 進捗状況					
毎月会員宛に情報を発信しつつ、経営改善普及事業、税務、労務、金融、税務の各事業については日々の相談の中で事業を遂行した。総合振興対策については、施策項目については、今後、事業者の状況に合わせて増減していく予定である。					
2024年度 進捗状況					
事業環境の変化が激しい中で、会員事業所に有効な支援となる施策項目を策定・実施していく。					
2025年度 達成状況					

社会的責任の遂行

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室、教育政策室	事業者
No.	施策名			基本方針	
44	学校と連携しての職業体験、社会体験事業			(2)社会貢献の促進	
概要					第5次総振での該当施策
生徒が将来の生き方を考え、自分自身の進路を見つめる機会を通し、望ましい勤労観や職業観を育成するため、社会体験活動を積極的に受け入れてくれる事業者の確保をサポートします。事業を行っている各中学校に対し、CSRを取得するなど一定の基準を満たしている事業者を紹介することで、中学生社会体験チャレンジ事業の裾野を広げていきます。					30
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	生徒を受け入れてくれる事業所数	300	0	未達成	コロナ感染防止のため中止
2022	生徒を受け入れてくれる事業所数	300	0	未達成	コロナ感染防止のため中止
2023	生徒を受け入れてくれる事業所数	300	348	達成	
2024	生徒を受け入れてくれる事業所数	300	389	達成	
2025	生徒を受け入れてくれる事業所数	300			
2021年度 進捗状況					
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、受け入れ事業所の確保が困難であったことや、学校として生徒を事業所に送り出すことが困難であったため、本事業の実施を中止とした。 本事業については、生徒たちの職業観、勤労観等のキャリア形成に重要な事業であることから、新型コロナウイルス感染症の感染状況や国の動向等を注視しながら実施を目指す。					
2022年度 進捗状況					
2021年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、受け入れ事業所の確保が困難であったことや、学校として生徒を事業所に送り出すことが困難であったため、本事業の実施を中止とした。 本事業については、生徒たちの職業観、勤労観等のキャリア形成に重要な事業である。2023年度は新型コロナウイルス感染症の法上の位置づけが「5類」へ引き下げられることもあるため、感染状況や国の動向等を注視しながら実施を目指す。					
2023年度 進捗状況					
2023年度は新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことを受け、4年ぶりに中学生社会体験チャレンジ事業を実施することができた。 庁内各課でも過去最多となる268名を受け入れていただいた。また、特別支援学級生徒を対象とした受け入れ先を新規開拓することができた。 生徒数が多い学校は受け入れ先の確保が困難であるため、引き続き受け入れ先の拡大を目指す。					
2024年度 進捗状況					
2024年度は昨年度の反省を生かし、庁内各課の協力や、各学校での新規事業所拡大への取り組みを経て、昨年度よりも41箇所多い受け入れ先を確保することができた。学校からの報告書には「来年もご協力いただけるか」という質問に対してはアンケートを返していただいた事業所に関してはほとんどの事業所で「はい」というお返事をいただいた。」という記述があり、事業所にとっても適正な取り組みであったことがうかがえる。生徒数が多い学校は受け入れ先の確保が困難であるため、引き続き受け入れ先の拡大を目指す。					
2025年度 達成状況					

社会的責任の遂行

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室、行政管理課	
No.	施策名			基本方針	
45	企業人権学習等の充実			(2)社会貢献の促進	
概要					第5次総振での該当施策
誰もが輝く働き方や人を大切にする企業の取組等をテーマに、基本的人権を尊重した明るい職場の確立を目指し、市内の企業の事業主や労務担当者のほか従業員などを対象に開催します。					29, 30
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	企業人権セミナーの参加人数	15	10	未達成	
2022	企業人権セミナーの参加人数	15	14	未達成	
2023	企業人権セミナーの参加人数	15	6	未達成	
2024	企業人権セミナーの参加人数	15	13	未達成	
2025	企業人権セミナーの参加人数	15			
2021年度 進捗状況					
働きやすい職場づくりのためのハラスメント対策をテーマに研修を実施した。参加人数が増えるよう、周知等を工夫していきたい。					
2022年度 進捗状況					
「採用と人権」をテーマに研修を実施した。昨年より参加人数は増えたが、継続して周知等を工夫して、参加人数の増加に努めてまいりたい。					
2023年度 進捗状況					
「カスタマーハラスメント対策について」をテーマに研修を実施した。昨年より参加人数は減少したが、継続して周知等を工夫して、参加人数の増加に努めてまいりたい。					
2024年度 進捗状況					
「採用と人権」をテーマに研修を実施した。昨年より参加人数は増えたが、継続して周知等を工夫して、参加人数の増加に努めてまいりたい。					
2025年度 達成状況					

社会的責任の遂行

				推進主体(主管課)	推進主体
				経済戦略室	事業者
No.	施策名			基本方針	
46	エコに取り組む事業者への支援			(3)地球環境に優しいまちへ	
概要					第5次総振での 該当施策
ISO等取得支援事業により、事業所における環境マネジメントシステム導入に際しての必要経費の一部を助成します。 また、住工混在が進行するなかで、地球環境に配慮した設備等の導入を支援し、住工共存が図れるまちづくりを推進します。					30
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	商工業支援事業補助金(ISO等取得支援事業、工業環境対策支援事業)の交付件数	1	3	達成	
2022	商工業支援事業補助金(ISO等取得支援事業、工業環境対策支援事業)の交付件数	1	1	達成	
2023	商工業支援事業補助金(ISO等取得支援事業、工業環境対策支援事業)の交付件数	2	0	未達成	
2024	商工業支援事業補助金(ISO等取得支援事業、工業環境対策支援事業)の交付件数	2	1	未達成	
2025	商工業支援事業補助金(ISO等取得支援事業、工業環境対策支援事業)の交付件数	2			
2021年度 進捗状況					
市HPの他、チラシ等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値1件に対し、3件の交付であった。2022年度以降も引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2022年度 進捗状況					
市HPの他、チラシ等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値1件に対し、1件の交付であった。2023年度以降も引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2023年度 進捗状況					
市HPの他、チラシ等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値2件に対し、0件の交付であった。申請に関する問合せはあったが、要件を満たさなかったことから申請には至らなかった。2024年度以降も引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2024年度 進捗状況					
市HPの他、チラシ等で積極的に制度周知を行った結果、目標数値2件に対し、1件の交付であった。申請に関する問合せはあったが、要件を満たさなかったことから申請には至らなかった。2025年度以降も引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2025年度 達成状況					

社会的責任の遂行

				推進主体(主管課)	推進主体
				環境課	市民、事業者
No.	施策名			基本方針	
47	低公害車導入の普及促進と環境整備			(3)地球環境に優しいまちへ	
概要					第5次総振での 該当施策
電気自動車およびインフラ整備を促進することにより低公害車の普及を目指すため、電気自動車及びプラグインハイブリッド自動車購入の際や電気自動車用充給電設備導入の際に補助を実施します。					27
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	電気自動車、プラグインハイブリッド自動車及び燃料電池自動車や電気自動車用充給電設備導入に係る補助件数	5	5	達成	
2022	電気自動車、プラグインハイブリッド自動車及び燃料電池自動車や電気自動車用充給電設備導入に係る補助件数	10	19	達成	
2023	電気自動車、プラグインハイブリッド自動車及び燃料電池自動車や電気自動車用充給電設備導入に係る補助件数	10	53	達成	
2024	電気自動車、プラグインハイブリッド自動車及び燃料電池自動車や電気自動車用充給電設備導入に係る補助件数	10	20	達成	
2025	電気自動車、プラグインハイブリッド自動車及び燃料電池自動車や電気自動車用充給電設備導入に係る補助件数	10			補助金制度を統一したこと から№48に統合
2021年度 進捗状況					
市HPや広報にて補助金制度の周知を行った結果、目標数値5件に対し実績は5件となった。2022年度は本制度の予算を増額したため、引き続き制度周知を行い、交付件数の拡大を目指す。					
2022年度 進捗状況					
目標数値10件に対し、実績は19件となった。社会情勢やニーズに併せて予算の増額を行い、市HP等による周知を行ったため、目標数値を上回ることができた。近年、電気自動車等の申請が増加傾向にあることから、2023年度は予算の更なる増額と制度周知を強化し、地球環境に優しいまちの実現に向けて取り組んでいく。					
2023年度 進捗状況					
目標数値10件に対し、実績は53件となった。2021年度・2022年度共に年度当初から相次いで補助金の申請があったため、7月中に申請額が予算額に達し、受付を終了した経緯を踏まえ、予算額を増額したことから補助件数も大幅な増となった。2024年度は更に予算額を増額していることから、制度周知を徹底し、地球温暖化対策の推進及び大気汚染の防止を図る。					
2024年度 進捗状況					
目標数値10件に対し、実績は20件となり目標を達成することができた。2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、2025年度から、既存の補助金制度を一本化し「戸田市ゼロカーボン推進補助金」とするため、№47のKPIを№48に加算したうえで、№48において進捗を管理する。					
2025年度 達成状況					

社会的責任の遂行

				推進主体(主管課)	推進主体
				環境課	市民、事業者
No.	施策名			基本方針	
48	環境配慮型システム設置の支援			(3)地球環境に優しいまちへ	
概要					第5次総振での 該当施策
地球温暖化対策として、省エネ・再生可能エネルギー機器等の環境配慮型システム設置に対し補助を実施します。					27
					達成予定年度
					2025
年度	目標となる指標	目標数値(KPI)	実績(結果)	評価	備考
2021	環境配慮型システムの導入に係る補助件数	140	108	未達成	
2022	環境配慮型システムの導入に係る補助件数	140	150	達成	
2023	環境配慮型システムの導入に係る補助件数	140	229	達成	
2024	環境配慮型システムの導入に係る補助件数	140	442	達成	
2025	環境配慮型システムの導入に係る「戸田市ゼロカーボン推進補助金」補助件数	140 150			補助金制度を統一したこと から№47のKPIを加算しま す。
2021年度 進捗状況					
市HPや広報にて補助金制度の周知を行った結果、目標数値140件に対し実績は108件となった。コロナ禍により本制度に対して十分な予算が確保できず、目標数値達成には至らなかったが、年度途中で申請額が予算額に達し、受付を終了したことから、制度周知等による一定の成果を挙げることができたといえる。2022年度は本制度の予算を増額したため、引き続き制度周知を行い、目標数値達成を目指す。					
2022年度 進捗状況					
2022年度は太陽光発電システムと蓄電池の同時設置による上乗せ補助を新規にスタートした結果、目標数値140件に対し実績が150件となり、目標を達成することができた(各システムの設置件数に同時設置件数を含んだ件数で算出)。2023年度は予算を増額し、宅配ボックス設置補助の新メニューや各システムの補助件数を拡大し実施する予定であることから、制度周知を一層強化し、地球環境に優しいまちの実現に向けて取り組んでいく。					
2023年度 進捗状況					
予算額を増額し、補助メニューを拡充したことで、件数は229件となり、目標を達成することができた。LED照明設備や宅配ボックス(集合住宅)への補助を通して、事業者に対する補助も充実したことから、より多角的な支援体制を構築できている。2024年度は、補助実績を基に補助メニューを見直すとともに、補助件数の増に対応すべく、予算額を増額していることから、制度の周知をより一層徹底していく。					
2024年度 進捗状況					
環境配慮型システム等設置費補助金の実績142件に、2024年度に新設した省エネ家電製品買換費補助金の実績300件が加わることで大幅に目標値を上回ることができた。2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、2025年度から、既存の補助金制度を一本化し「戸田市ゼロカーボン推進補助金」とするため、№47のKPIを№48に加算したうえで、№48において進捗を管理する。					
2025年度 達成状況					

経済戦略プラン施策に対する中小企業振興会議での意見まとめ

No.	施策名	意見内容
4	優良推奨品(戸田ブランド)創出と魅力アップ	●戸田市の製品のブランド化により、どの程度消費者にアピールできているか。 →パンフレットの作成やビジネス交流会での表彰等を通して、事業者および消費者の双方に対し、戸田ブランドの商品は戸田市の特産品、ブランド品であるということをPRしており、登録自体も増えている。 →戸田ブランドの商品がどのくらい売れたか等、数字を把握することは難しい。(どこまで踏み込んでいいのかという点から) →ビジネス交流会や会員交流会にて商品を提供したり、来賓の方々に対するお土産としてお渡ししたり、商品のPRになる場面はいくつかある。また、商工会で作成しているノートに戸田ブランドの商品を掲載しており、商工祭やイベントにて啓発品として配布をしているので、市民の方に商品を知ってもらうきっかけになっているのではないかと。 ●一度認定されたら永久に認定となるのか。 →5年ごとに更新を行っている。
6	ふるさと納税返礼品PR事業	●達成率が非常に良い。おそらく事業者が、自分の会社が一番効果があると感じているものなのでは。状況によって目標の設定を変えた方が良いのではないかと。 →行政側の課題として挙がっていたので、令和4年頃から力を入れている。制度自体も全国的に広まってきた。ただし、傾向が毎年度同じように推移するかは不明な部分があり、目標値についてはもう少し様子を見ていきたいと考えている。 ●自治体名で調べるといより、返礼品名で調べる人が多いので、「戸田市と言えば〇〇」というブランディングができないと寄附につながらないのではないかと。 →戸田市でしかできない体験型の返礼品を増やしていければと考えている。寄付金が高額になるような返礼品と、戸田市ならではの返礼品の両方を増やしていかなければいけないというのを課題として捉えている。 ●返礼品開発のための融資制度や、返礼品開発のためのコンサルの導入等、事業者だけでは難しい部分をセットで提供できるとよいのでは、KPIとして金額を設定したらどうか。 →効果検証の段階なので、今後検討していく。 ●事業者にとつての販路として考えたときの成果はどのようなイメージか。 →寄附額は年々増加しており、令和5年度は約6,000万円の寄附があった。返礼品については、寄附額の3割までの価格という制限があるため、6,000万円の3割にあたる約2,000万円程度は事業者に戻元されているのではないかと。 ●相談を受けることもあるので、販路としてこれからも紹介できればと思う。
7	ビジネス交流会開催事業	●周知はどのようにしているのか、YOURでの発信だけでなく、SNSでの発信等も検討したらよいのではないかと。 →ホームページと戸田市の広報でも周知は行っている。
11	起業サポート体制の充実	●相談件数というのはあくまでも第一段階のサポートを受けた件数でしかない。大事なのは、その次のステップの状況である。相談の結果、まだ起業を検討している段階。本業とは別で副業として事業を始める段階。直近で起業をする予定。といった第二段階、第三段階の状況を把握した方がよいのでは。 →フォローアップ調査の結果を基に、支援対象者の人数、その中で何人が創業したという結果は確認できている。
16	事業者向け公共施設貸し出しの促進	●取りやめでいいのでは？(過去にも、市の事業として行う必要はないのではという意見あり)
15	就職・就労支援の充実	●これらの支援を行って、どれくらい雇用につながっているのか →データがないので不明。 →開催した結果、何人就職できたのか、もしくは企業側はなぜ雇用に至らなかったのか、そういったところを確認できていないと、開催しただけでは意味がないのでは。そこが把握できた上で、補助金等が生まれてくるのではないかと。
20	事業者に対する多様な人材確保支援	
22	多様な働き手の雇用拡大に向けた事業者への働きかけの促進	
19	合同企業説明会(面接会)の開催	●参加企業数および参加者数はどのくらいか →データがないので不明。 →開催の回数より、参加企業数および参加者数が重要ではないかと。 - KPIは左記の2つにした方がよいのでは。 ●周知はどのようにしているのか →ハローワークや市の媒体を通して行っている。民間のマイナビ等を駆使した展開もしていければとは思っている。 →県内に大学も複数あるので、大学生向けにそういった媒体を使っていくのも良いのでは。
29	彩湖道満グリーンパークの活用と魅力拡大	●アンケート等を行い、どういう目的で、どこの地域から人が来ているのかを把握し、今後のマーケティングに活かしていくのはどうか。
31	サイクリング環境の充実	●レンタサイクルだけでなく、LUUP(電動バイク等)を取り入れたらどうか。
34	産業立地推進事業	●テレワークの普及等、働き方が変わってきているので、今後は縮小していくのでは。 →住環境と工業環境という相容れない部分に対し、補助金を出すことで、企業の誘致や地域のすみわけができればという狙いがある。既存産業の流出防止という部分も兼ねている。 →工業に限らず、企業の事務所が少ない。 →企業IP立地、マッチングサービスというものがあり、申請者と不動産会社をマッチングさせるというものはやっている。ただ、条件に合う物件がないという回答になってしまうことが多く、なかなかマッチングしないという状況になってしまっている。
47	低公害車導入の普及促進と環境整備	●SDGsという観点からも、電気自動車の普及促進は進めていくべきではないかと。KPIの値少なすぎる？ ●制度周知はどのようにしているのか、ディーラーでの周知等行っているのか。

戸田市企業経営状況 調査報告書

（令和 6 年度実施）

目次

目次	P 1
調査概要	P 2 ~ P 5
調査結果ー基本情報ー	P 6 ~ P 3 5

調查概要

調査内容

以下の内容にて調査を実施

調査内容	
目的	市内企業が抱える経営課題（人材確保、定着、働き方改革、生産性向上）の把握 →企業が求める支援体制の構築 →市内企業の発展、活性化
期間	令和7年3月10日 ～ 令和7年3月30日
対象	市内に本社もしくは事業所を構える企業1,623社
手法	・webアンケート ・調査票（紙アンケート）
回答数	計 301社
回答内訳	・webアンケート 293社 ・調査票（紙アンケート）8社

調査項目

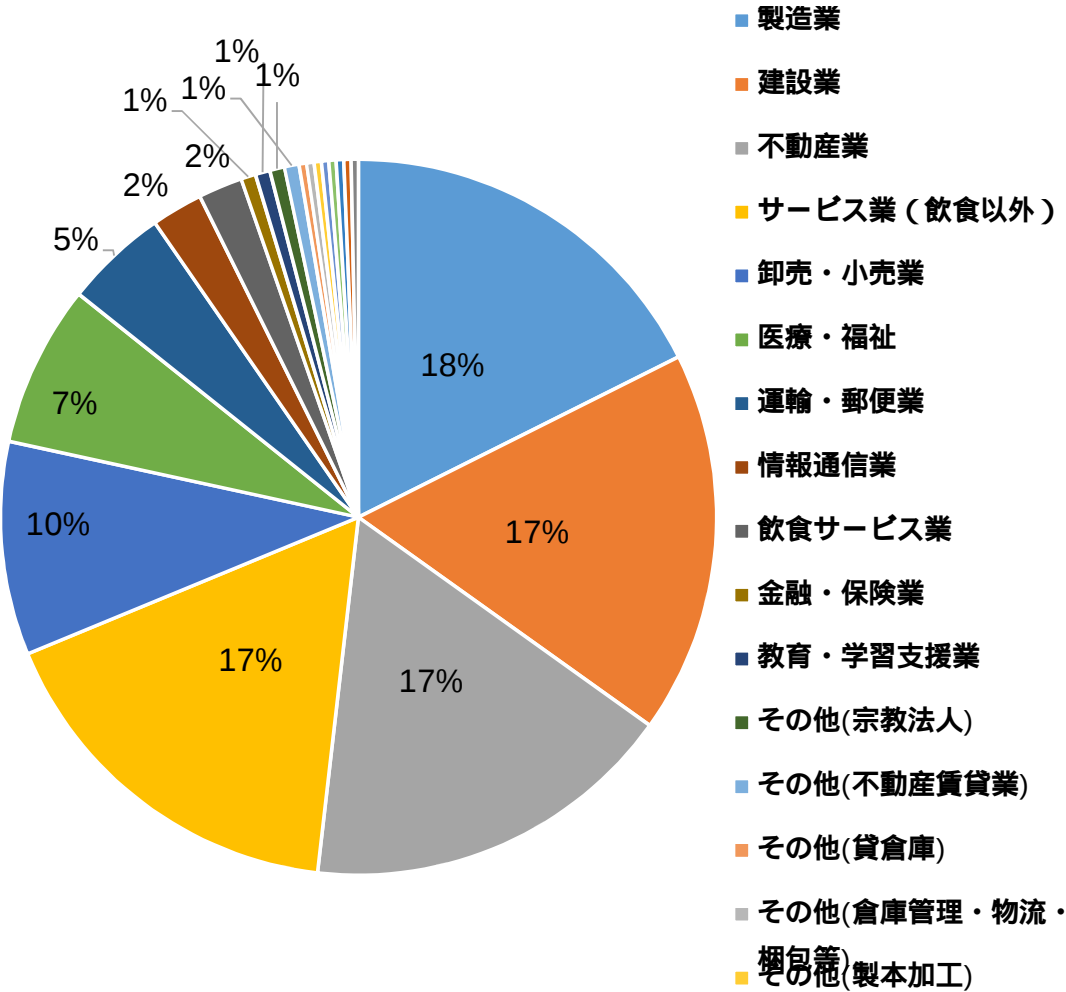
以下の内容にて調査を実施

調査項目		
基本情報	・創業年数はどれくらいか ・従業員規模はどれくらいか ・直近5年間の売上の推移はどうか 等	計 9問
1.経営・事業進捗状況	・原材料・仕入価格高騰による事業活動への影響について ・技術や商品開発にあたり、戸田市に期待する施策はあるか ・現状の経営課題は何か 等	計10問
2.デジタル化の状況	・デジタル化に取り組むにあたっての課題について ・デジタル化を進める上で、戸田市に期待する施策はあるか	計 3問
3.人材確保・育成の状況	・人材育成・能力開発に向けた取り組み状況について ・人材確保・育成における課題について ・人材確保・育成にあたり、戸田市に期待する支援策はあるか 等	計 8問
4.事業承継の状況	・事業承継を進めるにあたっての課題について ・事業承継を検討するにあたり、有効と追われる公的支援策はあるか	計 6問
5.多様な働き方と社会貢献に関する取組	・社員が柔軟に働ける制度として導入しているものはあるか ・SDGsに取り組むにあたっての課題はあるか ・充実してほしいと思う戸田市の支援策について 等	計 8問
6.公的支援策の利用状況	・充実してほしいと思う戸田市の支援策について ・戸田市の産業振興に関する意見 等	計 4問

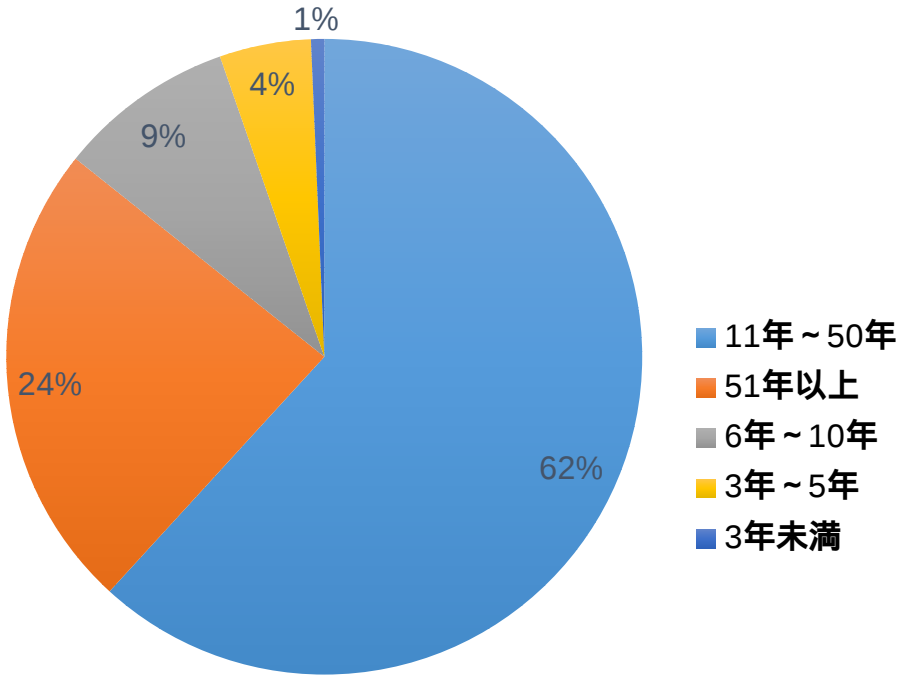
調査結果—基本情報—

基本情報

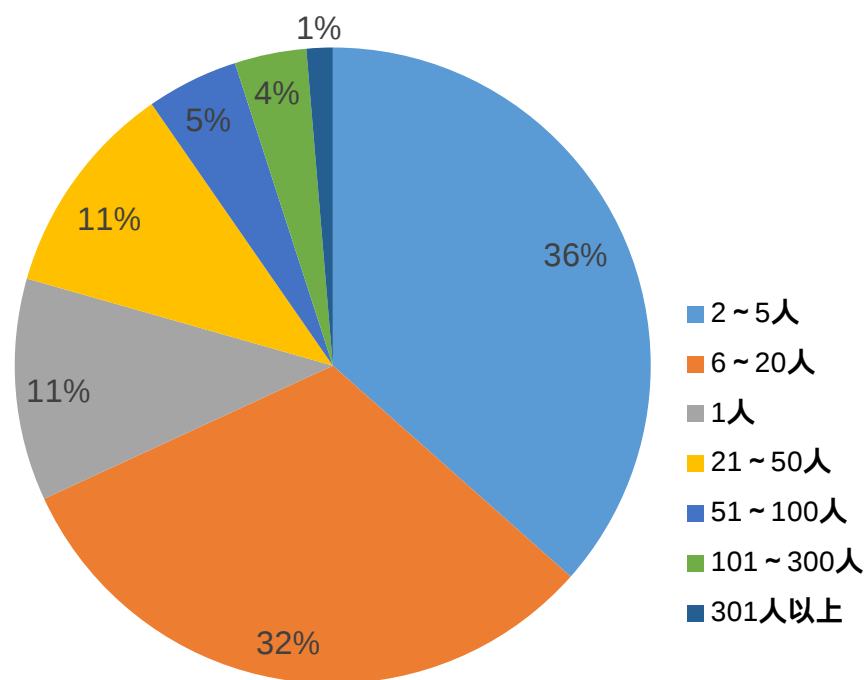
Q1. 貴社の業種をお答えください。



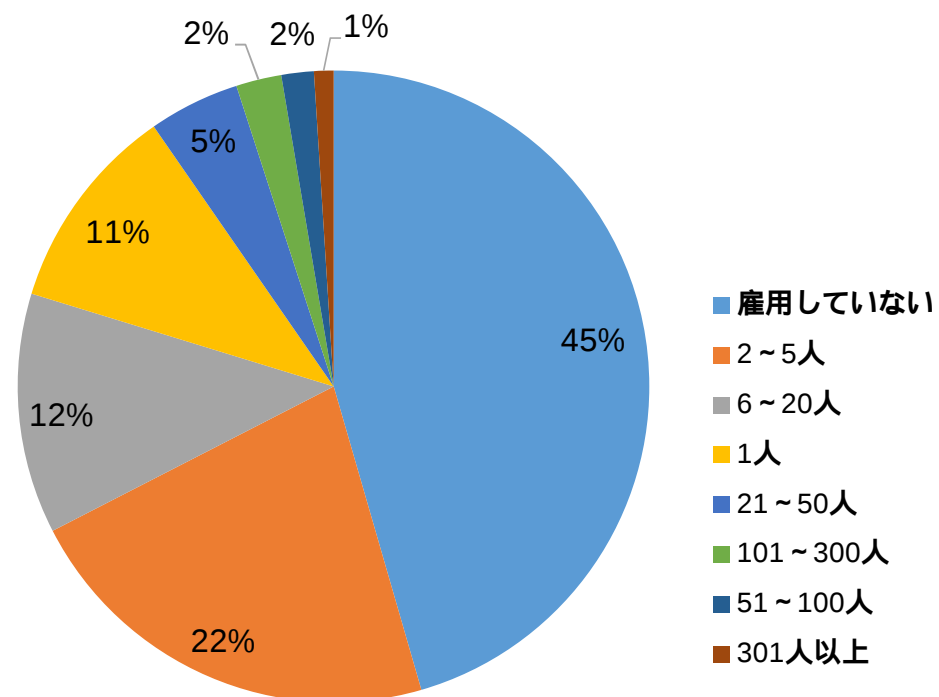
Q2. 貴社の創業年数をお答えください。



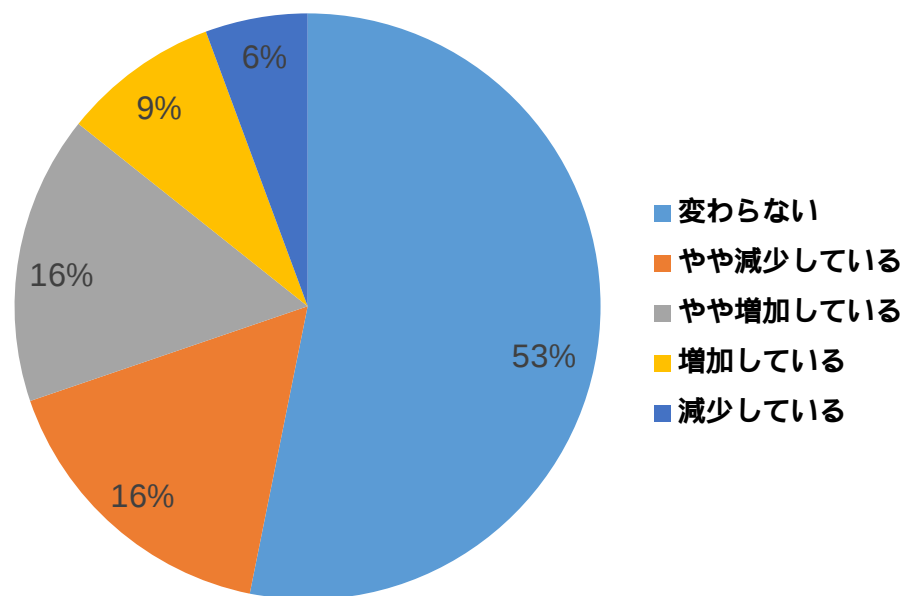
Q3. 貴社の従業員（正規雇用、役員を含む）の人数をお答えください。



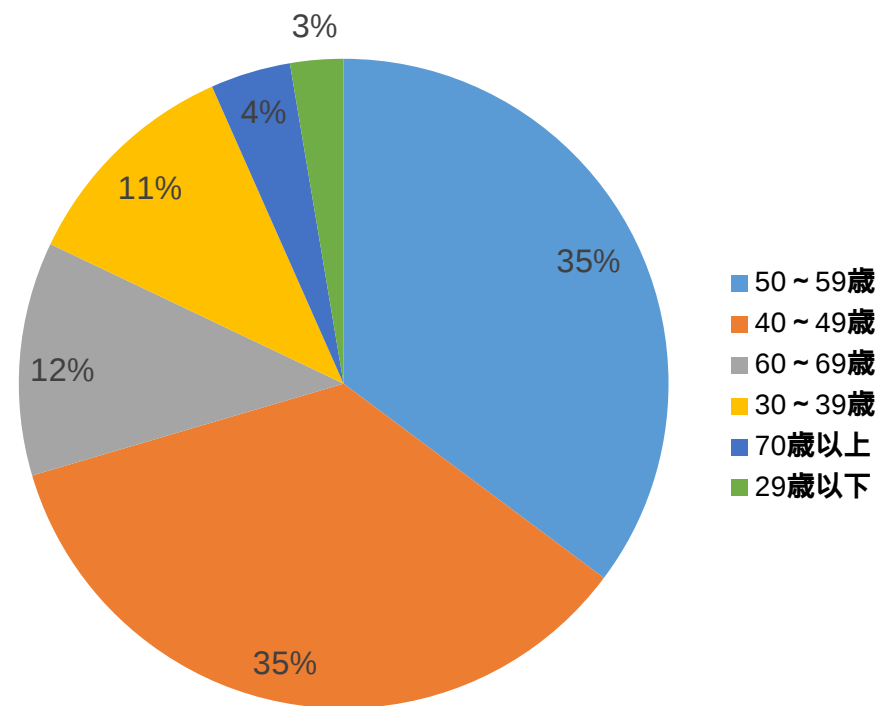
Q4. 貴社の従業員（非正規雇用）の人数をお答えください。



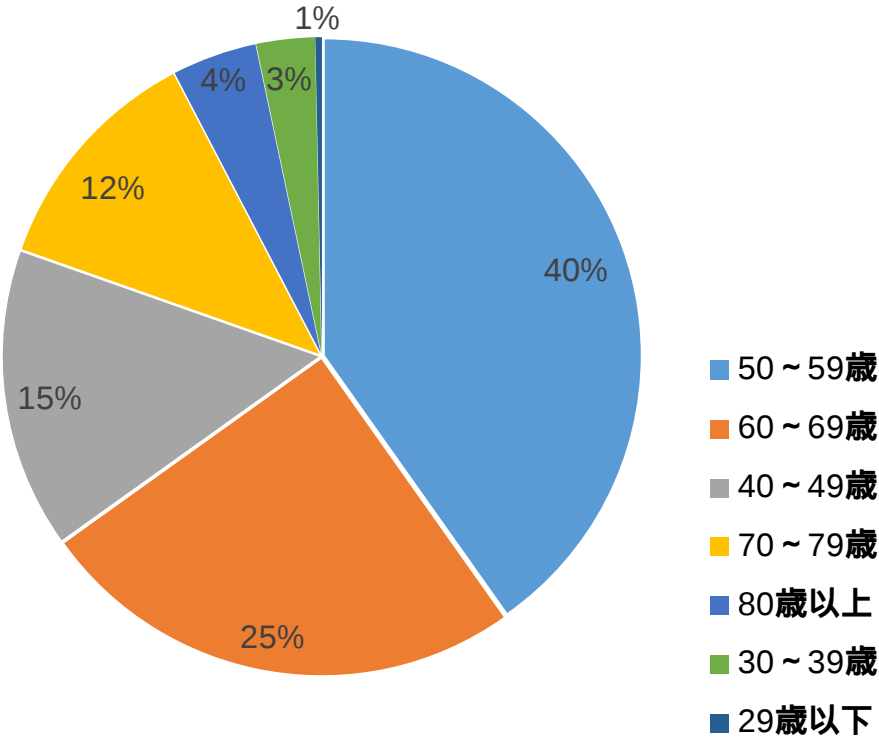
Q5. 貴社の直近5年間の従業員数の推移についてお答えください。



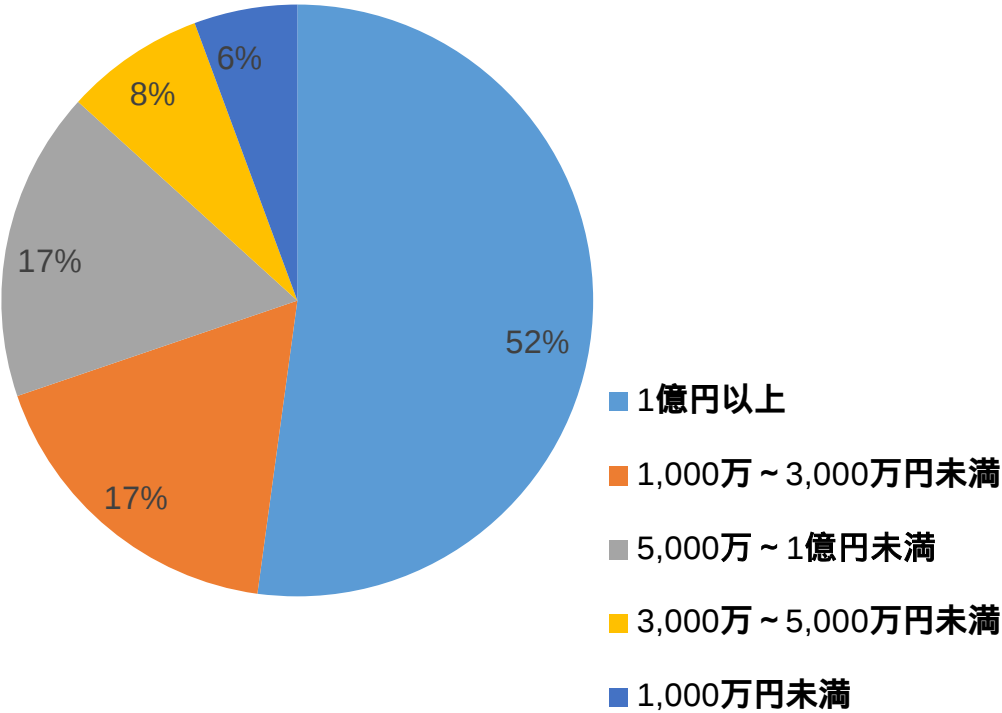
Q6. 貴社の従業員の平均年齢をお答えください。



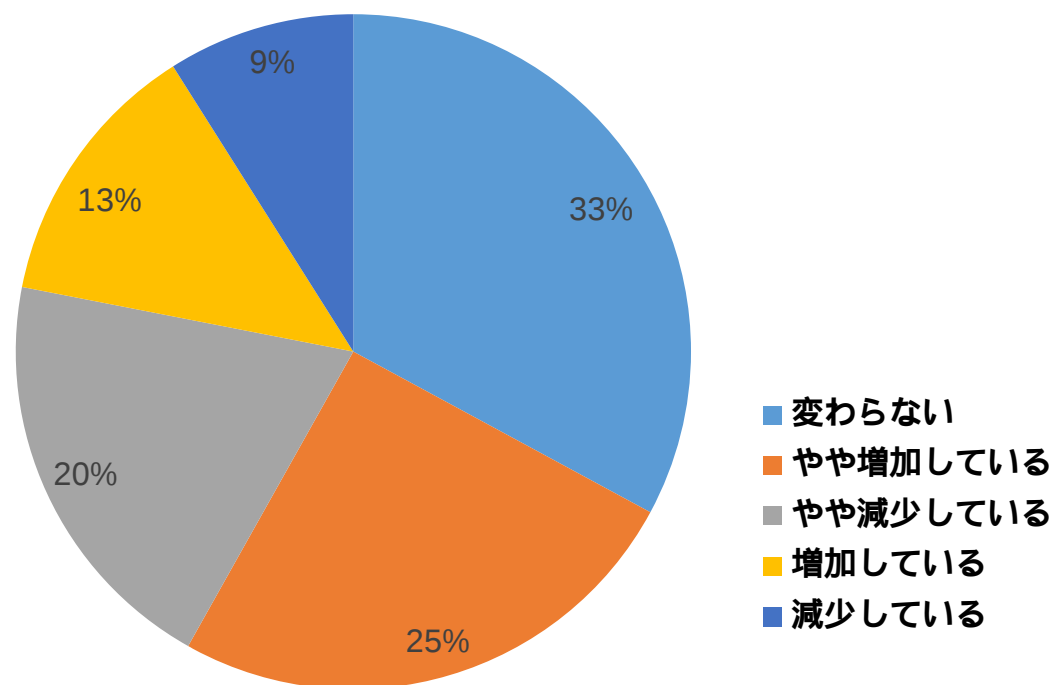
Q7. 貴社の代表者の年齢をお答えください。



Q8. 貴社の直近 1 年間の売上規模をお答えください。

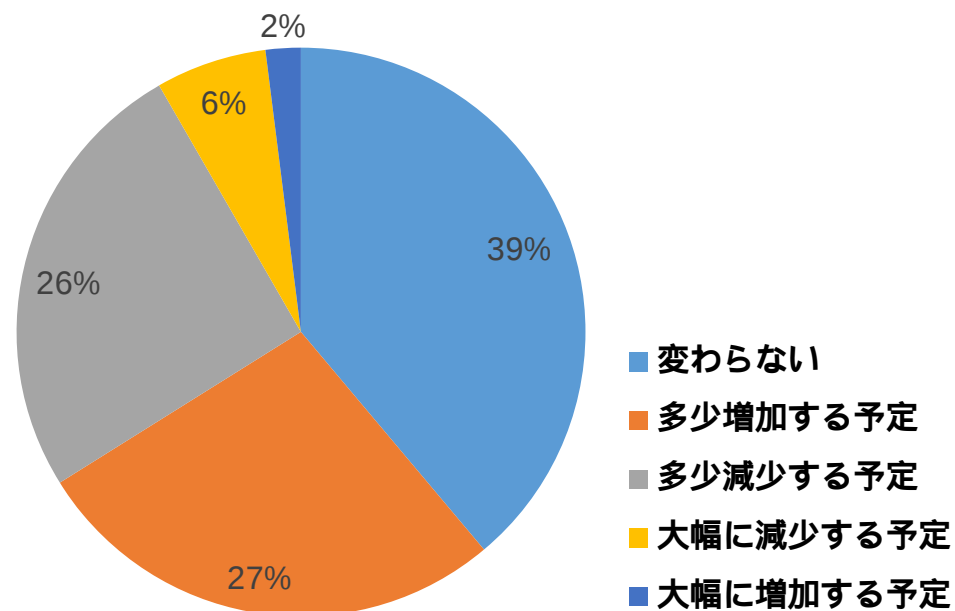


Q9. 貴社の直近5年間の売上の推移についてお答えください。

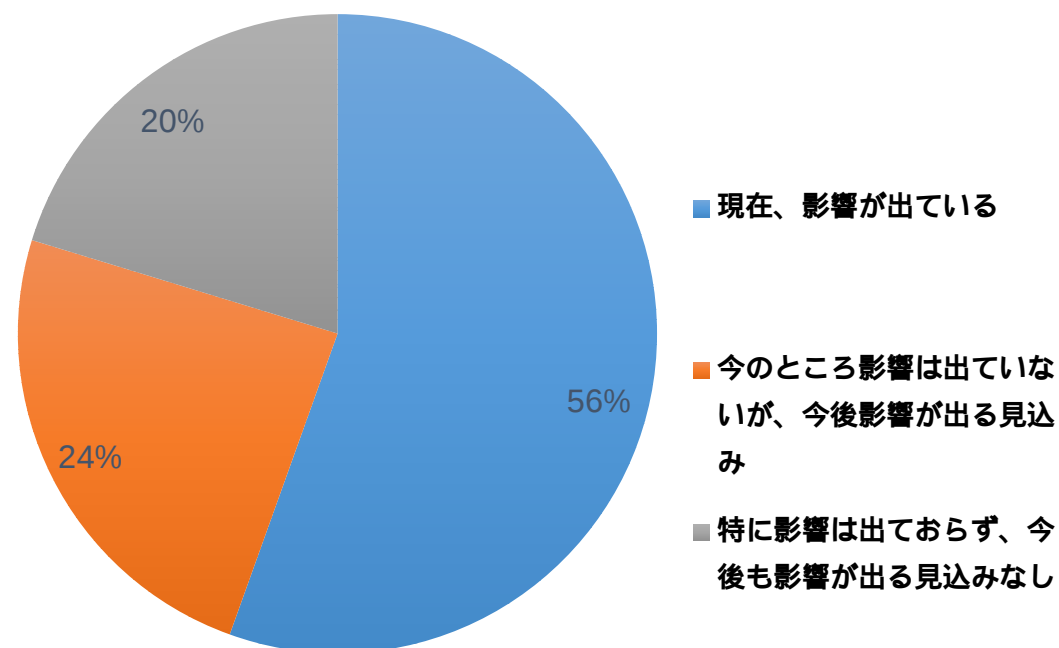


1.経営・事業進捗情報

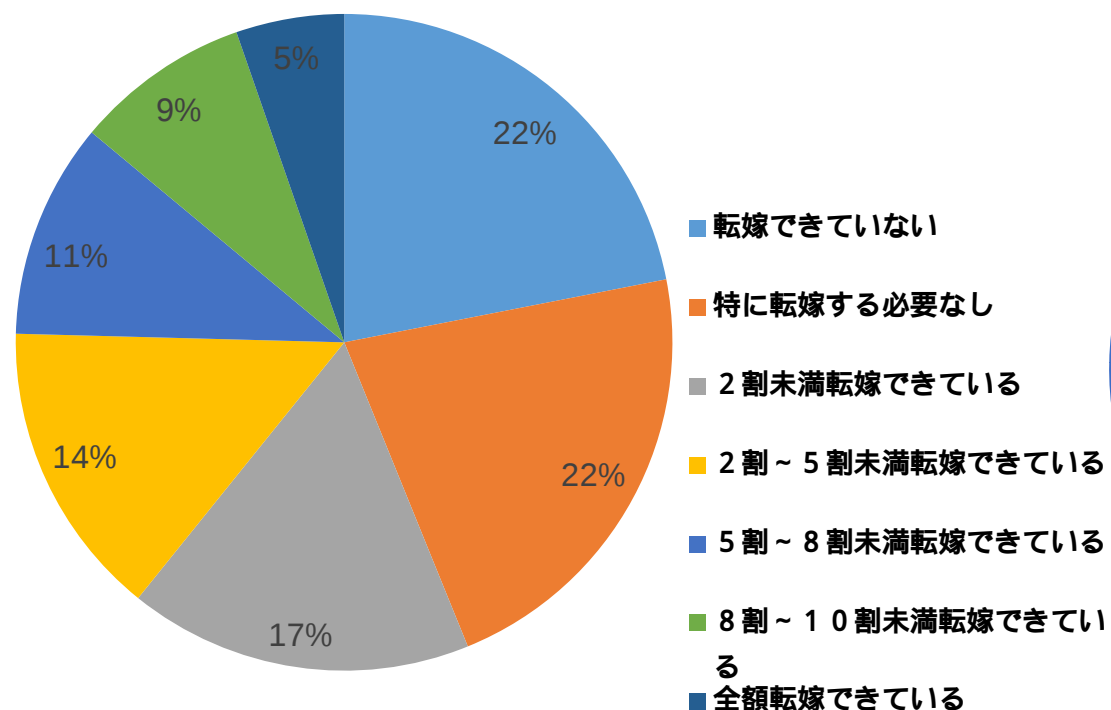
Q10. 貴社の売上高、受注高に関する今後の見通しについて、該当するものをお答えください。



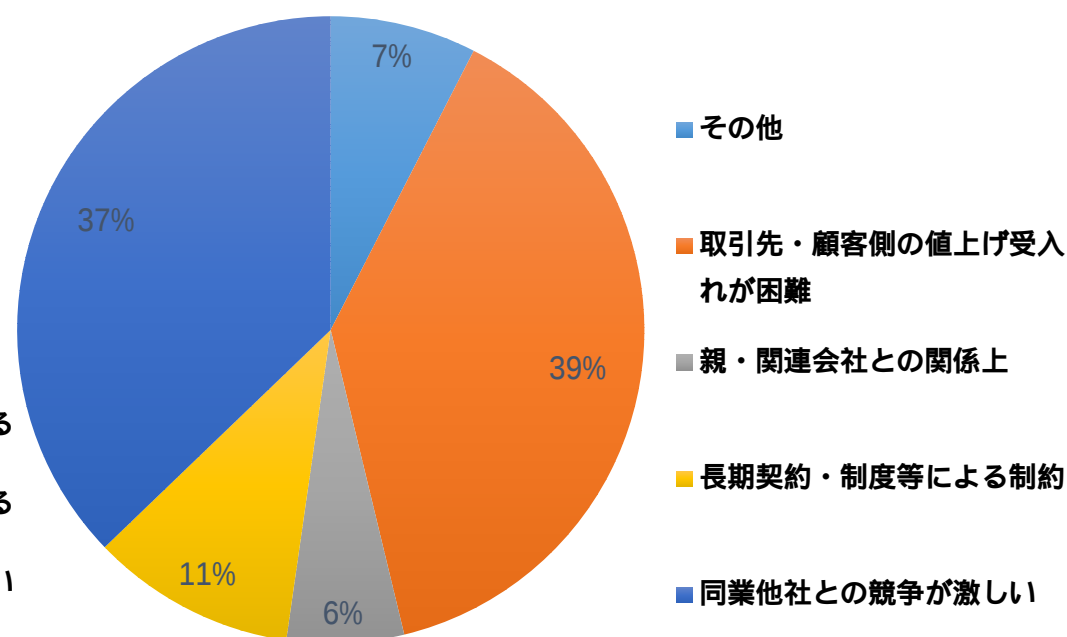
Q11. 原材料・仕入価格高騰による事業活動への影響について該当するものをお答えください。



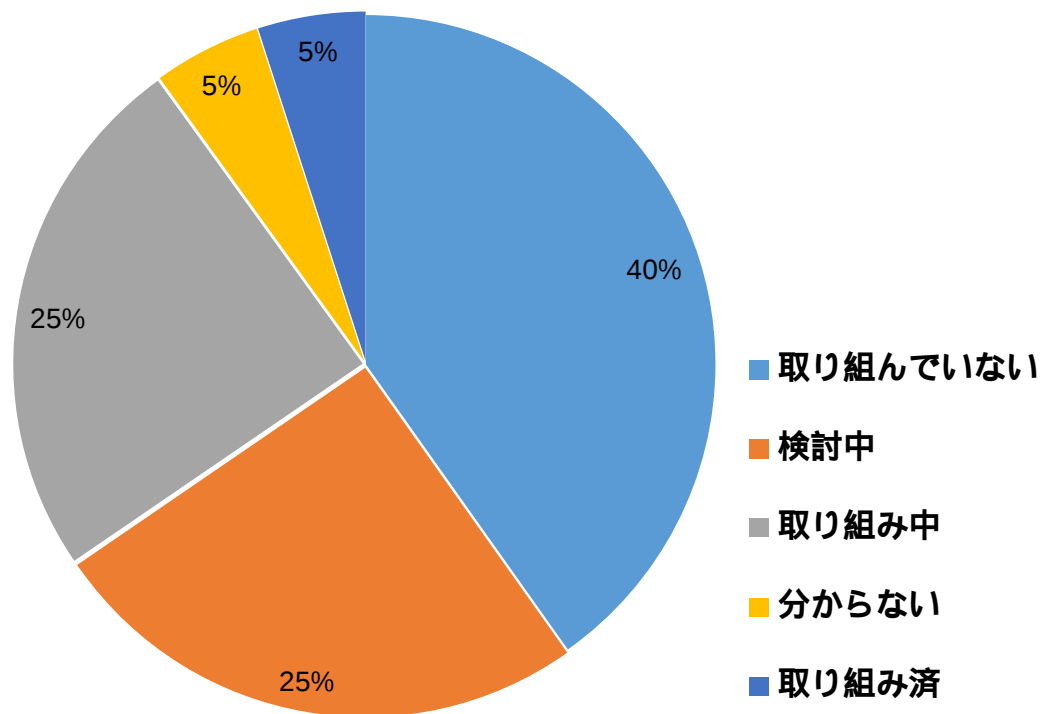
Q12. 原材料・仕入価格高騰に対する価格転嫁の状況について、該当するものをお答えください。



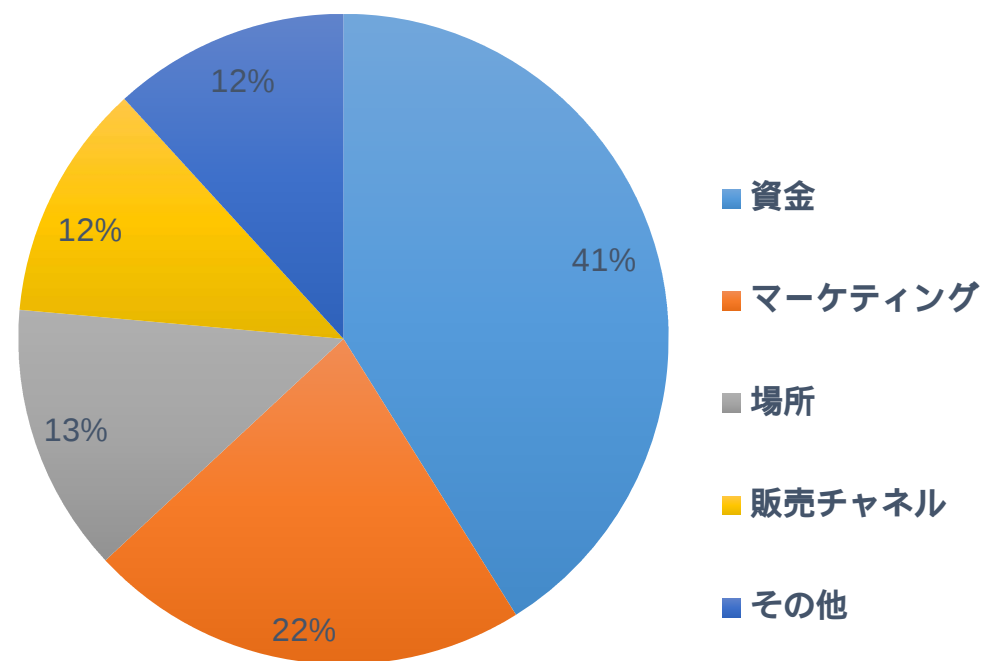
Q13. [Q12で「転嫁できない」と回答した方のみ回答] 価格転嫁ができない理由について、該当するものをお答えください。（複数回答）



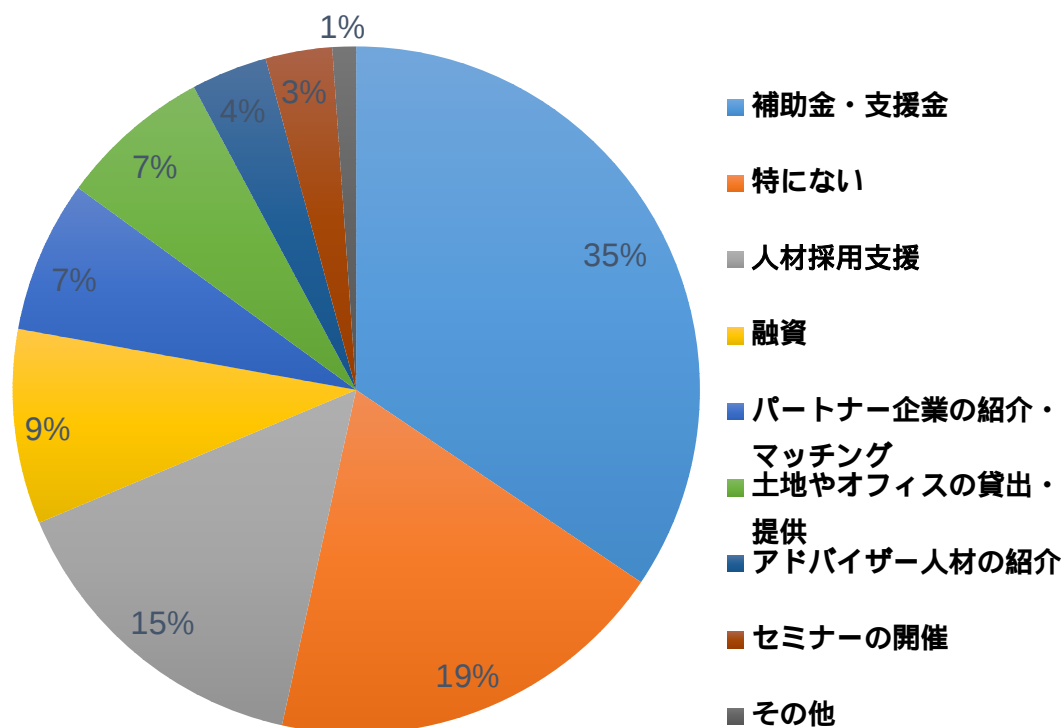
Q14. 貴社の新製品や新技術・サービス等の開発への取組状況について、該当するものをお答えください。（単一回答）



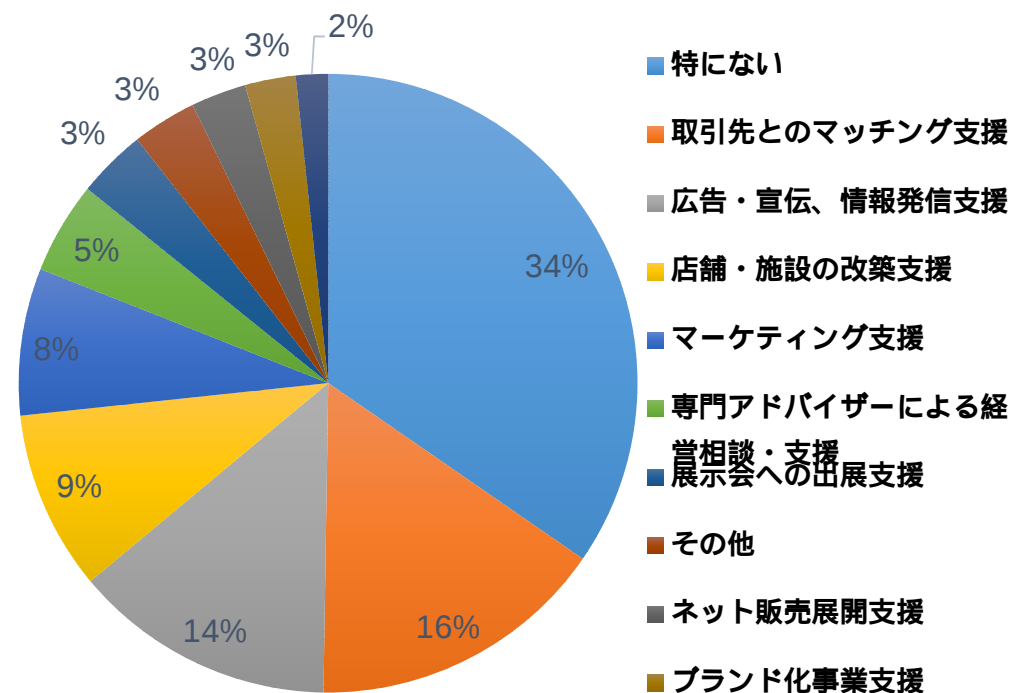
Q15. 貴社が新製品や新技術・サービス等の開発に取り組む際の問題点について、お答えください。（複数回答）



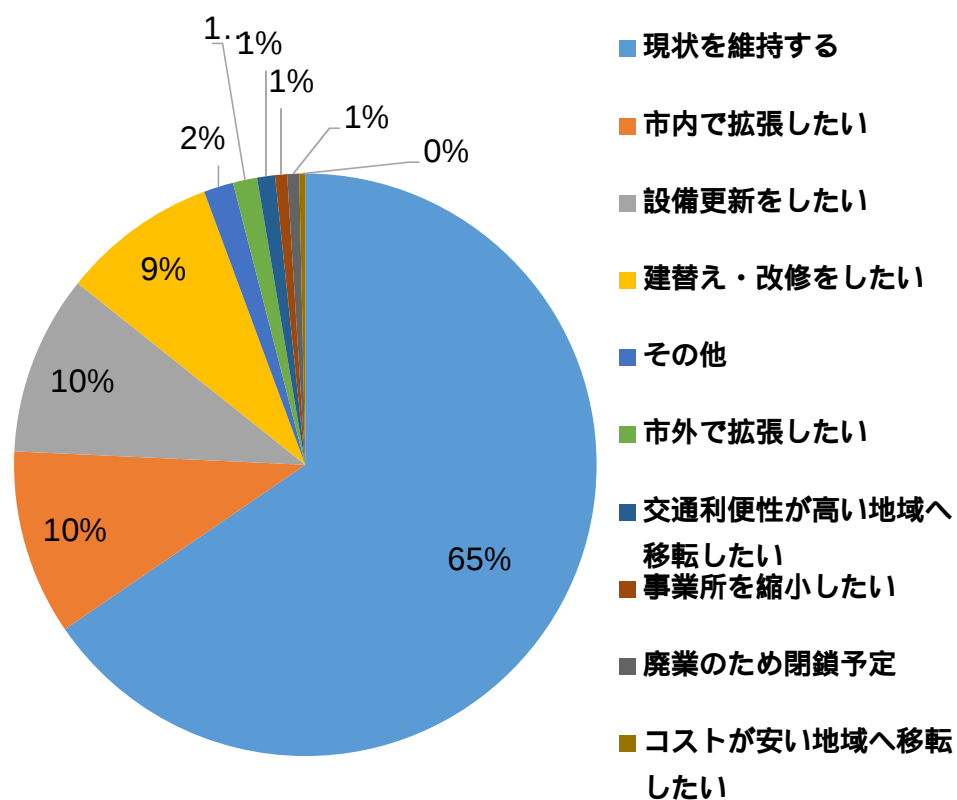
Q16. 貴社の新製品や新技術・サービス等の開発にあたり、戸田市に期待する支援策があればお答えください。（複数回答）



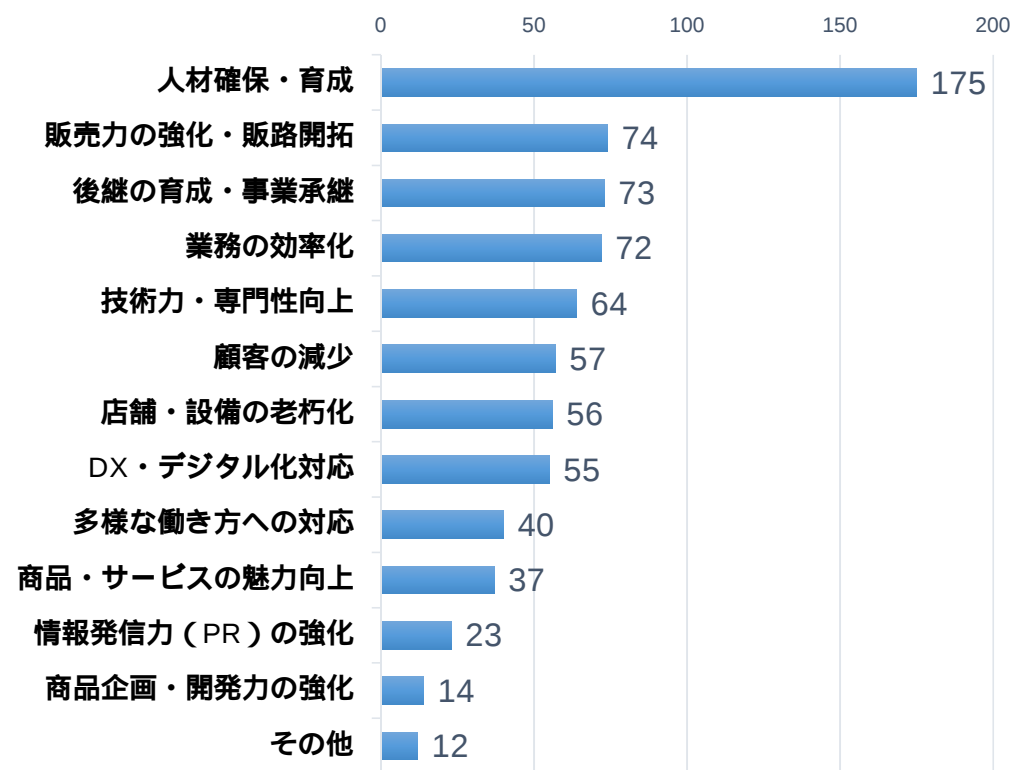
Q17. 今後、販売・販路を拡大する上で、戸田市に期待する支援策があればお答えください。（複数回答）



Q18.貴社の事業所等の立地や設備投資の当面の方向性について、該当するものをお答えください。（単一回答）

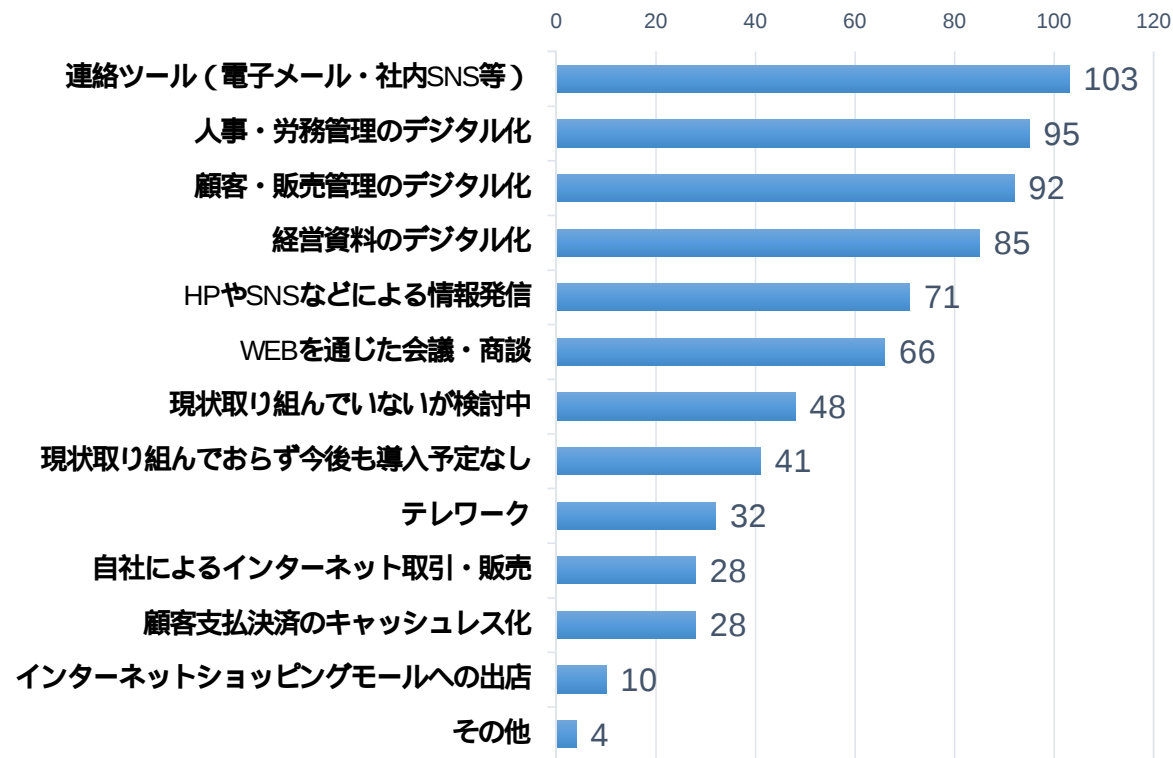


Q19.貴社の現状の経営課題について、該当するものをお答えください。（複数回答）

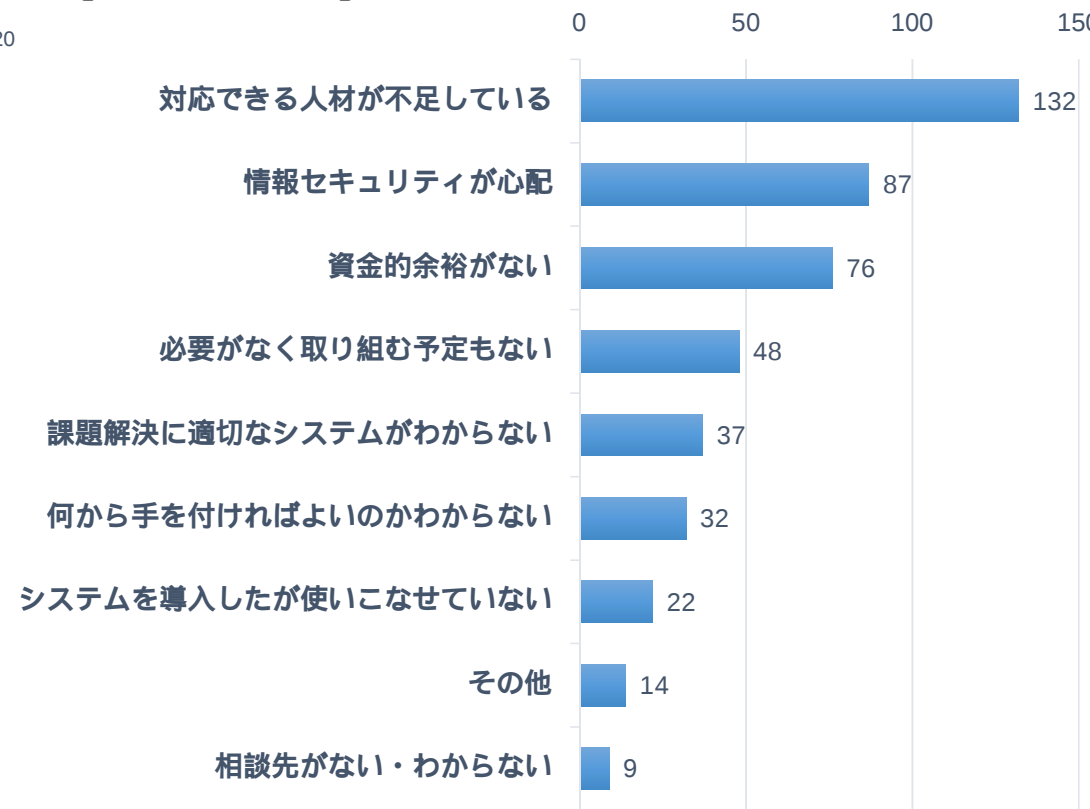


2. デジタル化の状況

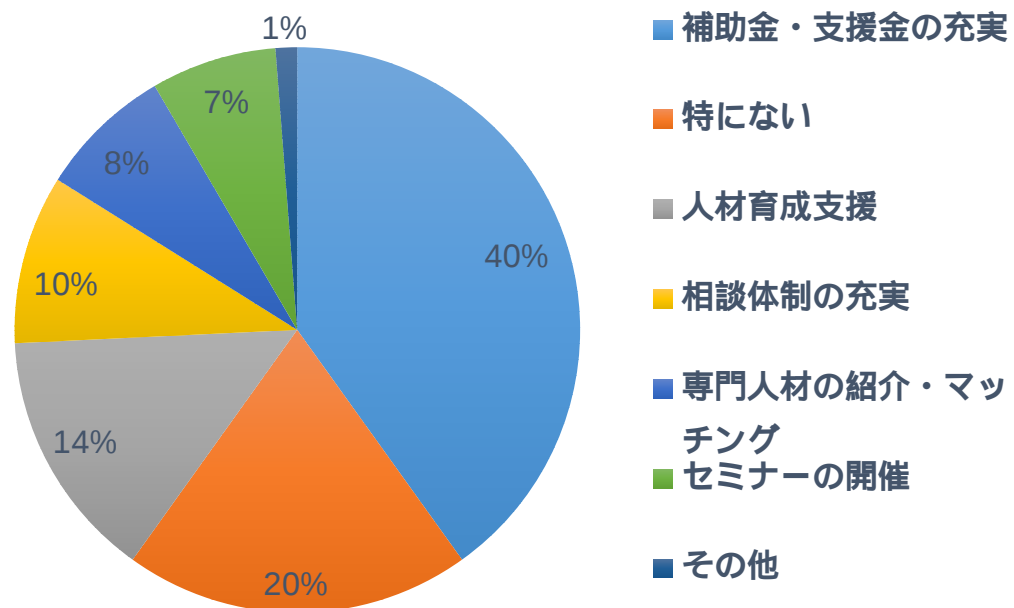
Q20. 貴社のデジタル化への取組状況について、該当するものをお答えください。（複数回答）



Q21. デジタル化に取り組むにあたっての課題について、該当するものをお答えください。（複数回答）

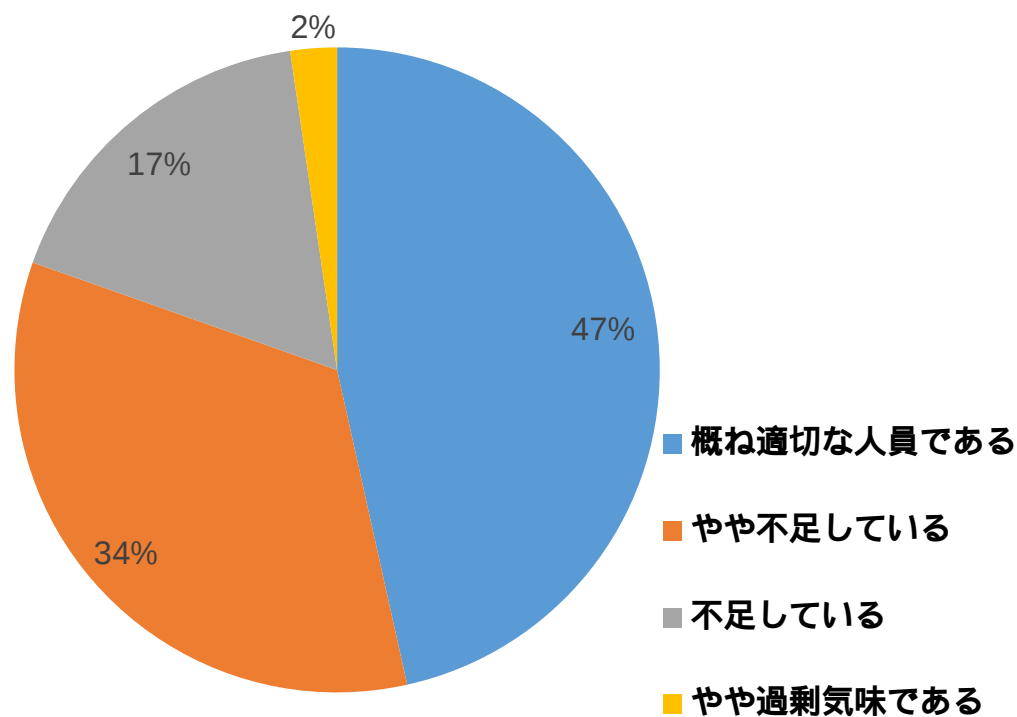


Q22. 今後、デジタル化を進める上で、戸田市に期待する支援策があればお答えください。（複数回答）

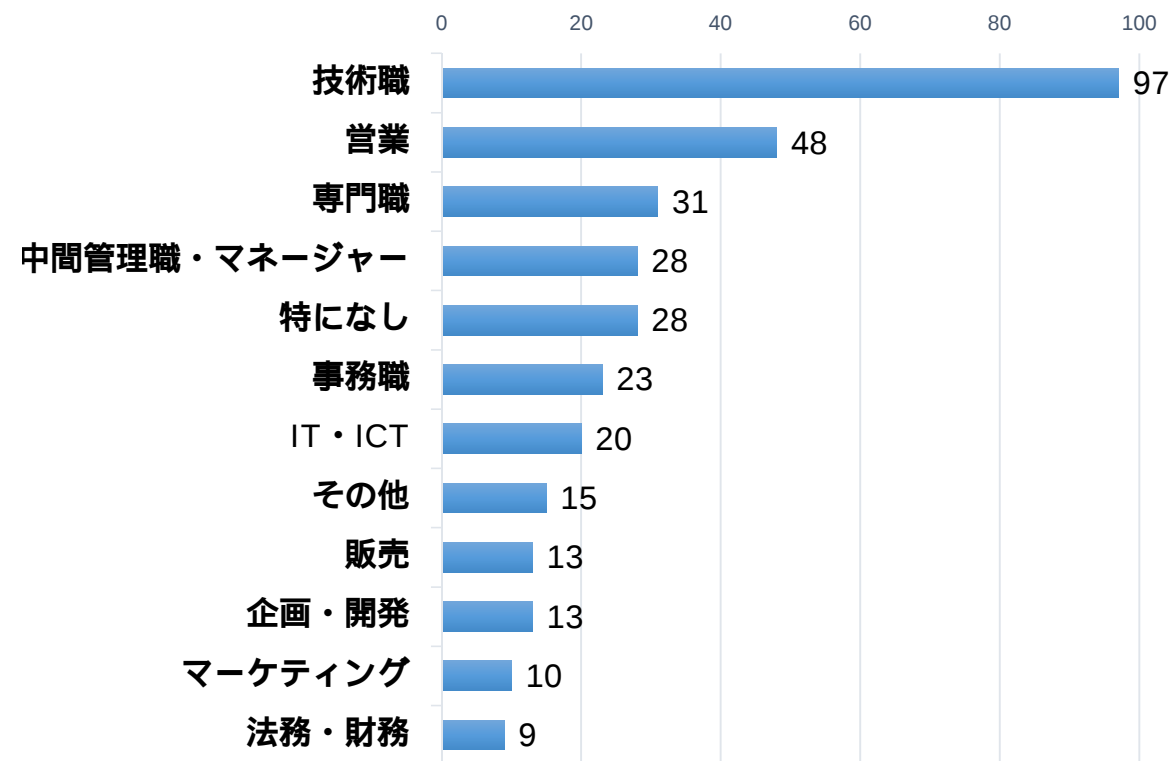


3.人材確保・育成の状況

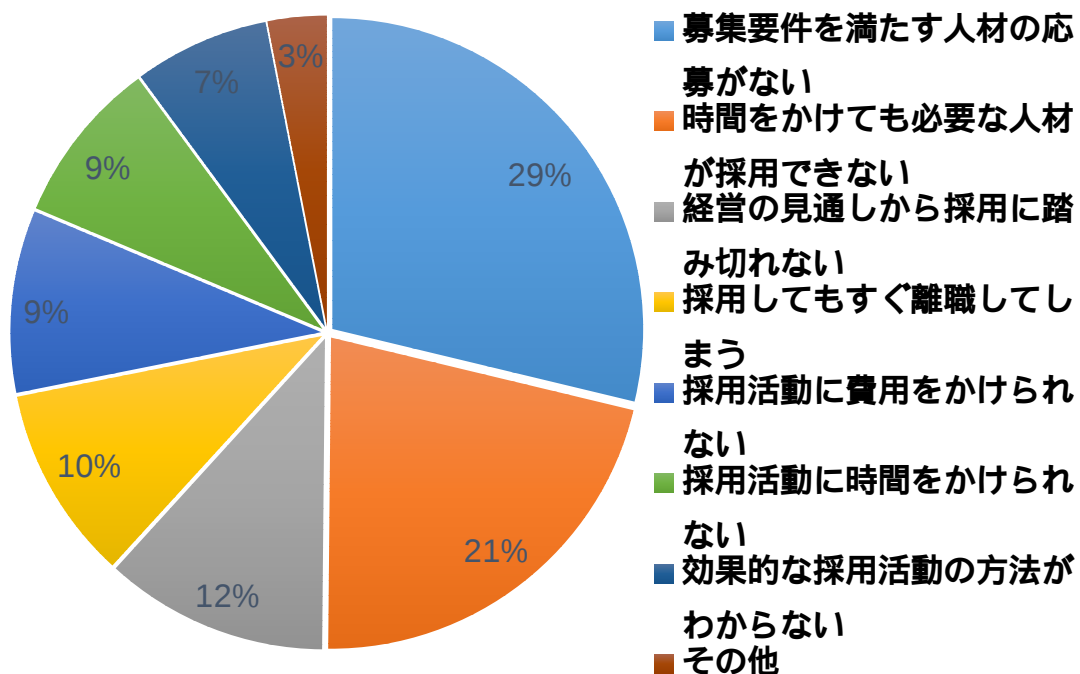
Q23. 貴社の人員状況について、該当するものをお答えください。（単一回答）



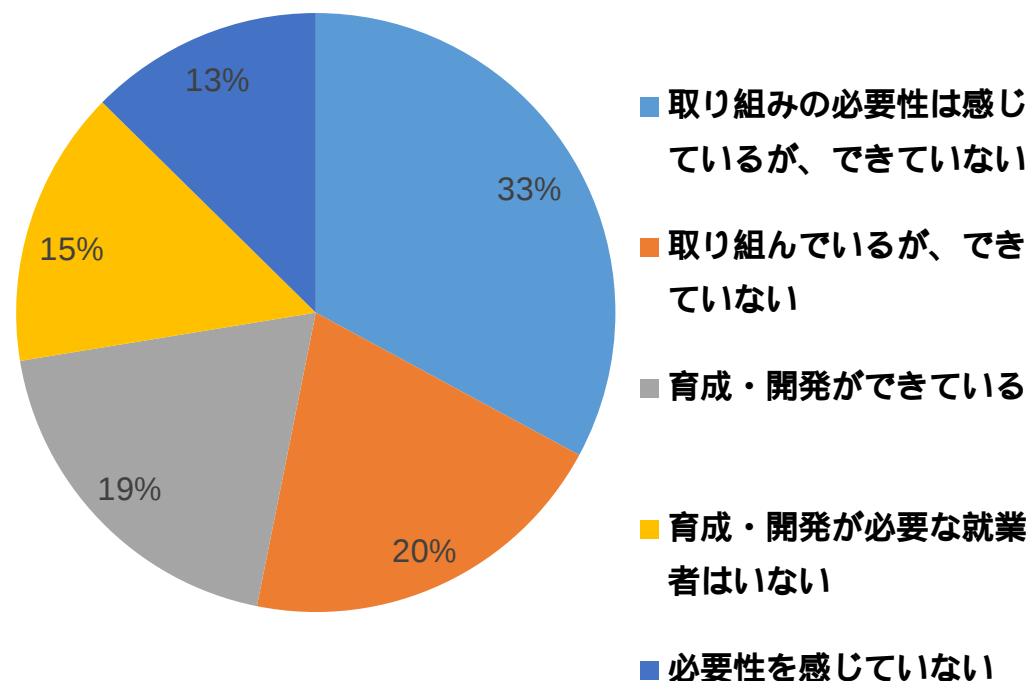
Q24. [Q23で「やや不足している」「不足している」と回答した方のみ] 不足している職種について、該当するものをお答えください。（複数回答）



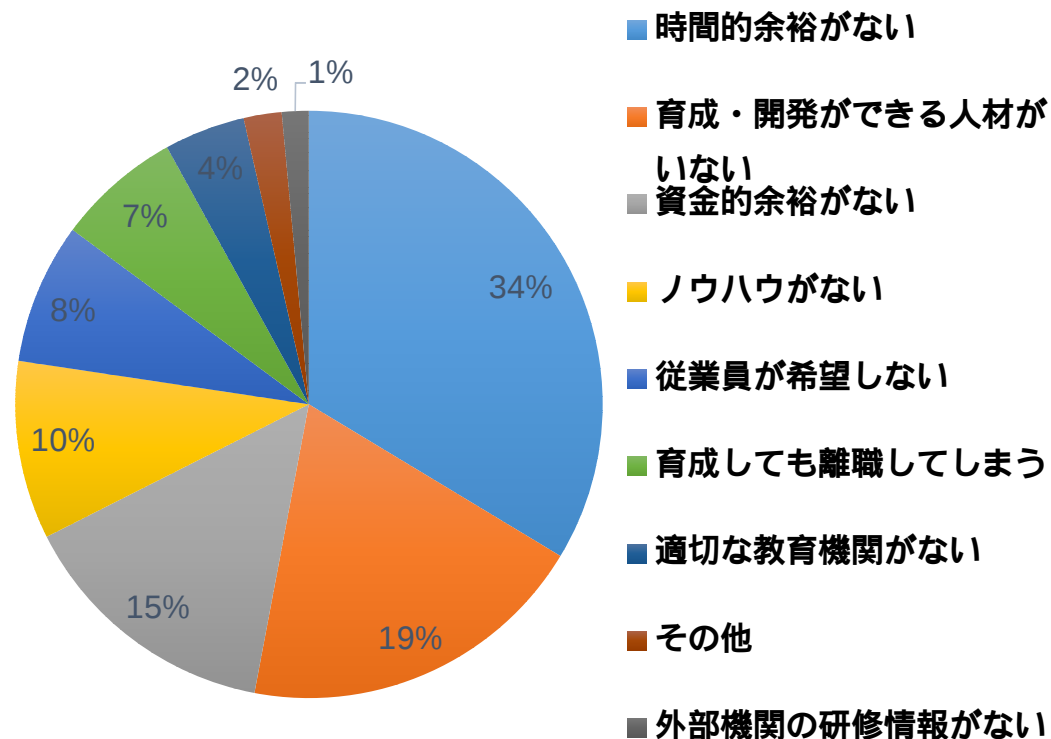
Q25. [Q23で「やや不足している」「不足している」と回答した方のみ] 人材確保ができていない理由について、該当するものをお答えください。
(複数回答)



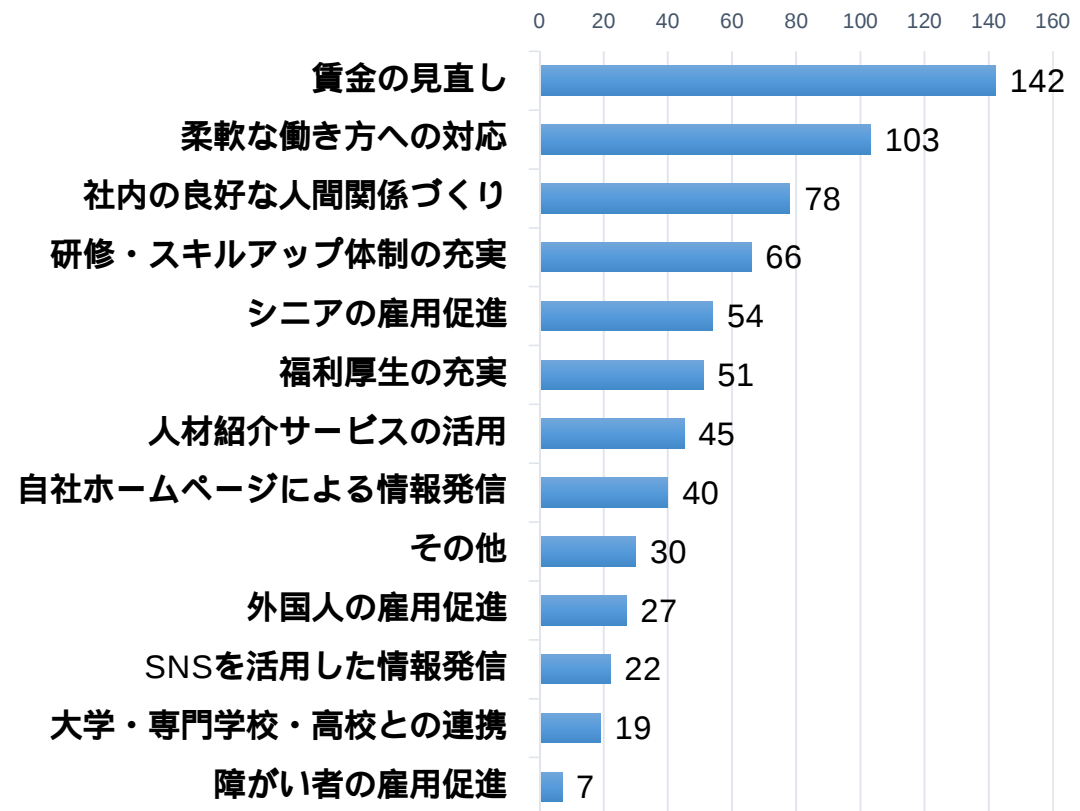
Q26. 貴社従業員の人材育成・能力開発に向けた取り組み状況について、該当するものをお答えください。(単一回答)



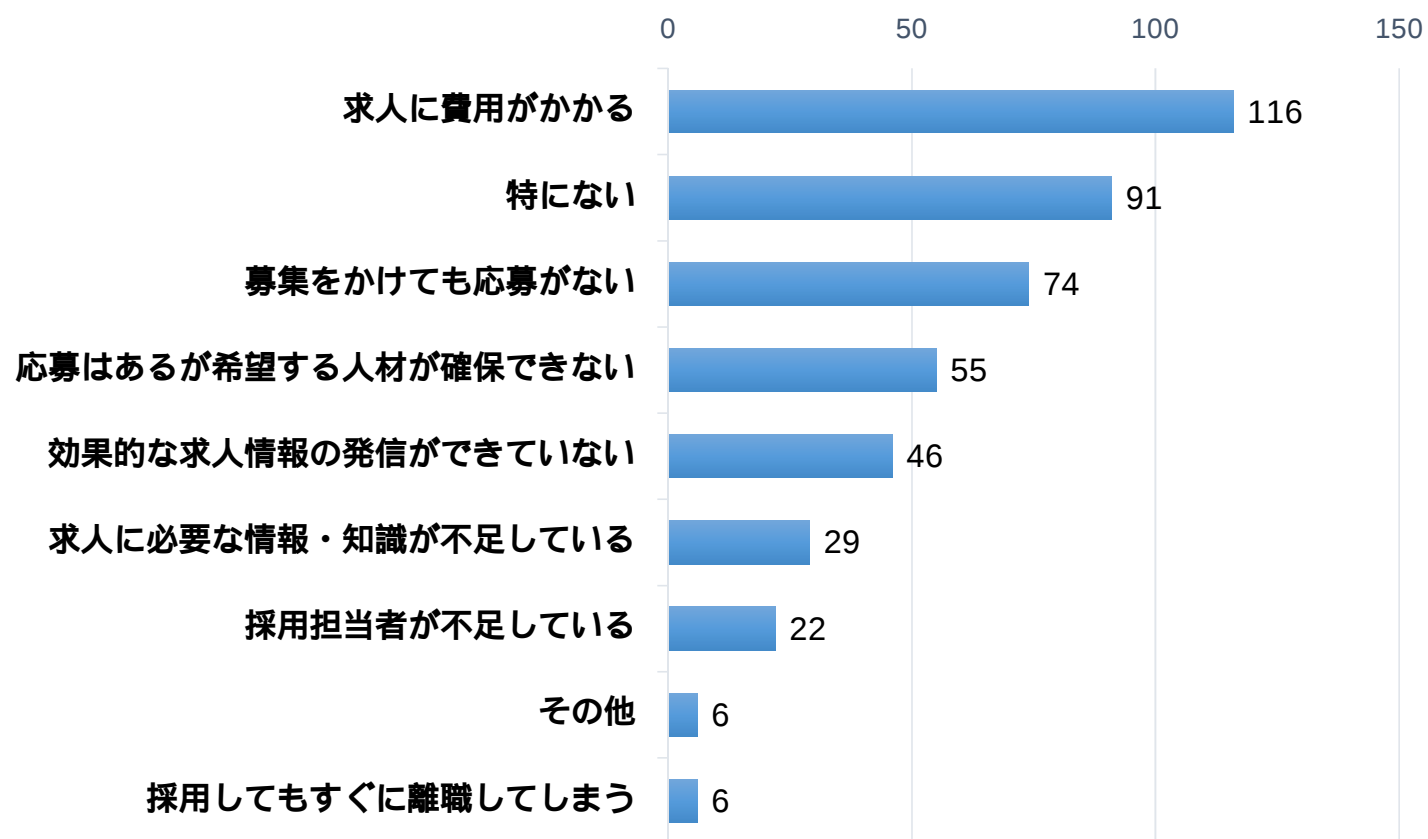
Q27.[Q26で「取り組んでいるが、できていない」「取り組みの必要性は感じているが、できていない」と回答した方のみ]人材育成・能力開発ができていない理由について、該当するものをお答えください。（複数回答）



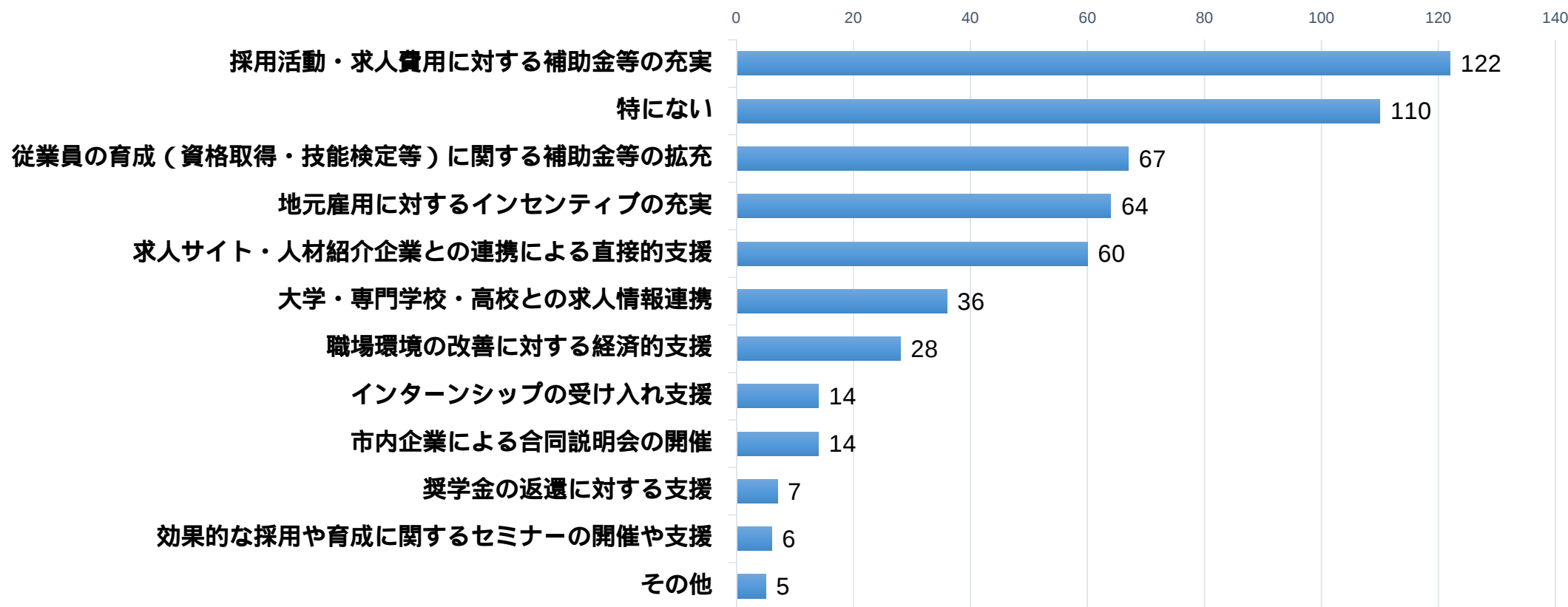
Q28.貴社が人材確保に向けて取り組んでいることについて、該当するものをお答えください。（複数回答）



Q29.人材確保・育成における課題について、該当するものをお答えください。（複数回答）

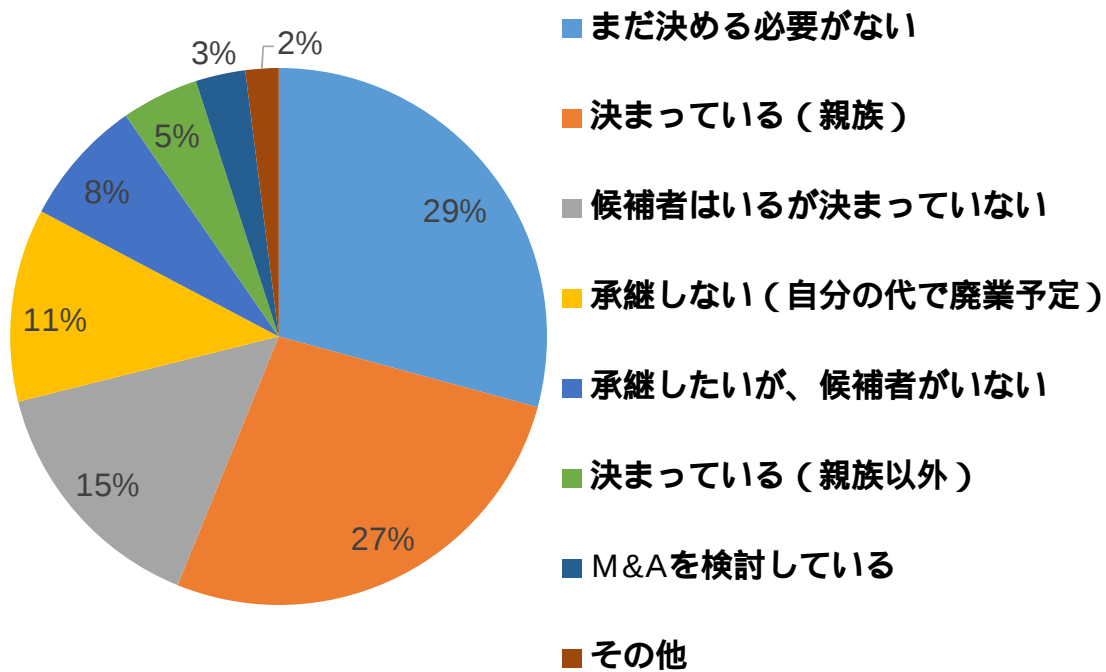


Q30.人材確保・育成にあたり、戸田市に期待する支援策があればお答えください。（複数回答）

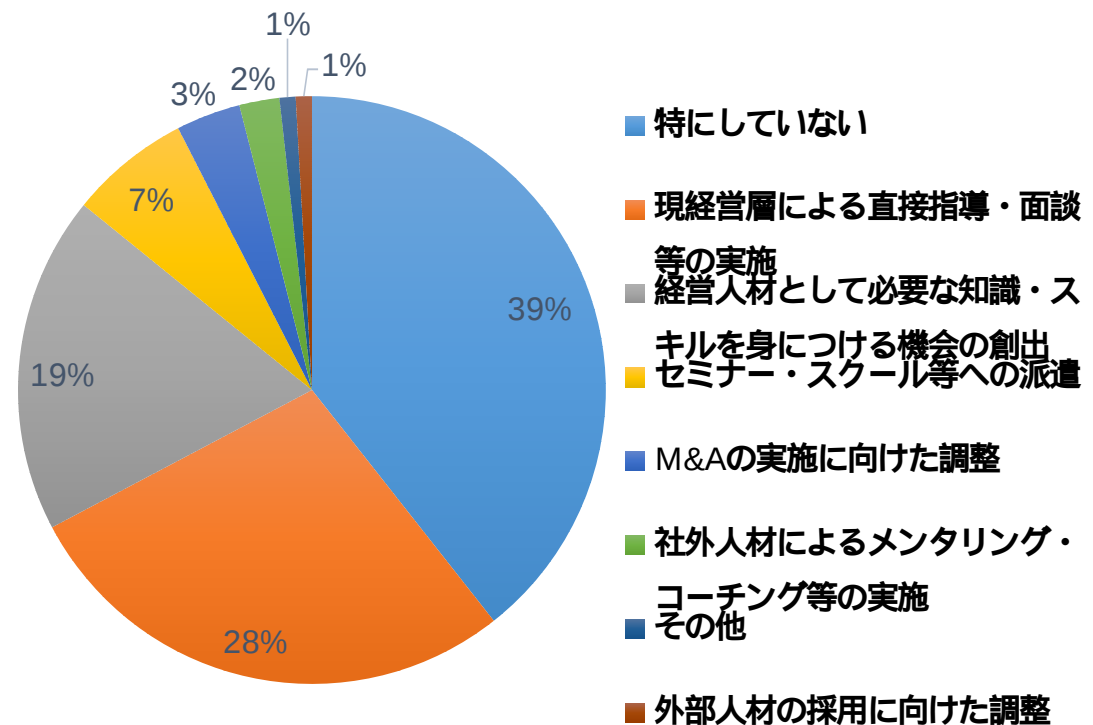


4.事業承継の状況

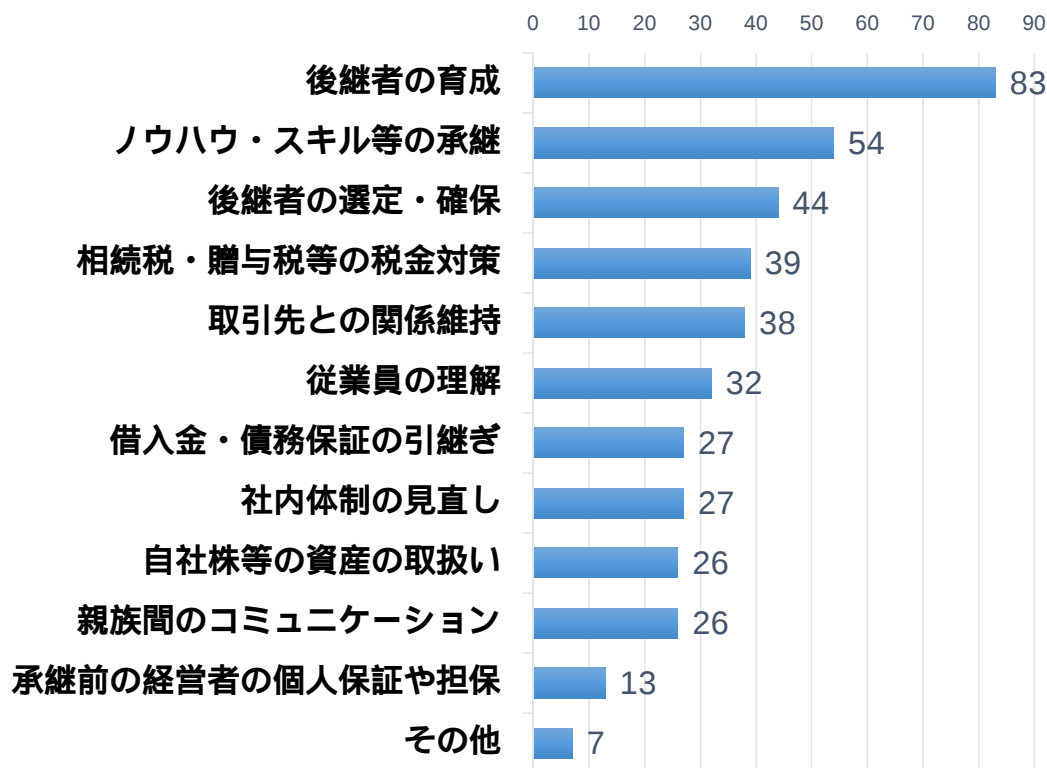
Q31. 貴社の事業承継の予定について、該当するものをお答えください。（単一回答）



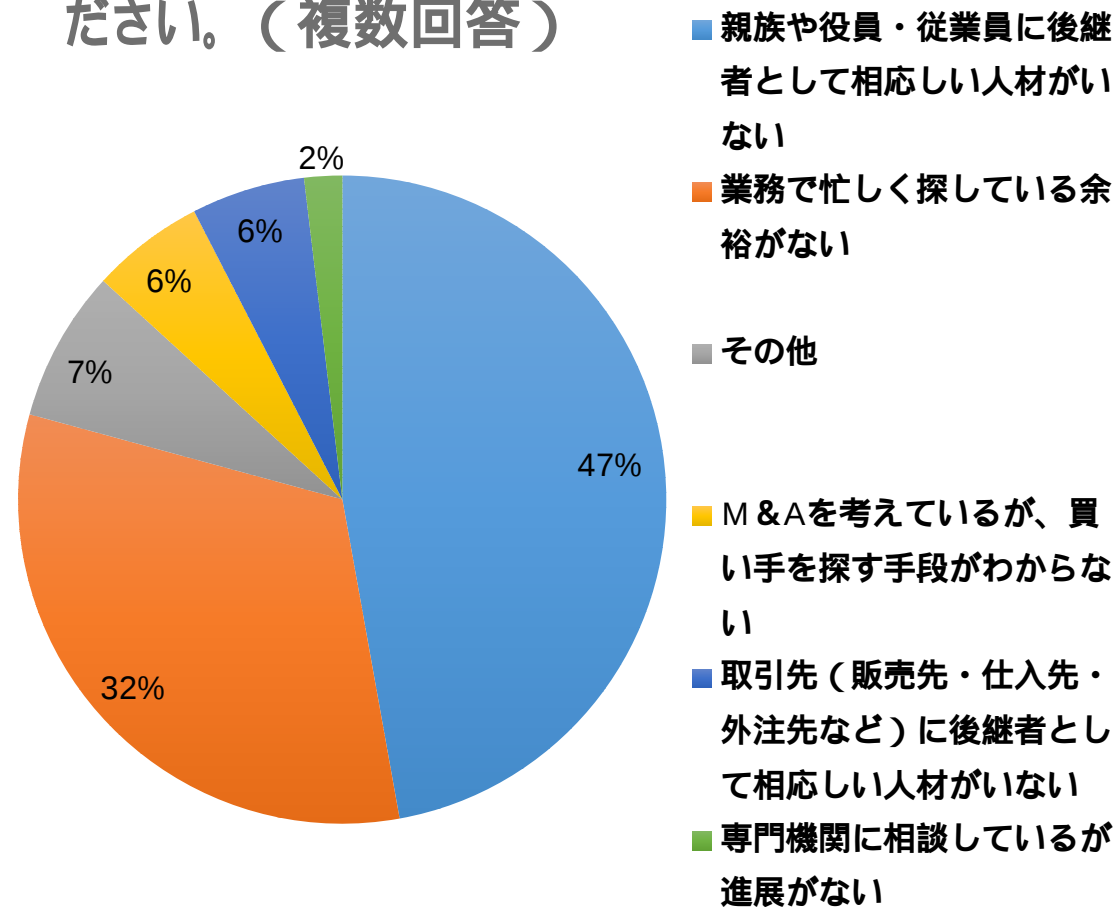
Q32. [Q31で ~ いずれかを回答した事業者のみ回答]
貴社が実施している事業承継への取り組みについて、該当するものをお答えください。（複数回答）



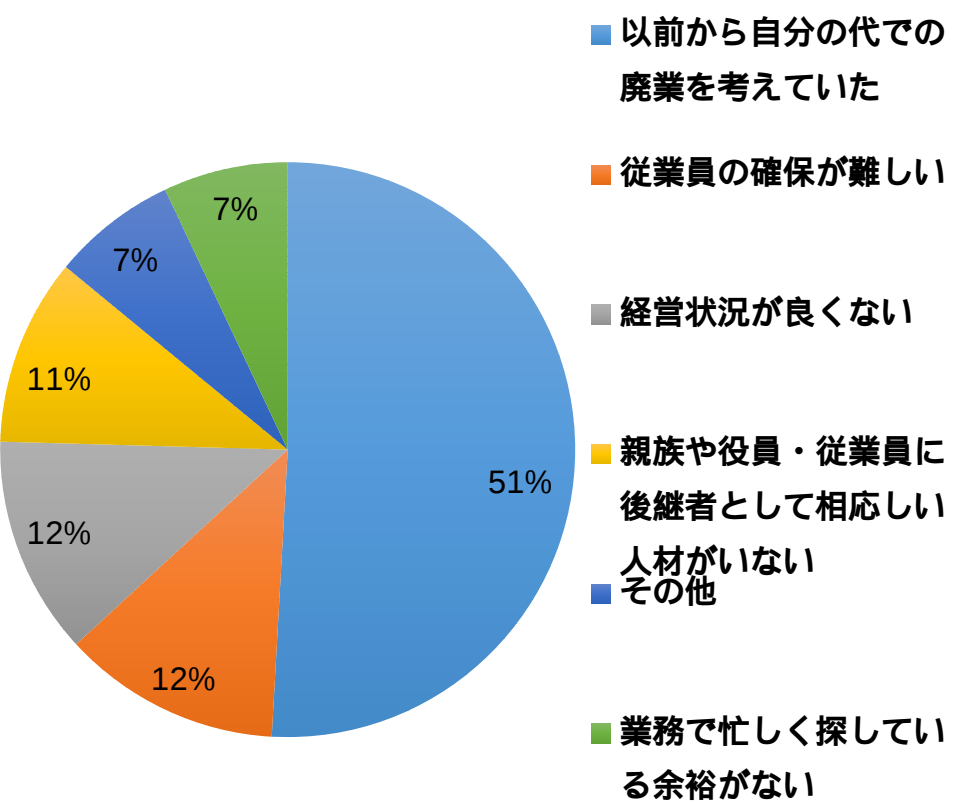
Q33.【Q31で ~ いずれかを回答した事業者のみ回答】貴社が事業承継を進めるにあたっての課題について、該当するものをお答えください。
（複数回答）



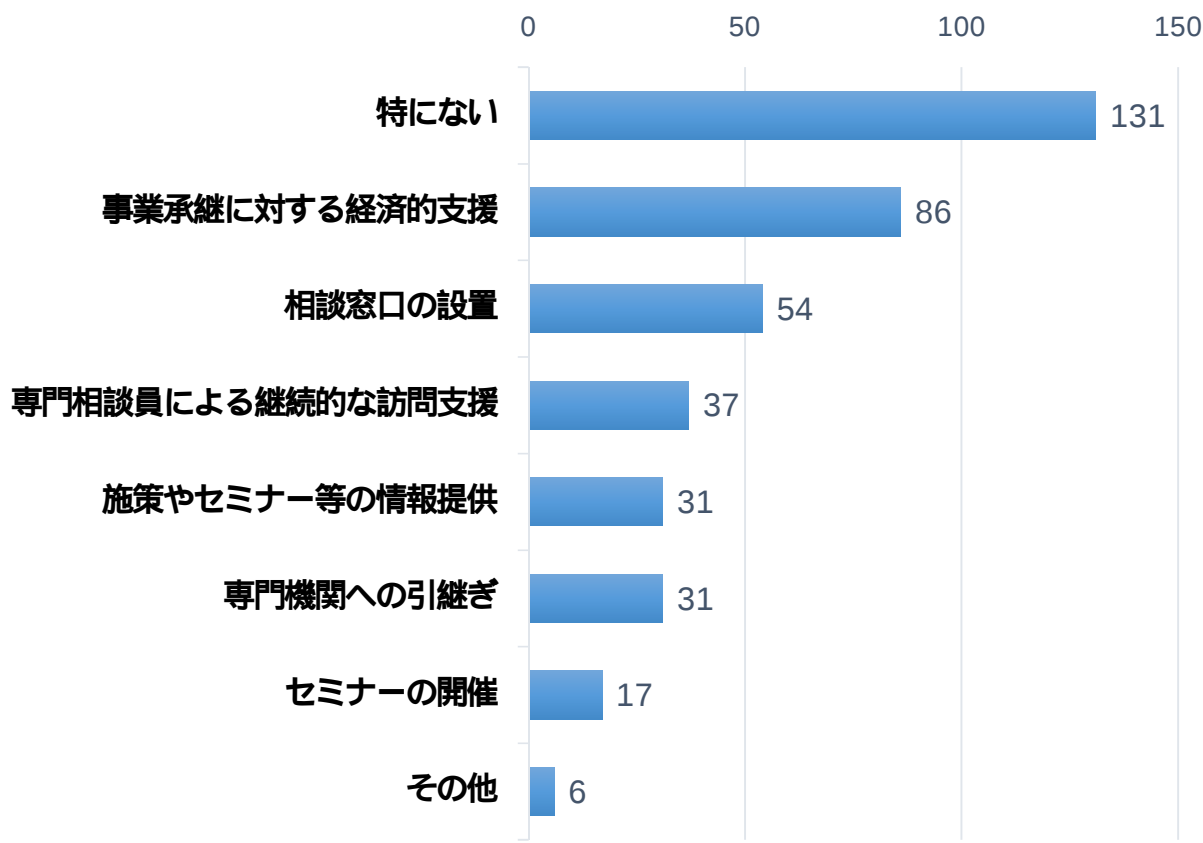
Q34.【Q31で「承継したいが、候補者がいない」と回答した事業者のみ回答】後継者（候補者を含む）がいない事情について、該当するものをお答えください。（複数回答）



Q35. [Q31で「承継しない(自分の第で廃業予定)」と回答した事業者のみ回答] 承継しない・廃業とする理由について、該当するものをお答えください。(複数回答)

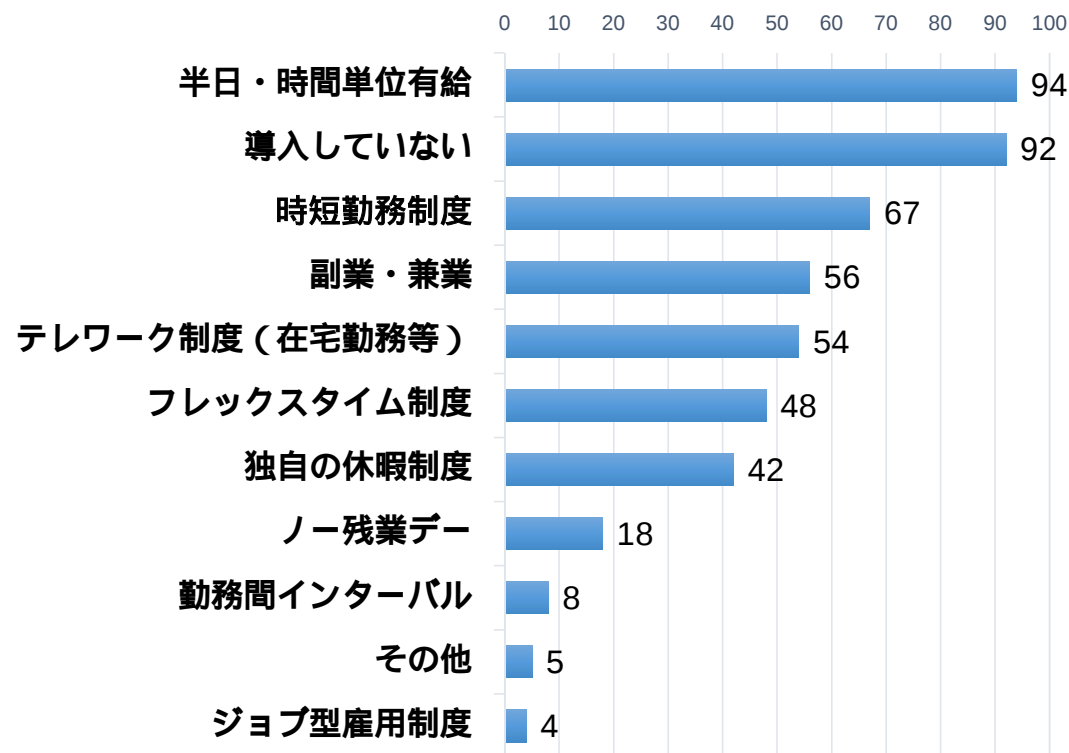


Q36. 事業承継を検討するにあたり、有効と思われる公的支援策があればお答えください。(複数回答)

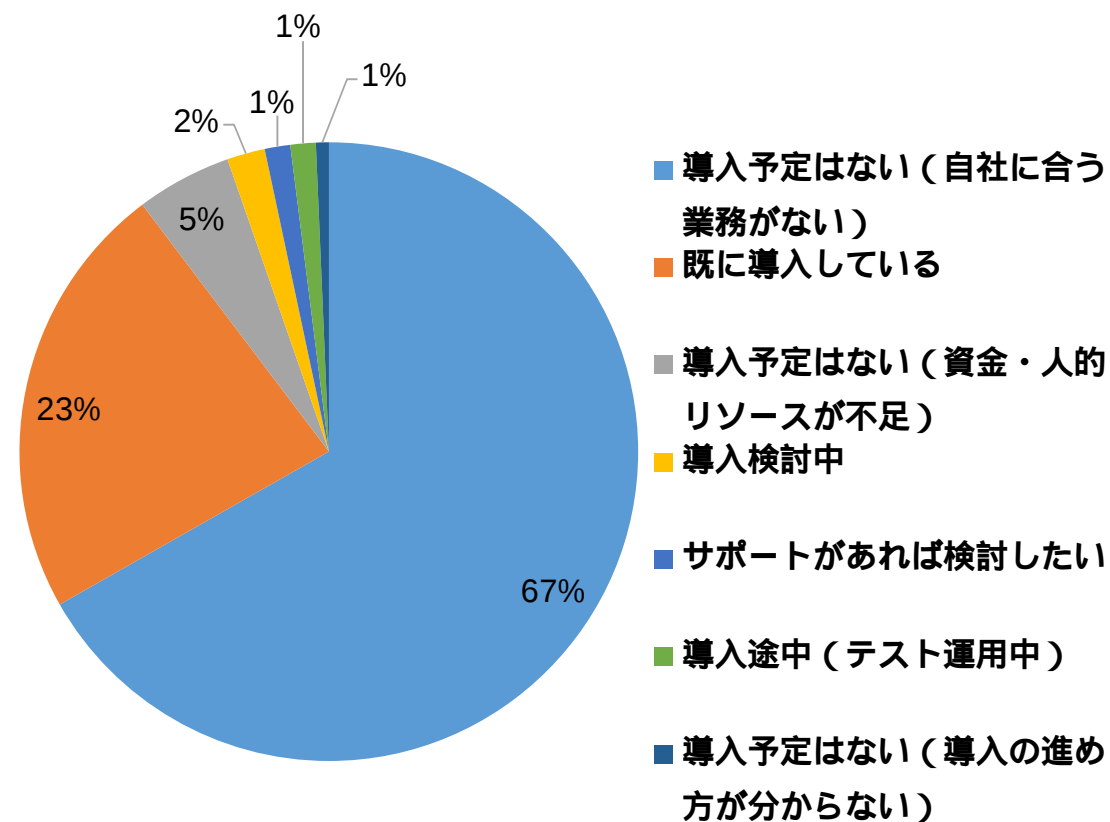


5.多様な働き方と社会貢献に関する取組

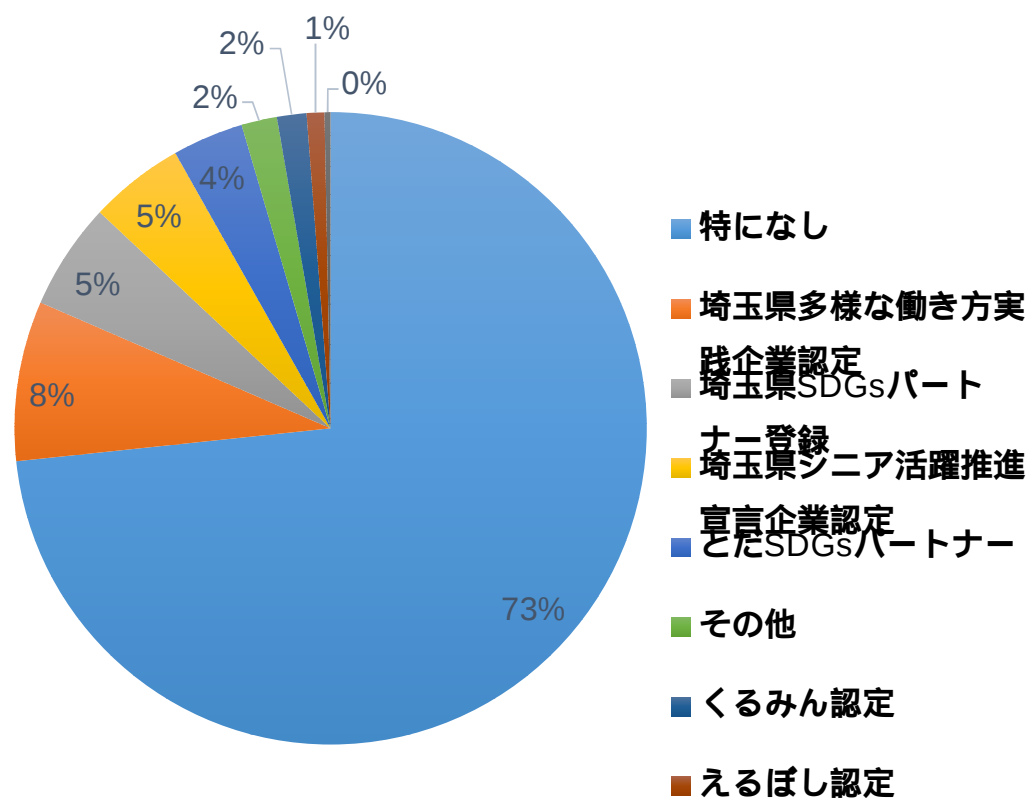
Q37.貴社が、社員が柔軟に働ける制度として導入しているものをお答えください。
(複数回答)



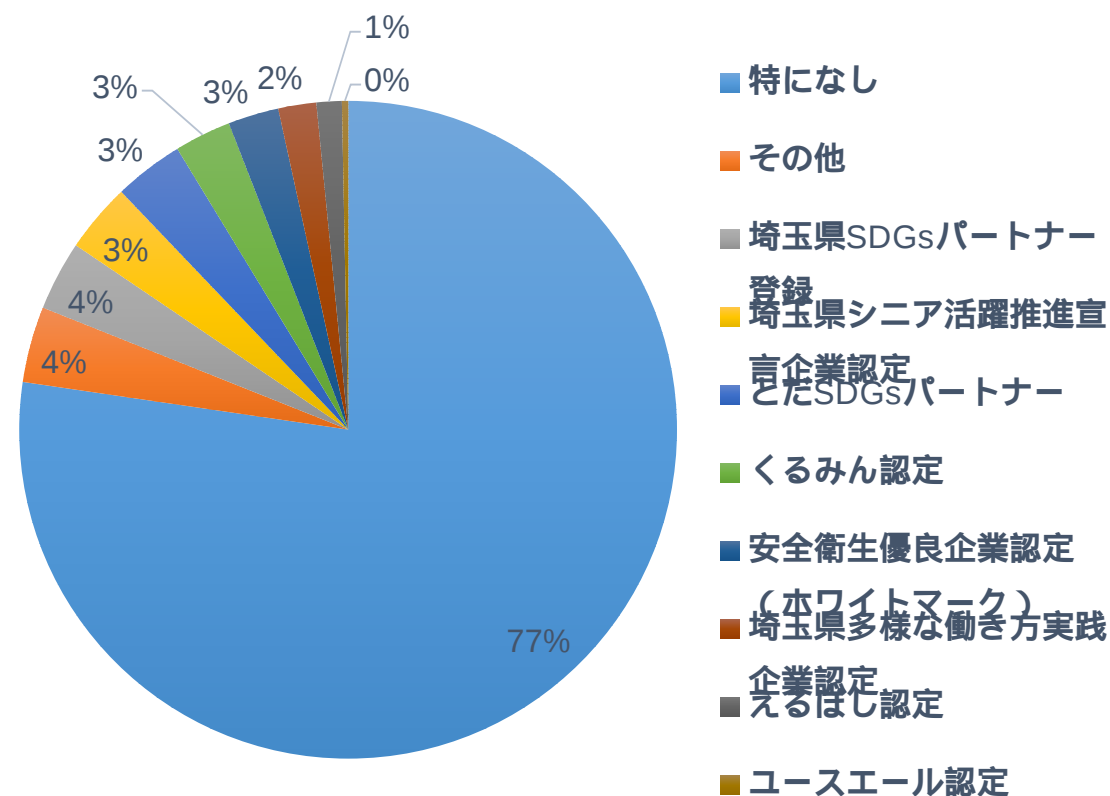
Q38.貴社のテレワーク制度(在宅勤務制度)の導入状況についてお答えください。(単一回答)



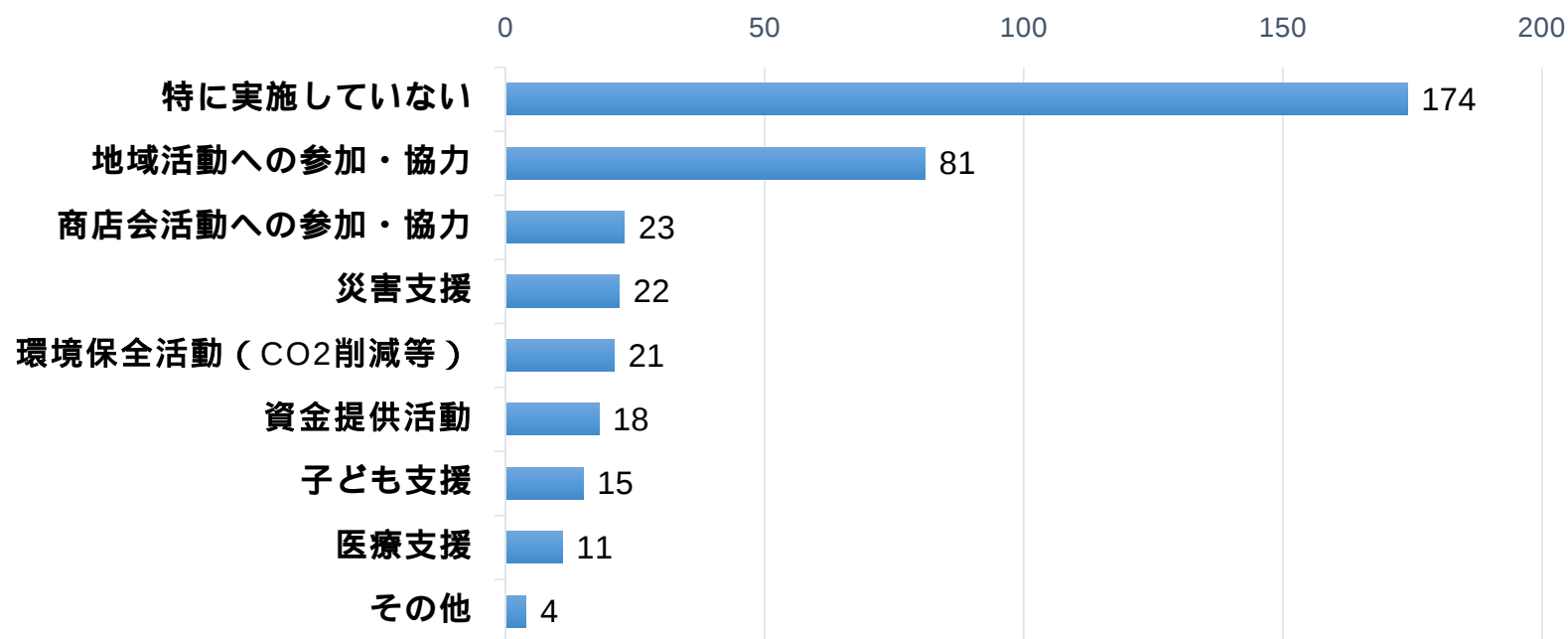
Q39.貴社が、すでに取得している国・県・市の認定制度等について、該当するものをお答えください。（複数回答）



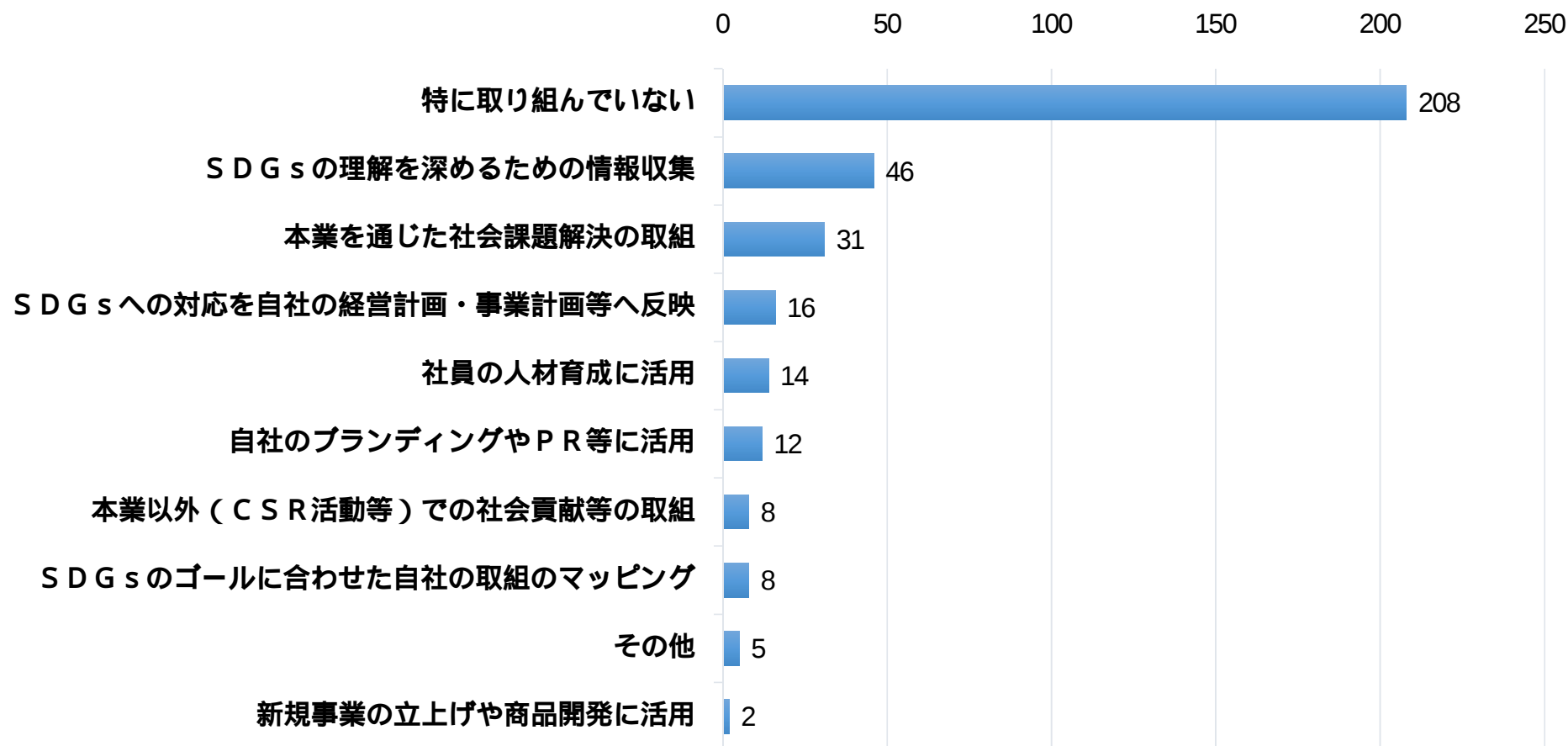
Q40.貴社が今後取得したい国・県・市の認定制度等について、該当するものをお答えください。（複数回答）



Q41. 貴社が実施している社会貢献活動について、該当するものをお答えください。（複数回答）

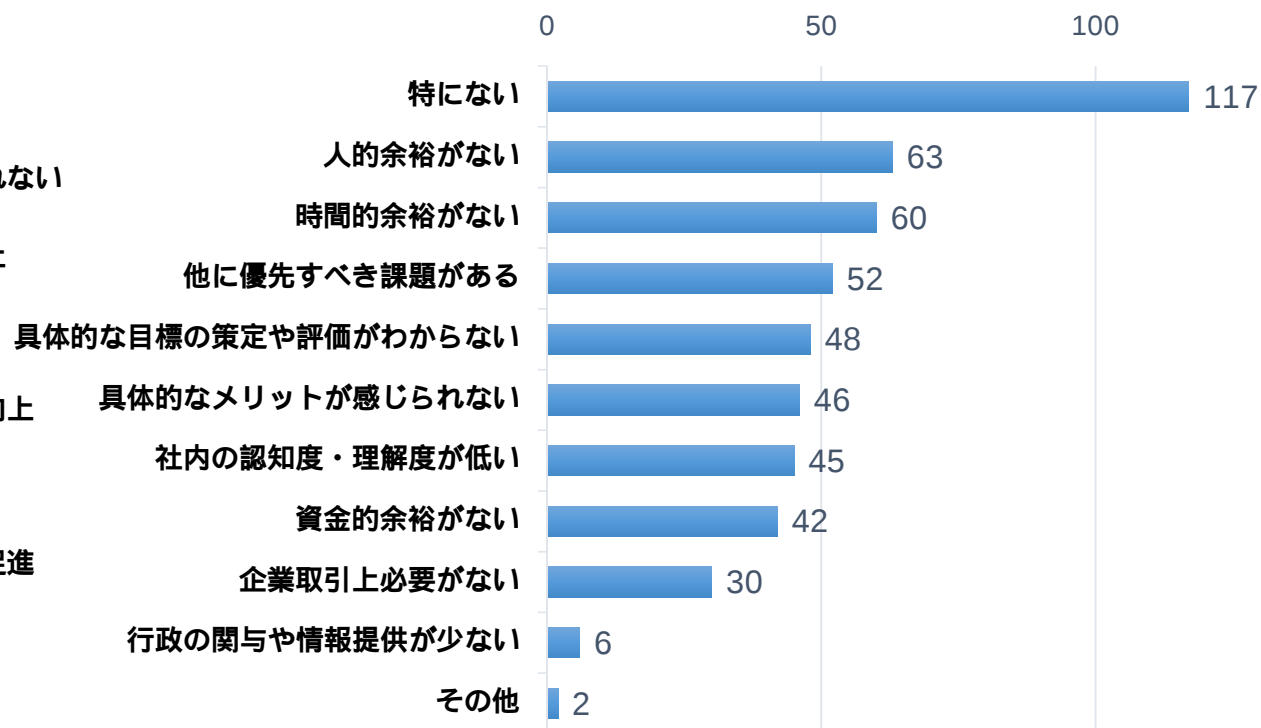
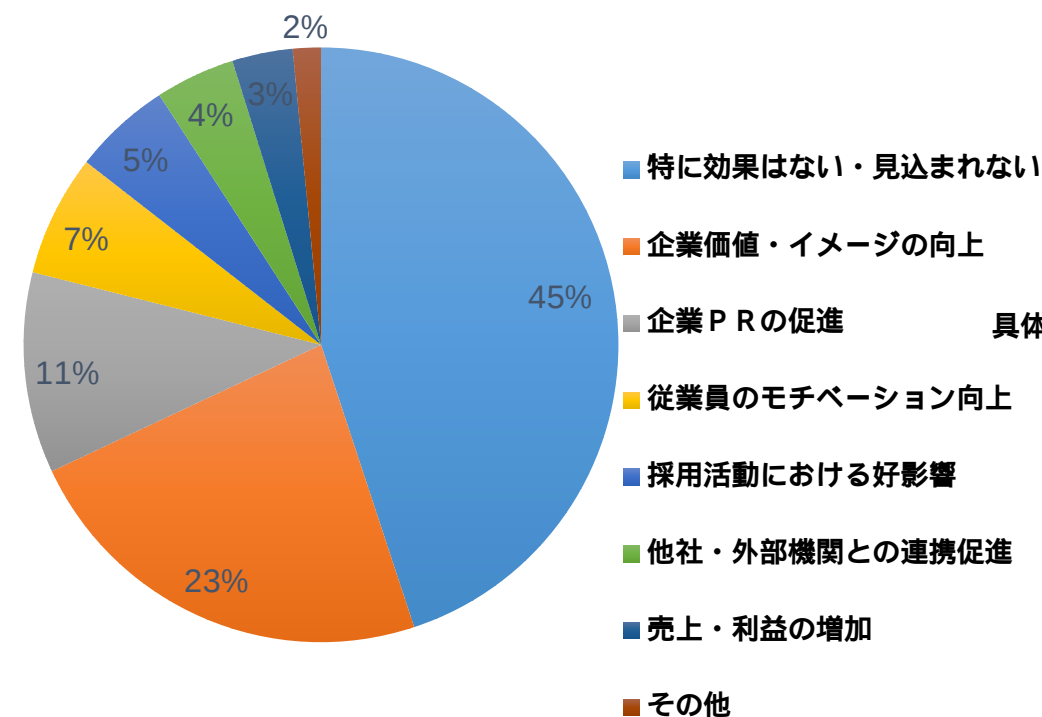


Q42.貴社が実施しているSDGsへの取組について、該当するものをお答えください。（複数回答）



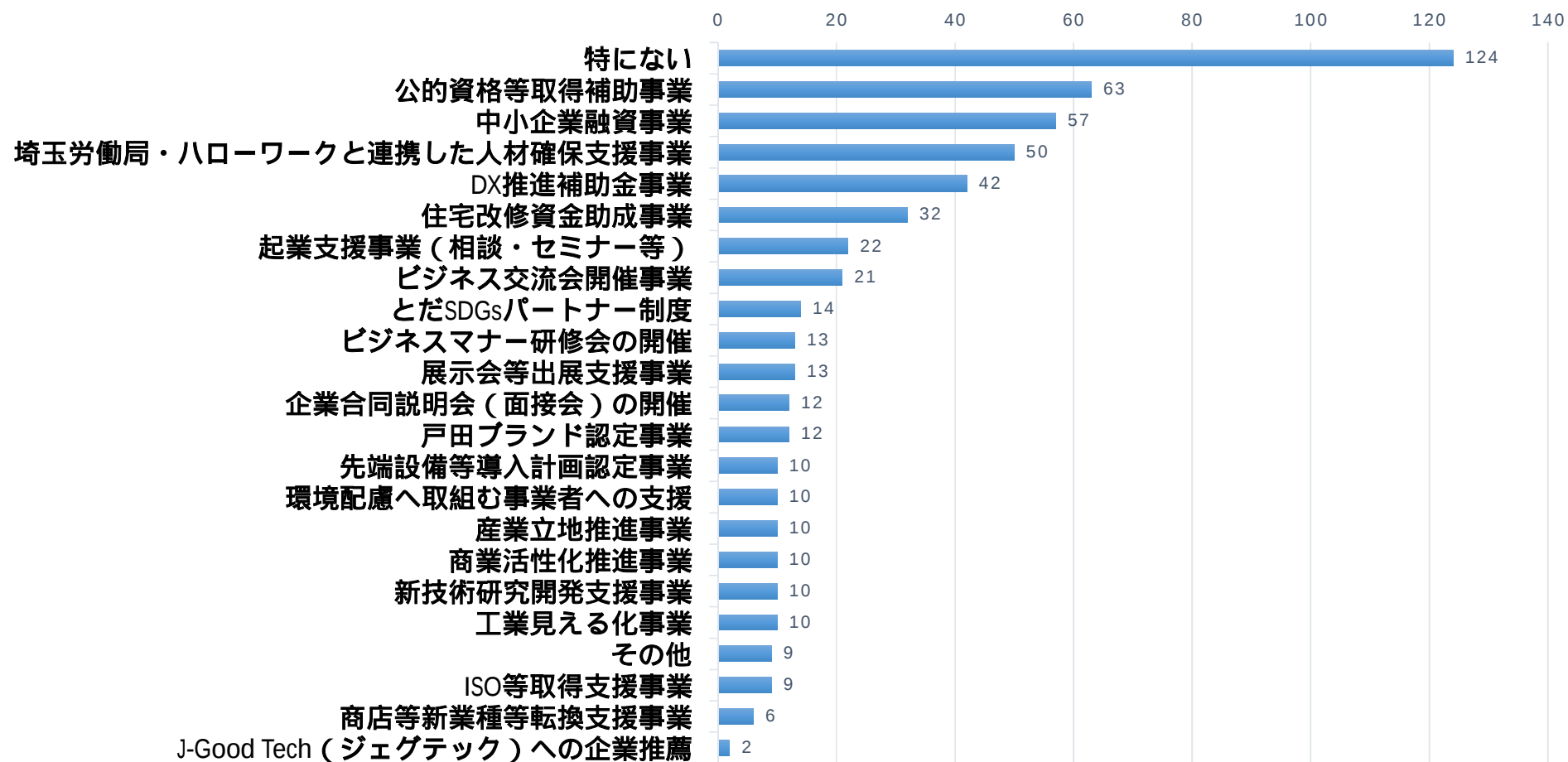
Q43.SDGsへの取組により得られた又は見込まれる効果について、該当するものをお答えください。（複数回答）

Q44.貴社がSDGsに取り組むにあたっての課題について、該当するものをお答えください。（複数回答）

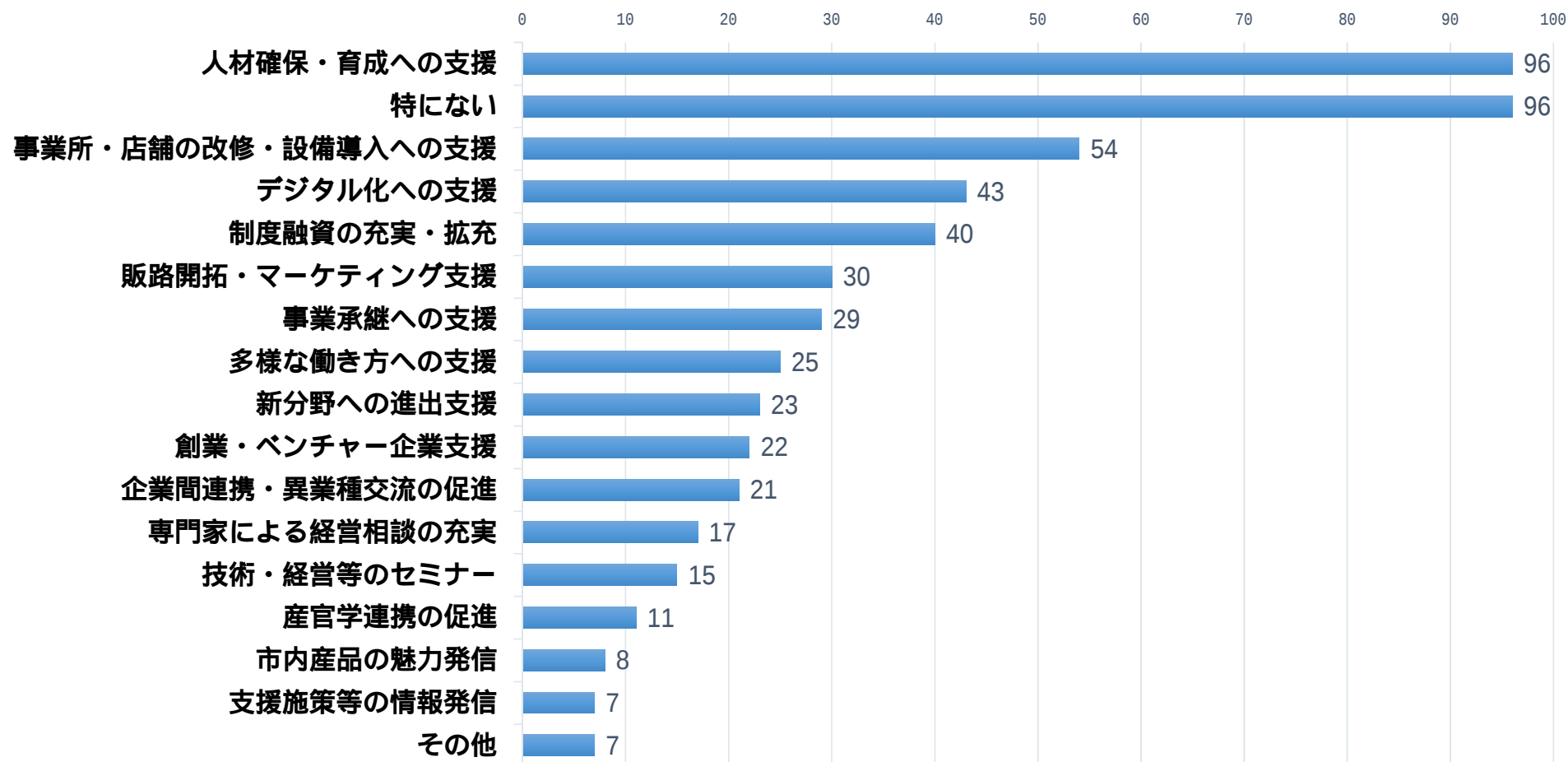


6.公的支援策の利用状況

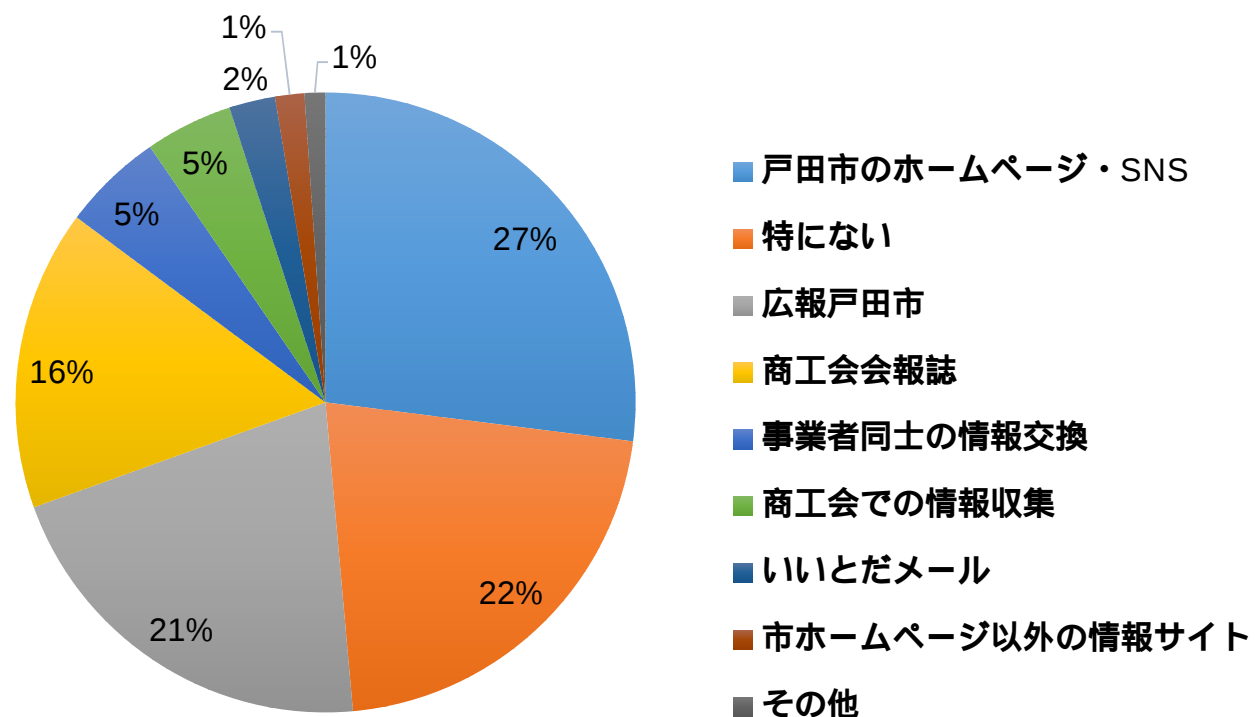
Q45.戸田市が現在実施している事業者向け支援施策のうち有効だと思う取組について、該当するものをお答えください。（複数回答）



Q46.貴社が充実してほしいと思う戸田市の支援施策について、該当するものをお答えください。（複数回答）



Q47.戸田市の補助金やセミナー等の情報収集方法について、該当するものをお答えください。（複数回答）



Q48.戸田市の産業振興に関するご意見について、ご自由にご記入ください。（記述回答）

- 別紙参照

Q48. 戸田市の産業振興に関するご意見について、ご自由にご記入ください。
戸田市のJR東日本駅周辺を、産業中心とした新しい都市計画で進めて頂く事はどうか。 また、駅へのアクセス道路のアップグレードが行われる事を希望します。 快適な街の基本条件の一つとして、歩行者、自転車、バイク、車両が皆、安全・安心で利用出来る 事があると思います。 戸田市の産業振興へのビジョンと、戸田市のまちづくりのビジョンがお互いにリンクして、より良 い未来につながる事を希望しています。
戸田市は地形が平坦なので、かつて水道料金が日本一安価であった。今もかなり安価なはず。 また、当社のある中町・下前・川岸地区に大型マンションが多く建設されたので、若年者が奇跡的 なくらい多い。 従って、これらの若年者が学校卒業後も定住・就労してくれるまちづくりを所望する。 これと相反するようで申し訳ないが、現状、製造業に対する環境規制が年々強まっているので、若 干の緩和をお願いしたい。騒音や消防などの規制が年々強化される。人材確保の観点からも、郊外 移転などせず、現状のまま戸田市で創業したい。 その他、温暖化の進行に伴い、工場内空調（主に冷房設備）の導入を検討しているが、新規導入に 適用できる補助金が無い。ここ数日の気温は3月なのに25 である。これが7月8月となればどうな るか、SDG'sも良いが、先の見えない環境対策でなく、現実的な内容にことごとく支援制度や補助 金を創設して頂きたい。
固定資産税を下げてほしい
歯科診療所を経営していますが、物価高、賃金の上昇で利益がかなり圧迫されております。一刻も早 い、戸田市と国の経済的援助を求めます。
企業訪問相談とかしてほしい
期待してない
戸田市在住の企業が工場を建替える資金の援助を御願いします。
戸田市で行うセミナーな事業について、まずは積極的に戸田市内の事業者を活用して欲しい
美女木2丁目在住です。この地域は戸田市役所のある中心地区と比べ、施設やインフラ整備など 様々な点で後れを取っています。例えば、図書館や児童館など文化的施設が皆無です。こどもたち が互いに学べたり、交流できる施設があると子どもたちの学力や知的水準が向上し、新たな住民に 魅力的な街になるのではないかと思います。また、災害対策の一環として電柱を地中に埋め、道幅 を広げることで災害時の避難や物品の運搬に役立つのではないかと思います。さいたま市と市境で 検討が見送られがちかとは思いますが、同じ税金を支払っている身としてはこのような問題点のご 検討をぜひ取り上げていただきたいと強く要望いたします。
市内の事業者の育成に力を入れて欲しいです。
ウォータータンクの設備大賛成です 笹目川サイドに工事中大変な安全を守るために費用が凄いですね。紙関係の仕事が60%ですがペー パーレスの流れの中にいる企業として先行きが不安です
更なるビジネス支援宜しくお願いします
台風被害で設備が浸水したことがあったので、河川の氾濫対策をしていただきました。そのときの 状況が頭をよぎり事業を続けていくか悩むことが多々あります。自然災害が起きたときは税金の優 遇措置などしていただけると助かります。
役所にいろいろ相談に行っても 結局のところたらいまわしにされます。たらいまわしにして一日 の仕事が終わってしまう役所の仕事は楽だなあと。思います。ですので 会社を経営していくうえで 役に立つことはありません。
戸田市に事務所があるが、戸田市からの情報を理解してませんでした。 相談にお伺いさせていただきたく存じます。
市内に子供が多いので地元の子供達に地元の企業で働いてもらう取り組みが必要です。小学校、中 学校に地元経営者が出張授業などをして、地域の中小企業で働くメリットを子供や家庭から理解し てもらって取り組みが必要です。
地の利を活かした創業、産業支援に期待する。

Q48. 戸田市の産業振興に関するご意見について、ご自由にご記入ください。

細かい施策はすべて無くし「融資」と「柔軟に使用できる補助金制度」に予算を注力すると市の業務負担も減り、事業者も飛躍できるかと思います。

当社は取引先を探す際に商工会や金融機関の担当者に連絡して紹介を受ける事が多いが、商工会、金融機関のそのような機能は強化すべきだと思います。

商業活動・イベントが市役所近辺に集中しており市内の地域間格差が大きい埼京線より西側で笹目川より西側が特に格差があり新大宮バイパスをわたるとスーパーなどもなくとくに大きい路線バスの本数も減り続け駅から離れていると求人をしてなかなか難しい

人員募集をしても、埼玉県以外の方は戸田市？とあまり地名を知られていません。花火が有名だったり色々なPRポイントがあると思います。是非、市外の方に戸田市を認識していただきたいです。

産業振興とは地域資源を活かし、挑戦を続ける事業主を支援する事。

戸田市の企業を支援というのは名ばかりで、支援してやる。支援してもらえるんだぞ。という感じがぬぐえない。

支援とは見返りを欲せずする事。戸田市は支援金の申請は複雑化し、支援金ではなく借金として出すものも数多くある。

戸田市はしてやってるんだぞ。というスタンスを取り続けているが一向に市政や議員改革等の話は出てこない。

市議会議員の削減、議員平均年齢の減少、公共事業の異常な工期設定、外国人生活保護受給者の認定等、市政内部でまずは片づける事案が数多くある中で支援とは難しい話である。

まずは内部から戸田市が変わらなければ事業者は協力しない。

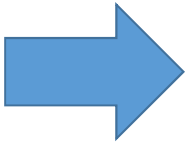
高齢者がこれからを担う若者のことを考えて政策を打ち出せるとは今の日本政府を見ていれば明らかだ。

まずは地方自治体から大きく変わる事重要である。

戸田市に起業して30年。歴史の移り変わりを見てきたが今の戸田市は事業者にとってはメリットの無い場所である。

現経済戦略プラン骨子

章	節	小項目	ページ
はじめに			
目次			
第1章 戸田市経済戦略プランの位置づけ(総論)			
	第1節 戸田市経済戦略プランとは	(1)戸田市産業振興計画(前計画)について	P1-2
		(2)経済戦略プランについて	
	第2節 戸田市経済戦略プランの期間		
第2章 本市の特徴と取り巻く社会環境			
	第1節 本市の特徴		P3-4
	第2節 取り巻く社会環境		
	(1)新型コロナウイルス感染症の影響		
	(2)持続可能な事業環境への転換		
	(3)脱炭素社会実現の要請		
第3章 戸田市産業振興計画の取り組みの評価と課題			
	第1節 戸田市産業振興計画の6年間の取り組みの評価		P5-8
	第2節 課題と解決に向けて		
	(1)課題		
	(2)課題解決に向けて		
第4章 経済戦略プラン			
	目指すビジョン		P9-10
	4つの柱		
	基本方針		
第5章 具体的施策			
	柱 企業の魅力や価値を高める		P13-17
	柱 多様な人材による産業振興		
	柱 地域社会をつなぐ		
	柱 社会的責任の遂行		
	事業概要 各施策と事業概要		
第6章 進捗管理と評価方法			
	第1節 戸田市経済戦略プランの進捗管理		P29-30
	第2節 戸田市経済戦略プランの評価方法		
第7章 資料編			
	1 戸田市中心企業振興会議の概要		P31-59
	2 戸田市中心企業振興条例		
	3 戸田市企業現状調査報告書(令和元年度実施)		
	4 戸田市経済戦略プラン用語解説一覧		



第2次経済戦略プラン骨子案

章	節	小項目	ページ	主な掲載内容・取組事業案
はじめに				市長挨拶
目次				
第1章 総論(計画策定の趣旨)				
		1 計画策定の背景と目的	P1-12	
		2 計画の位置づけ		
		3 計画の期間		
		4 前経済戦略プランの振り返りと評価		
		(1)前経済戦略プランの総括		
		(2)柱ごとの振り返りと評価		
第2章 本市産業の現状と課題				
		1 社会情勢の変化	P13-24	
		2 本市の基本的事項		立地、人口構造、土地利用状況
		(1)戸田市の概要		
		(2)人口		
		(3)土地利用状況		
		3 本市産業の特徴と現状		
		(1)本市産業の変遷と特徴		
		(2)産業構造と産業別構成比		県との比較図
		(3)市内事業所数と従業者数		
		(4)商業における事業所数と従業者数		
		(5)工業(製造業)における事業所数と従業者数		
		(6)本市の地域経済循環と近隣市比較		
		4 本市の産業振興における課題		企業経営状況調査
		(1)経営全般における課題		
		(2)既存支援施策の有効性と充実してほしい支援策		
		(3)課題の解決に向けて		
第3章 目指すビジョンと基本方針				
		1 目指すビジョン	P25-27	キャッチコピー検討
		2 基本方針		前プランと同じ建てつけていくか変更するか
		3 基本方針ごとの施策体系		
第4章 展開する施策				
		基本方針1 人材確保・育成と働く環境の整備	P28-41	基本方針ごとの施策と事業・KPIを掲載
		基本方針2 新たな価値の創造と担い手づくり		
		基本方針3 経営基盤の強化と持続的発展		
		基本方針4 地域資源の活用と賑わい創出		
第5章 計画の推進・評価				
		1 計画の推進体制	P42-43	
		2 計画の進行管理と評価		
第6章 資料編				
		1 策定の経過	P44-63	
		2 戸田市中心企業振興会議の概要		
		3 戸田市中心企業振興条例		
		4 戸田市企業経営状況調査報告書(令和7年3月実施)		アンケート結果をすべて掲載する余裕があるか
		5 用語解説		

第2次戸田市経済戦略プラン（素案）

イメージ画像もしくはイラストを挿入

令和8年3月



はじめに



本市では、市内経済を活性化することを目的とした「戸田市中心小企業振興条例」の基本理念を具現化するため、平成27年3月に「戸田市産業振興計画」を策定し、様々な経済政策に取り組んできました。

しかしながら、市内経済を取り巻く状況は、産業構造の変化、都市構造の変化、また、価値観やライフスタイルの多様化とそれに伴う働き方の多様化、地球温暖化をはじめとした環境問題への対応、さらに、新型コロナウイルス感染症への対応など、『絶えず変化への対応』が求められております。このことを踏まえ、新たな時代を見据えた戸田市の新しい経済方針として、令和3年4月に「戸田市経済戦略プラン」を策定いたしました。

上記プランの計画期間が令和7年度をもって終了となるため、令和8年度以降の計画として、「第2次戸田市経済戦略プラン」を策定することといたしました。

「第2次戸田市経済戦略プラン」の策定にあたりましては、市内事業者の実態を把握するために行った「景気動向調査」および「企業経営状況調査」の分析結果や、「戸田市中心小企業振興会議」の委員の方々からこれまでにいただいた御提案を基に施策を立案するとともに、パブリックコメント等での御意見も可能な限り反映させ、プランの内容を充実させることができました。

本プランは、市内産業の維持・発展や地域経済の活性化に向けた取組を進めることで本市の魅力を醸成し、関係人口の増加に繋げる循環を創出することを目的として定めており、「人材確保・育成と働く環境の整備」、「新たな価値の創造と担い手づくり」、「経営基盤の強化と持続的発展」、「地域資源の活用と賑わい創出」を4つの基本方針として掲げ、実効性のある施策を進めてまいります。「人材確保・育成と働く環境の整備」では事業者の人材確保や雇用の促進を進め、「新たな価値の創造と担い手づくり」では起業やイノベーションの創出を推進し、「経営基盤の強化と持続的発展」では事業者の持続可能な事業運営を支援し、「地域資源の活用と賑わい創出」では戸田市の魅力発信を行うことで地域の活性化を図ります。

本プランに基づき、事業者の皆様が自信と誇りをもって活躍できるまちにするために、戸田市の経済発展に尽力してまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本プランの策定過程において関わられた多くの皆様に心より御礼申し上げます。

令和8年3月

戸田市長 菅原文仁

- 目次 -

第1章 総論(計画策定の趣旨)

- 1 計画策定の背景と目的……………
- 2 計画の位置づけ……………
- 3 計画期間……………
- 4 前期経済戦略プランの振り返りと評価……………

第2章 本市産業の現状と課題

- 1 社会情勢の変化……………
- 2 本市の基本的事項……………
- 3 本市産業の特徴と現状……………
- 4 本市の産業振興における課題……………

第3章 目指すビジョンと基本方針

- 1 目指すビジョン……………
- 2 基本方針……………
- 3 基本方針ごとの施策体系……………

第4章 展開する施策

- 基本方針1 人材確保・育成と働く環境の整備……………
- 基本方針2 新たな価値の創造と担い手づくり……………
- 基本方針3 経営基盤の強化と持続的発展……………
- 基本方針4 地域資源の活用と賑わい創出……………

第5章 計画の推進・評価

- 1 計画の推進体制……………
- 2 計画の進行管理と評価……………

第6章 資料編

- 1 策定の経過……………
- 2 戸田市中心企業振興会議の概要……………
- 3 戸田市中心企業振興条例……………
- 4 戸田市企業経営状況調査報告書(令和7年3月実施)……………
- 5 用語解説……………

第1章 総論(計画策定の趣旨)

1 計画策定の背景と目的

平成11(1999)年の中小企業基本法の改正により、地方自治体は、それぞれの地域の諸条件に応じた中小企業振興のための施策を策定、実施する責務を有するとされ、これを受けて本市の中小企業振興に関して基本的な理念と施策を定め、活力と賑わいのある地域社会を創出するため、平成23(2011)年2月8日に戸田市中企業振興条例を制定しました。また、同年7月には中小企業振興施策を調査研究し、市に提言することを目的とした、戸田市中企業振興会議を設置しました。

戸田市中企業振興会議では、戸田市総合振興計画と整合する形で、産業振興ビジョンを確立するため、その策定に向けて取り組み、「戸田市産業ビジョンの骨子」として提言をまとめました。市ではその提言を受け、産業ビジョンを実現するための経済・産業分野に関する個別分野計画として、平成27(2015)年度に「戸田市産業振興計画」を策定しました。

「戸田市産業振興計画」は、戸田市第4次総合振興計画で定められた基本目標のうち「活力と賑わいを創出できるまち」の実現に向けて、本市の産業の現状や課題を踏まえて、目指すべき産業の姿や基本方向を見定めるとともに、その実現に向けた施策の体系と重点的に実施する取り組みなどを盛り込んだ計画で、産業分野での目指すべき将来像を掲げた「産業ビジョン」と、ビジョン実現に向け各々の施策を体系的に取りまとめた「基本計画」部分、さらに、基本計画に取りまとめられたそれぞれの施策の具体的な実施方法等を示した「行動計画」を策定しました。

「行動計画」を策定したことで、「基本計画」の施策の進捗状況を戸田市中企業振興会議において毎年チェックし、社会経済情勢の変化等に迅速に対応するため、ローリング()を実施してきました。

戸田市産業振興計画における6年間の取り組みの中で、有効に機能した「基本計画」と「行動計画」の関係性や、戸田市中企業振興会議でのチェック体制は維持しながらも、戸田市産業振興計画の成果と課題を洗い出し、より実効性のある施策を行う計画とするために、令和3(2021)年度からは「戸田市経済戦略プラン」として取り組んでまいりました。

「戸田市経済戦略プラン」を策定した令和3(2021)年4月以降の社会情勢の急速な変化に対応し、地域経済を維持・発展させるために、「戸田市経済戦略プラン」の48個すべての施策について再度見直しを行い、今後も継続していくべき有効な施策は残しながらも、今の時代においてニーズが高く、本市の魅力を醸成することに繋がる新たな施策の創設、既存の施策の変更等を行っています。

2 計画の位置づけ

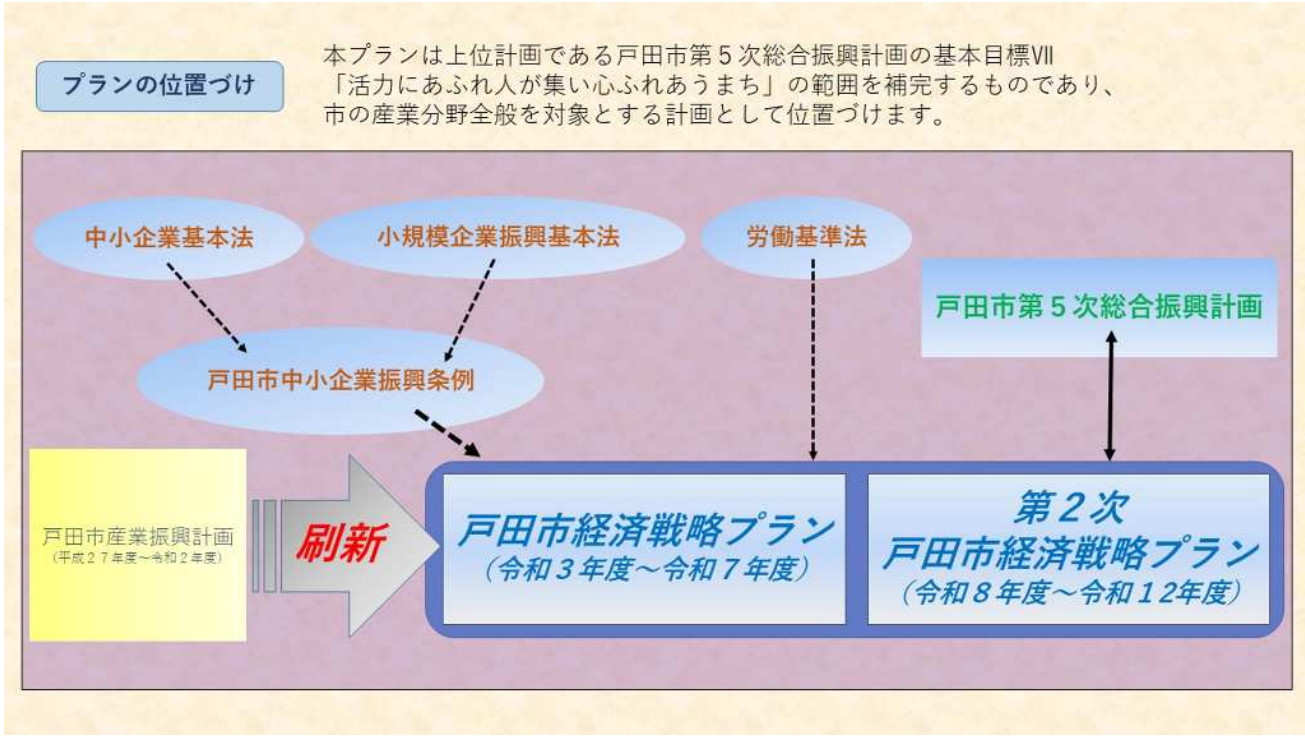


図1 - 1 プランの位置づけ

3 計画期間

第2次戸田市経済戦略プランは、上位計画である戸田市総合振興計画の改定時期に合わせて今後改定していくことが望ましいため、本プランの計画期間は令和12(2030)年度を目標年次とし、令和8(2026)年度を初年度とする5年間とします。

ただし、プラン策定後において経済構造や社会状況の変化により、必要に応じて見直すこととします。

計画 \ 年度	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9 (2027)	令和10 (2028)	令和11 (2029)	令和12 (2030)
戸田市第5次総合振興計画 (基本構想)	10か年									
戸田市第5次総合振興計画 (基本計画)	前期5か年					後期5か年				
戸田市経済戦略プラン	経済戦略プラン					第2次経済戦略プラン				

4 前期経済戦略プランの振り返りと評価（掲載内容は仮のものです）

(1) 前期経済戦略プランの総括

今回策定した第二次戸田市経済戦略プランの前身である戸田市経済戦略プランは、戸田市第5次総合振興計画前期基本計画(令和3(2021)年～令和8(2026)年)に基づき、『「未来への投資」で戸田市に元気を～経済と雇用の好循環～』を目指すビジョンに掲げ、働く人たちや企業が元気なまちへと進展するための施策を実施いたしました。

前計画期間においては、未曾有の感染症であるコロナへの対応が大きな課題となりました。ほぼすべての産業が大きな影響を受けましたが、特に観光やイベントは大きな打撃を受けています。しかし、行政のみではなく、市民や事業者、各種関係団体との協働によって、従来のような中小企業等の支援、創業支援体制の構築、地産地消の促進、新しい働き方やワークライフバランスの普及促進、十分なコロナ対策をした上での可能な範囲でのイベント開催等、本市の産業振興の取り組みを実施していくことができました。

2023年5月からの新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類感染症に移行したこともあり、産業・経済面でも失われた数年を取り戻すための新たな取り組みが求められています。今後、本市の更なる発展をめざし産業基盤の強化、観光コンテンツの充実、多種多様な雇用環境の創出・人材育成に取り組んでいくために、社会経済分野の変化を踏まえた事業体系を構築することが重要になります。

(2) 柱ごとの振り返りと評価

前計画は、以下の4つの柱に基づき展開してきました。

- 企業の魅力や価値を高める
- 多様な人材による産業振興
- 地域社会をつなぐ
- 社会的責任の遂行

前計画において、各柱を基に推進してきた主な取り組みは、以下の通りです。

なお、実績/目標については、施策に応じて5年間の合計値または最終的な目標値に対する実績のいずれかで掲載しております。

【柱 企業の魅力や価値を高める】

基本方針(1) 活力を生む事業者への支援

施策名	目標となる指標	実績/目標	備考
1. 従業員個々のスキルアップ	公的資格取得補助金の交付件数	32/34 件	
2. 新技術研究開発支援事業	商工業支援事業補助金(新技術研究開発支援事業)の交付件数	1/7 件	
3. 公衆浴場近代化設備資金補助事業	公衆浴場近代化設備資金の補助件数	13/10 件	

基本方針(2) 市内産品の魅力拡大

施策名	目標となる指標	実績/目標	備考
4. 優良推奨品(戸田ブランド)創出と魅力アップ	優良推奨品(戸田ブランド)に認定された件数	85/73 件	
5. 販路拡大支援事業	商工業支援事業補助金(展示会等出展支援事業)の交付件数 市内産品等セールス支援事業を活用し出展した事業者数	53/44 社	
6. ふるさと納税返礼品 PR 事業	ふるさと納税返礼品の出品数	204/43 品	

基本方針(3) 情報発信と交流の促進

施策名	目標となる指標	実績/目標	備考
7. ビジネス交流会開催事業	ビジネス交流会に参加した事業者数	119/275 社	
8. 工業見える化事業	工業見える化事業への参画企業数	84/100 社	
9. 埼玉県産の農作物の購入促進	市内農家や姉妹都市・友好都市で生産された野菜の購入促進を図るイベントの開催数	5/15 回	
10. 収穫体験等姉妹都市交流事業	美里町での収穫体験事業への参加者数	154/150 人	

【柱 多様な人材による産業振興】

基本方針(1) イノベーションの創出

施策名	目標となる指標	実績/目標	備考
11. 起業サポート体制の充実	起業相談件数	225/50 件	
12. 起業支援セミナー開催事業	起業支援セミナーの年間受講者数	451/440 人	
13. 商店等新業種等転換支援事業	商工業支援事業補助金(商店等新業種等転換支援事業)の交付件数	44/50 件	

基本方針(2) 雇用促進と働く環境の整備

施策名	目標となる指標	実績/目標	備考
14. 雇用対策の推進	国、県との連携・共催事業数	20/15 件	
15. 就職・就労支援の充実	就職支援セミナー、就職支援・キャリアデザイン相談の開催回数	150/430 回	
16. 事業者向け公共施設貸し出しの促進	公共施設の事業者への貸し出し数	0/29 件	
17. 永年勤続従業員の表彰	永年勤続従業員の表彰数	117/50 人	
18. ビジネスマナー研修会開催事業	市内企業の新人研修やマナー研修となる講座の実施回数	3/5 回	
19. 合同企業説明会(面接会)の開催	合同企業説明会または面接会の実施回数	9/5 回	

基本方針(3) ダイバーシティ経営の推進

施策名	目標となる指標	実績/目標	備考
20. 事業者に対する多様な人材確保支援	雇用対策協定に定める雇用施策に関する数値目標(県内目標を除く)	8/5 件	
21. 多様な働き方を推進	導入支援を行った事業	33/19 社	

する職場環境整備	者数		
22.多様な働き手の雇用拡大に向けた事業者への働きかけの促進	埼玉県認定する多様な働き方実践企業数	125/115 社	
23.経営アドバイザーによる個別相談	経営アドバイザーによる個別相談実施数	722/600 件	
24.業務効率化支援と啓発	情報提供の実施数	25/17 件	

【柱 地域社会をつなぐ】

基本方針(1) 賑わいの創出と地域活性

施策名	目標となる指標	実績/目標	備考
25.イベントの開催による賑わいの創出	各イベントの開催数、来場者数	27/25 回	
26.土に親しむ広場の利用促進	広場の貸出区画数	487/480 件	
27.商業活性化推進事業	商業活性化推進事業補助金の交付件数	36/44 件	
28.戸田橋花火大会の開催	戸田橋花火大会への来場者数	90 万/225 万人	

基本方針(2) 人と企業を呼び込む

施策名	目標となる指標	実績/目標	備考
29.彩湖道満グリーンパークの活用と魅力拡大	駐車場利用台数	151 万 2223/161 万台	
30.戸田市観光情報館トビックの管理運営と販売促進	観光情報館への来場者数	50,630/55,000 人	
31.サイクリング環境の充実	レンタサイクルやシェアサイクルのポート設置数	85/63 件	
32.観光・お店マップの作成	マップの掲載店舗数、観光入込客数	1,047,294/900,000	

33.フィルムコミッションの運営	戸田市での撮影実績件数	87/95 件	
34.産業立地推進事業	産業立地推進事業補助金の交付件数	20/54 件	

基本方針(3) 快適なまちづくり

施策名	目標となる指標	実績/目標	備考
35.緑のまちづくりの推進	緑化に関する講習会やイベントへの参加者数 「とだグリーンウェイブ」活動による植樹累計数	3,750/2,500 人 499/580 本	
36.住宅改修資金助成事業	住宅改修資金助成金の交付件数	149/110 件	
37.商店街街路灯の維持管理支援	商店街街路灯電気料補助金の交付件数	28/35 件	

【柱 社会的責任の遂行】

基本方針(1) 持続可能な事業運営

施策名	目標となる指標	実績/目標	備考
38.企業へのSDGsの推進	埼玉県 SDGsパートナー登録者数	52/25 件	
39.事業承継問題へのサポート	金融機関や商工会と協力し行うセミナーの情報提供数、相談会等の実施数	30/17 件	
40.企業の経営基盤強化	事業継続力強化計画を策定した事業者数	2/10 社	
41.経営革新計画の策定支援	経営革新計画の承認数	88/100 件	
42.中小企業融資事業	市、県制度融資及び政策金融公庫貸付件数	546/300 件	
43.商工団体支援事業	商工会が主体となつて行う施策実施数	368/500 件	

基本方針(2) 社会貢献の促進

施策名	目標となる指標	実績/目標	備考
44. 学校と連携しての職業体験、社会体験事業	生徒を受け入れてくれる事業所数	737/1500 件	
45. 企業人権学習等の充実に 実	企業人権セミナーの参加人数	43/75 人	

基本方針(3) 地球環境に優しいまちへ

施策名	目標となる指標	実績/目標	備考
46. エコに取り組む事業者への支援	商工業支援事業補助金(ISO等取得支援事業、工業環境対策支援事業)の交付件数	5/8 件	
47. 低公害車導入の普及促進と環境整備	電気自動車、プラグインハイブリッド自動車及び燃料電池自動車や電気自動車用充電設備導入に係る補助件数(R6まで)	97/35 件	
48. 環境配慮型システム設置の支援	環境配慮型システムの導入に係る補助件数(R6まで) 「戸田市ゼロカーボン推進補助金」補助件数(R7)	929/710 件	

第2章 本市産業の現状と課題

1 社会情勢の変化

戸田市経済戦略プランを策定した令和3(2021)年4月以降、社会情勢の急速な変化に伴い、本市の産業や市内事業者等を取り巻く環境も大きく変化しました。こうした社会情勢の変化に対応し、地域経済を維持・発展させるためには、事業者等が自ら事業継続や経営革新を図ることに加え、市が適切な産業振興施策を講じることにより環境整備を行うことが求められます。

● 主な社会情勢の変化

少子高齢化の加速と人口減少	日本の総人口は令和6(2024)年1月現在14年連続で減少しており、特に少子高齢化の加速によって生産年齢人口が減少し、慢性的な労働力不足をもたらしています。今後もさらなる人口減少が予測されており、生産性の低下や後継者不足により廃業のリスクが高まることが懸念されています。
物価高騰と賃上げ	地域紛争や大規模災害など、様々な世界情勢を背景とした原材料の物価高騰等による影響は、地域経済にも大きなリスクをもたらしており、個人の消費活動にも影響を及ぼしています。リスクへの対応策として、事業者は物価上昇率を超える賃上げが課題となっており、労働者の生活の安定や経済の好循環を維持することが求められます。
デジタル技術の進展	政府は目指すべき未来社会として、Society5.0 を提唱しており、IoT やビッグデータ、AI(人工知能)、ロボットに関する技術が急速に進展しています。こうしたデジタル技術の進展は日常生活においてもキャッシュレス決済やテレワークの普及等に寄与しており、企業活動においてもDX(デジタルトランスフォーメーション)による課題解決を図るため、デジタル技術の積極的な活用が求められます。
気候変動・環境問題の深刻化	近年気候変動による記録的な猛暑や豪雨等の自然災害が頻発しています。政府は令和12(2030)年にCO ₂ の排出量を平成25(2013)年比で46%削減し、2050年カーボンニュートラルの実現を表明しています。事業・経済活動と環境問題は密接に関係しており、問題の解決に向け多角的にステークホルダーを巻き込み、市・市民・事業者が協力して取り組む必要があります。
働き方の変化と多様化	コロナ禍がもたらした行動変容により、テレワークやオンライン会議等が普及し、働き方の変化や多様化が進展しました。事業者は、多様な人材が活躍できるような雇用環境の整備やワーク・ライフ・バランスを重視した取り組みを行うとともに、副業や複業、リスクリングなどを通じた新たな担い手の事業・就業参画を推進することが求められます。

2 本市の基本的事項

(1) 戸田市の概要

戸田市は、豊かな荒川の流れに抱かれるような形で埼玉県南東部に位置し、東は川口市、北はさいたま市と蕨市、荒川を挟んで西は和光市、朝霞市、同じく荒川を挟んで南は東京都板橋区に接しています。

江戸時代には五街道の一つ「中山道」の要衝「戸田の渡し」が置かれ、舟運などで栄えました。半径20km圏内に首都圏の大半のエリアが含まれていることに加え、現在も鉄道交通や道路交通が整備されており、高い交通利便性を誇っています。

また、市内には、昭和39(1964)年東京オリンピックのボート競技会場「戸田ボートコース」や、荒川の自然を生かした広大な公園「彩湖・道満グリーンパーク」があり、水や緑を身近に感じることができる環境となっています。

良好な交通網を有するという特徴を活かして、印刷関連業、物流産業をはじめとする産業活動が活発であるとともに、JR埼京線開通以降はベッドタウンとしての側面が強まり、働き盛りの子育て世代や都心部へ通勤する人たちを中心に、人口や労働力も増加し、活力あるまちとして成長を続けています。

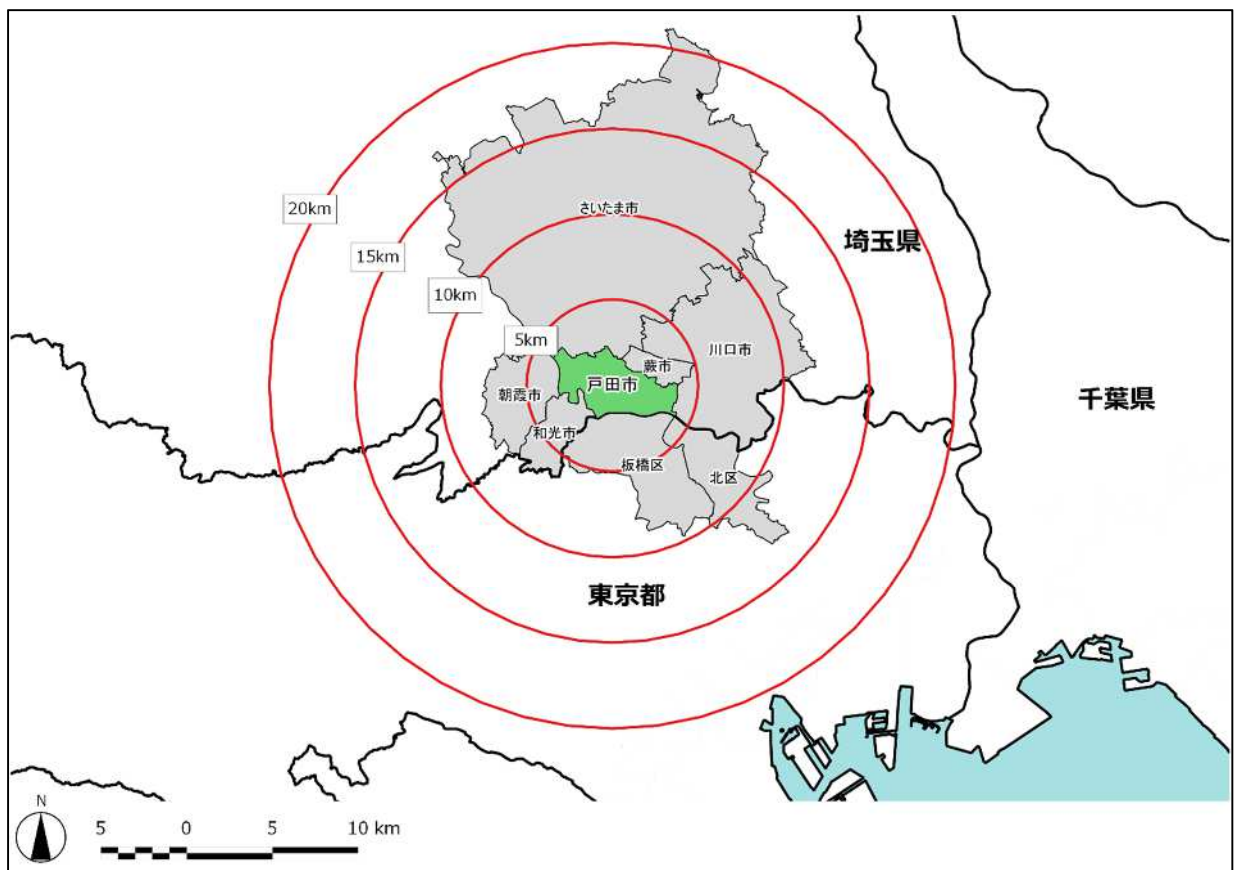


図2 - 1 戸田市の位置

出典：第3次戸田市都市マスタープラン（策定中）

(2)人口

本市の人口は、JR埼京線開通した昭和60(1985)年以降、急激に増加し、住民基本台帳によると、令和7(2025)年1月1日現在では、約14万2千人、世帯数は約7万世帯となっていますが、将来推計人口(ベース推計)では令和22(2040)年まで増加傾向を維持し、その後は減少傾向に転じると予測されています。また、平均年齢は、令和6(2024)年1月1日現在で42.3歳と、県内で最も若くなっています。

年齢3区分別人口については、年少(0～14歳)人口が平成28(2016)年をピークに減少に転じている一方で、生産年齢(15～64歳)人口、老年(65歳以上)人口については、今後も増加すると推計されており、高齢化が進行するものと予測されます。



図2-2 戸田市の人口推移と将来人口推計

出典：実績値…戸田市統計データ、推計値…戸田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る人口ビジョンの人口推計

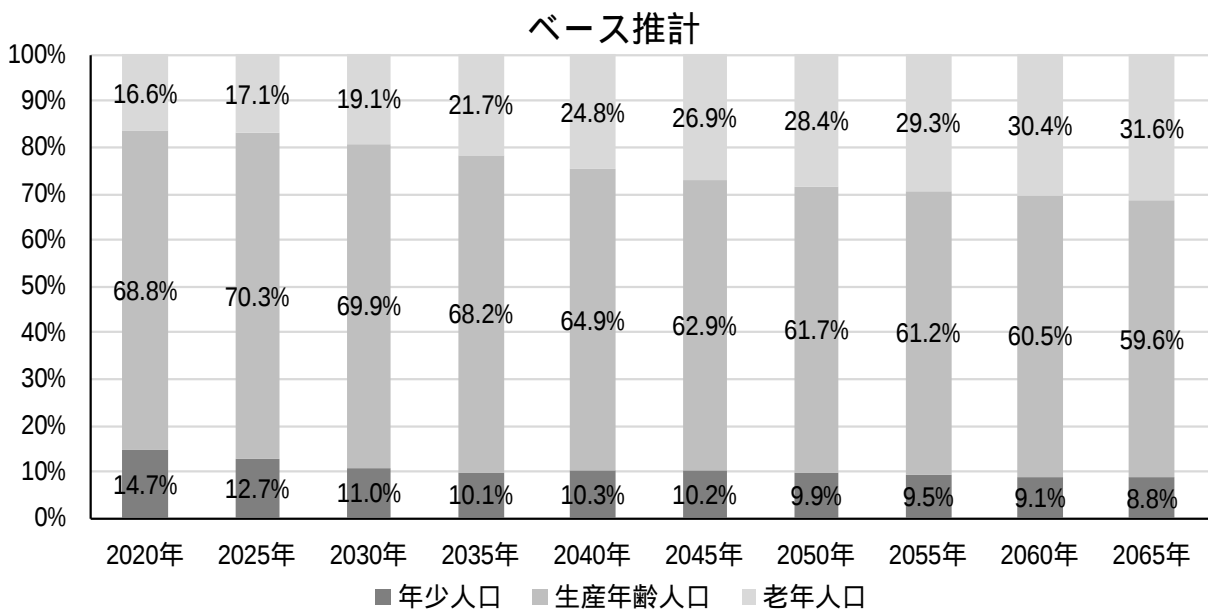


図2-3 戸田市の年齢3区分別将来人口推計

出典：第5次戸田市総合振興計画

(3)土地利用状況

活発な産業集積が形成されている一方で、本市には、住宅と工場等が混在する地区が存在し、立地適正化計画においては、住工が混在する地区は「住工共生ゾーン」として位置づけられ、ゾーンに分けた整備方針が定められています。

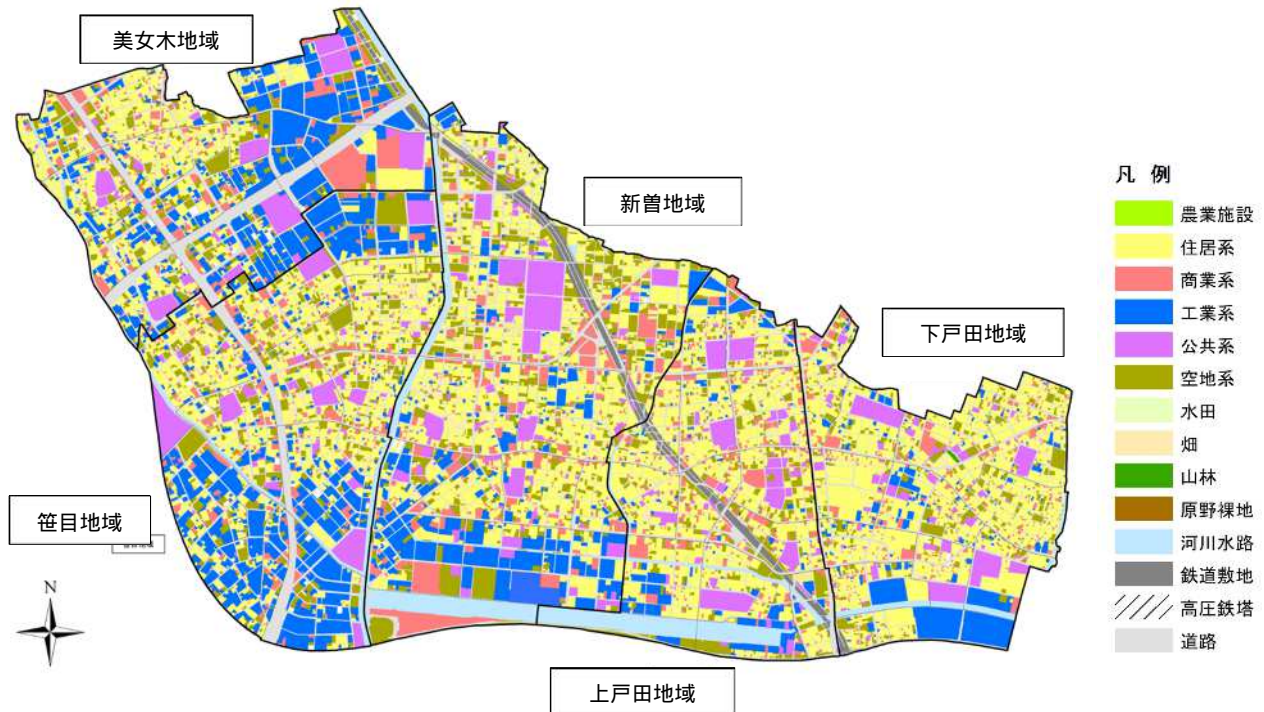


図2-4 土地利用現況図(令和5年)

出典: 第3次戸田市都市マスタープラン(策定中)

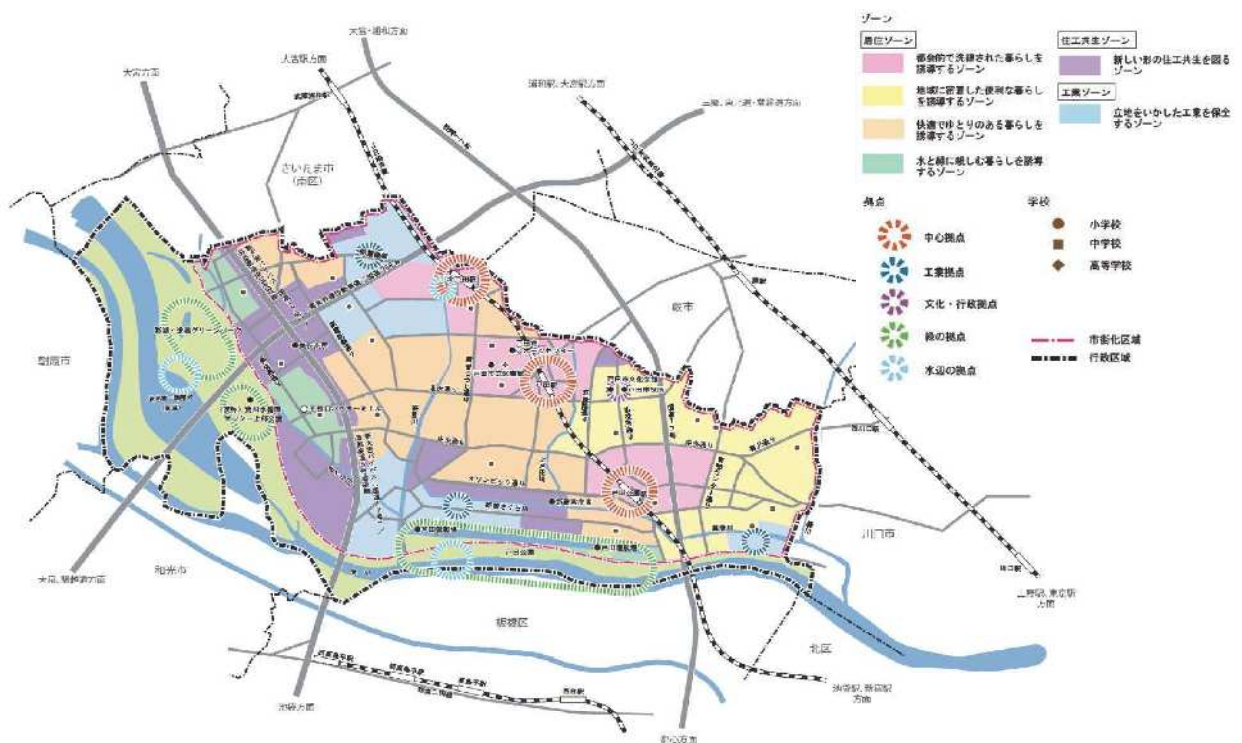


図2-5 立地適正化計画によるゾーン区分

出典: 立地適正化計画

3 本市産業の特徴と現状

(1) 本市産業の変遷と特徴

江戸時代、「戸田の渡し」によって多くの人の往来があったとはいえ、蕨宿や板橋宿の中間地点として人の滞在は少なく、当時の主要産業は農業でした。その後、近代において川口地域の鋳物産業の関連産業として金属加工業が盛んになり、東京オリンピックの頃には、交通環境の良さから、都内への物流拠点として倉庫業などが発達し、消費地東京に対して「情報や商品の鮮度」が求められる印刷関連産業や食品産業を中心とした製造産業、物流加工産業が徐々に集積するようになり、現在に至っています。

現在の産業の特徴として、市内の工業系事業所の大きな柱は印刷製本関連産業となっており、板橋区と埼玉県南部地域で形成する印刷業の一大集積地の中心に位置しています。また、もう一つの柱が食料品製造業であり、次いで一般機械の製造、金属製品やプラスチック製品製造などの割合が高くなっています。

いずれの産業も、首都圏に近接しかつ交通網が発達しているという利便性から、消費者や取引業者との距離的・時間的な近さを最大限に生かし、市周辺エリアの多種多様な企業が連携し合うことで、活発に事業活動を行っています。

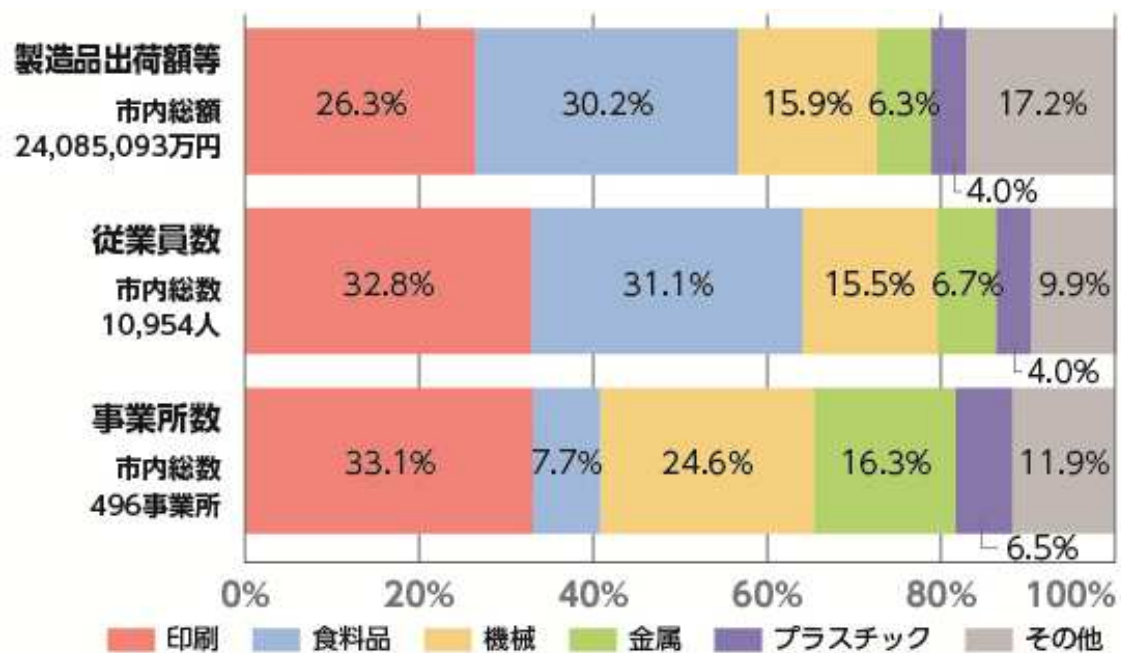


図2-6 戸田市産業の傾向(製造業)

出典：2023年経済構造実態調査 製造業事業所調査

比率は小数点以下第2位を四捨五入しているため必ずしも100とはならない。

(2) 産業構造と産業別構成比

本市の産業3区分別市内総生産(市内で生み出された付加価値の総額(機械等の減価償却を含む)の指標)の割合は、第1次産業が0.001%、第2次産業が25.2%、第3次産業である商業・サービス業等が73.8%と4分の3を占めています。県南地域との比較では、第3次産業の割合は低くなっていますが、本市の地場産業である製造業や建設業等の第2次産業の総生産割合は高くなっています。

産業構成比については、埼玉県全体とほぼ同様の構成となっていますが、本市の特徴として、運輸・郵便業の割合が高いことに加え、近年では卸売・小売業も増加傾向にあります。

また、令和3(2021)年度の市内総生産額については522,349百万円で、県内12位となっており、戸田市の人口・面積規模に照らすと県内でも高い水準にあることがわかります。

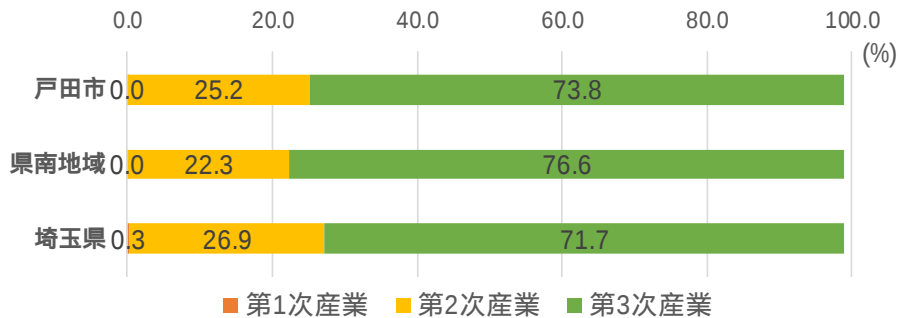


図2-7 産業3区分別市町村内総生産割合

出典: 令和3年度埼玉県市町村民経済計算

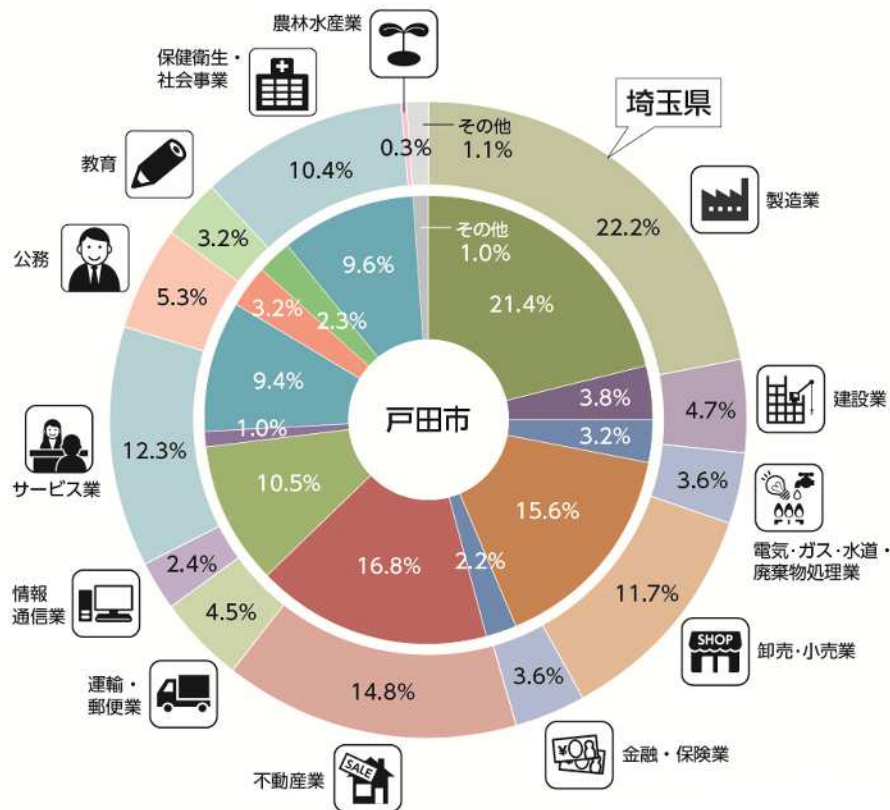


図2-8 埼玉県内及び戸田市内総生産の産業別構成比

出典: 令和3年度埼玉県市町村民経済計算

比率は小数点以下第2位を四捨五入しているため必ずしも100とはならない。

(3) 市内事業所数と従業者数の推移

令和3(2021)年現在における市内の総事業者数は5,276事業者であり、平成24(2012)年比で42事業者の減少となっています。産業大分類別でみると、「卸売業、小売業」が990事業者と最も多く、次いで「製造業」が801事業者、「不動産業、物品賃貸業」が672事業者となっています。直近10年間の推移では、「医療・福祉」が大幅に増加しており、サービス業、教育・学習支援業が微増傾向である一方で、製造業は約200事業所もの減少となっています。

また、市内の総従業者数は69,015人で平成24(2012)年比で約9千万人の増加となっています。産業大分類別では、「製造業」が13,667人と最も多く、次いで「運輸業・郵便業」が12,529人、「卸売業・小売業」が12,280人となっています。直近10年間では、EC市場の拡大により「運輸業・郵便業」が、高齢化の進展により「医療・福祉」が大きく増加している他、大型店舗や学習塾の増加により「卸売業・小売業」や「教育・学習支援業」でも増加傾向がみられます。

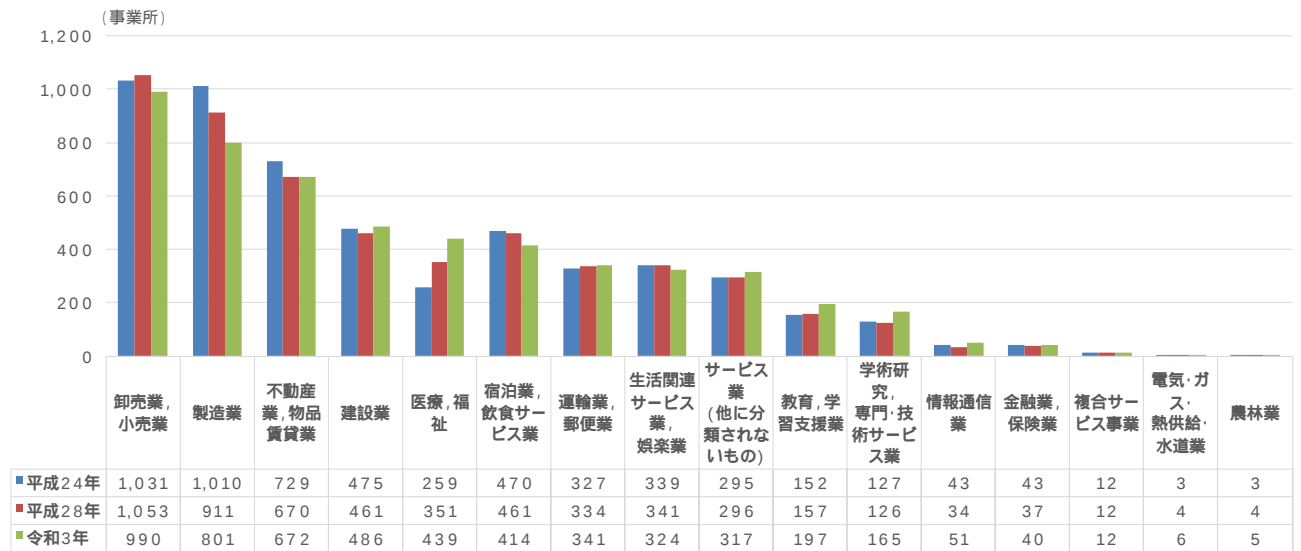


図2-9 産業大分類別市内事業所数の推移

出典：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

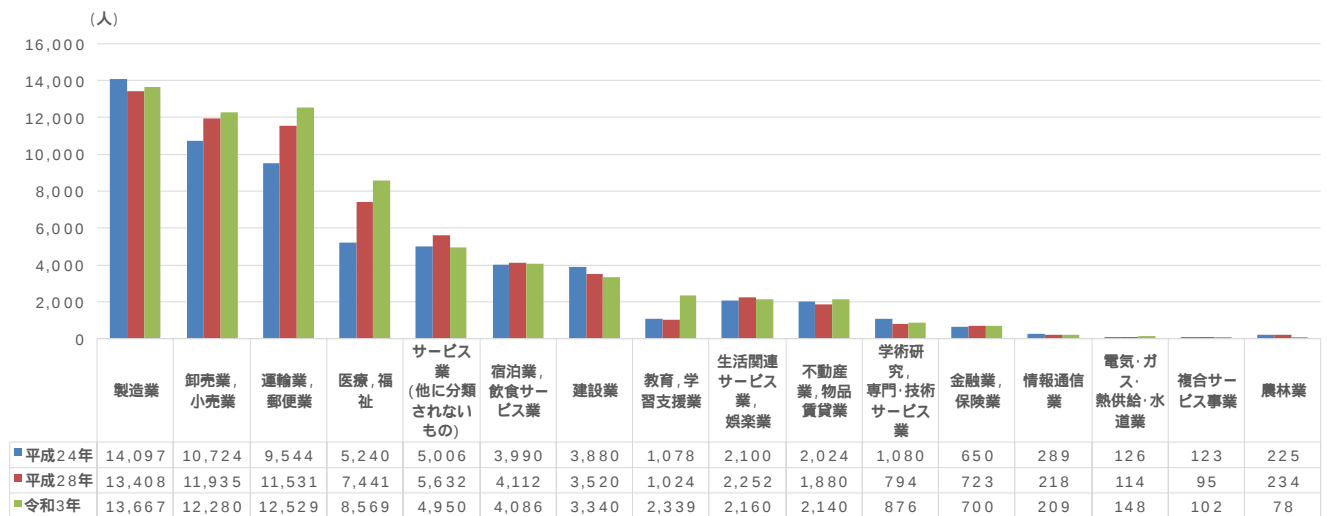


図2-10 産業大分類別市内従業者数の推移

出典：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

(4) 商業における事業所数と従業者数

商業系について平成6(1994)年からの推移をみると、小規模店等における経営者の高齢化や後継者不在による閉店・廃業の増加等により、事業所数は減少傾向にある一方、従業者数、年間商品販売額については、長期的に見ると増加傾向にあります。本市では立地上の利便性の高さから、近年若年層やファミリー層の転入が増加し、これに伴い、大型商業施設の出店が増えていることが影響していると考えられます。

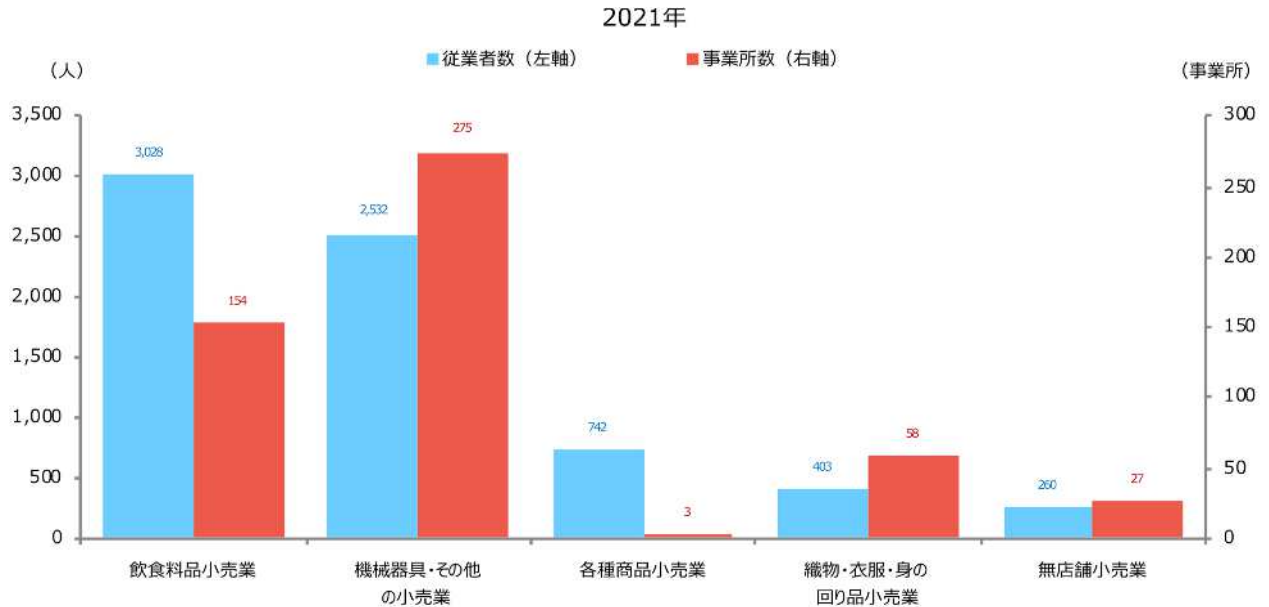


図2-11 産業中分類別従業者数・事業所数(商業・2021年)

出典:総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

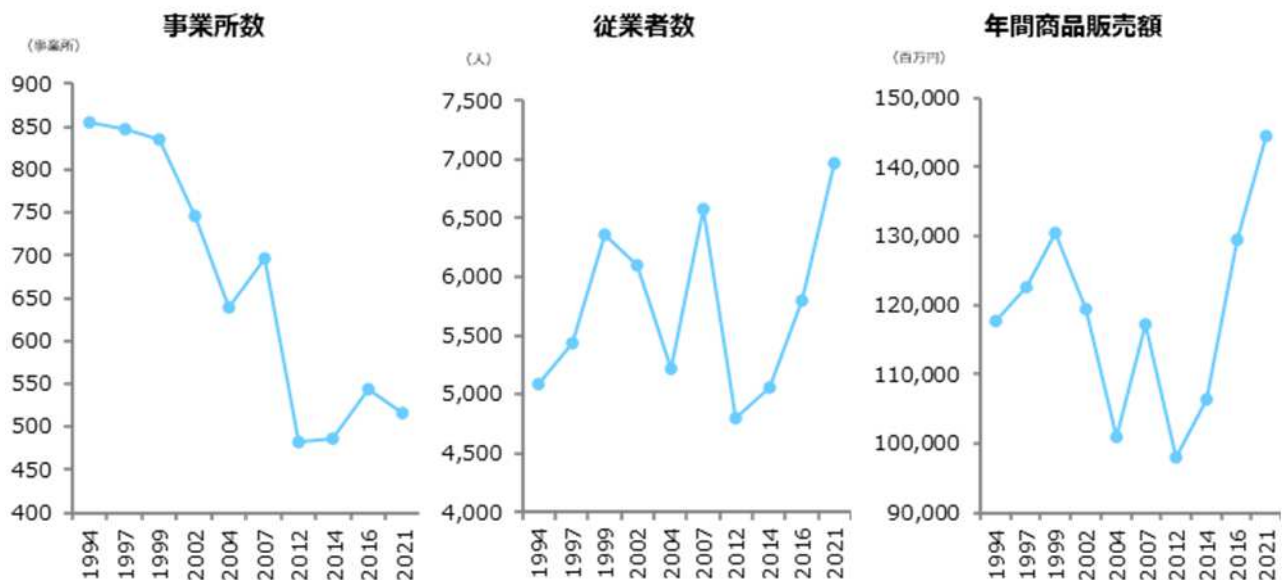


図2-12 事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移(商業)

出典:総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

(5) 工業における事業所数と従業者数

工業系については、2 - (1)(図2 - 6)のとおり、主要産業である印刷・同関連業の従業者数及び事業所数が全体の約3割、食料品製造業における従業者数も全体の3割を占めていますが、平成20(2008)年からの推移をみると、いずれの業種においても、後継者や技術者等の人材不足の影響もあり、事業所数、従業者数、製造品出荷額は年々減少傾向にあります。



図2 - 13 事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移(工業)

出典: 経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省「経済センサス-活動調査再編加工、
総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

従業員4人以上の事業所が対象のため、図2 - 9、2 - 10の製造業の数値とは一致しない。

(6) 本市の地域経済循環と近隣市比較

地域経済の自立度を示す指標として、市内全体での生産(付加価値額)を分配(所得)で除した値である「地域経済循環率」があり、この値が高いほど、地域内で生産された付加価値が、地域内で分配され、循環しており、自立性・地域経済の活力が高いと考えられます。また低いほど、他地域から流入する所得に対する依存度が高く、100%を下回ると域外への資本流出が多いことを示しています。

本市の地域経済循環率については、平成30(2018)年時点で82.9%と埼玉県平均及び県南3市と比べ高くなっています。一方で、100%を下回っている要因として、民間消費額や、その他支出(市内企業が市外から物品・サービスを調達することによるキャッシュアウト等)の域外への流出(1,087億円)が比較的多い傾向が見られ、市内における消費拡大や仕入れの促進を図る必要があると考えられます。

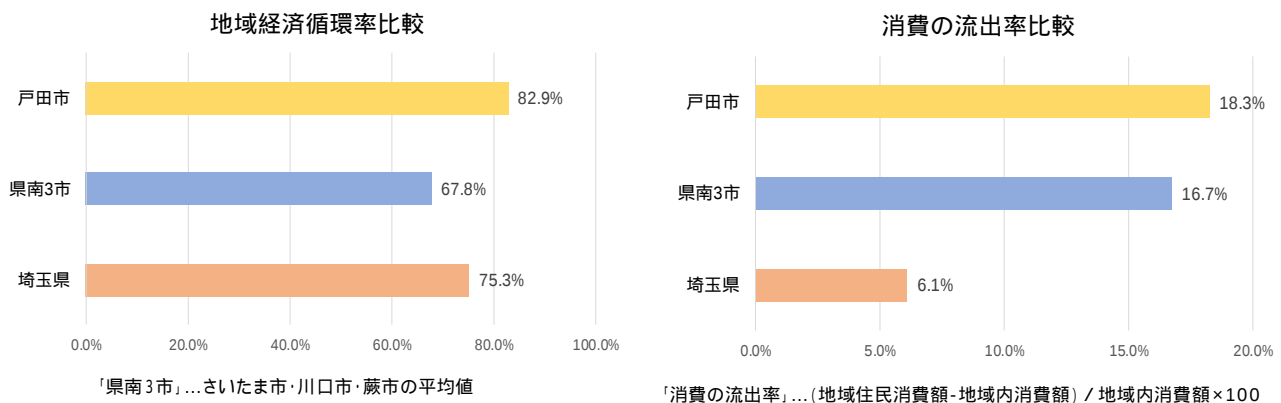
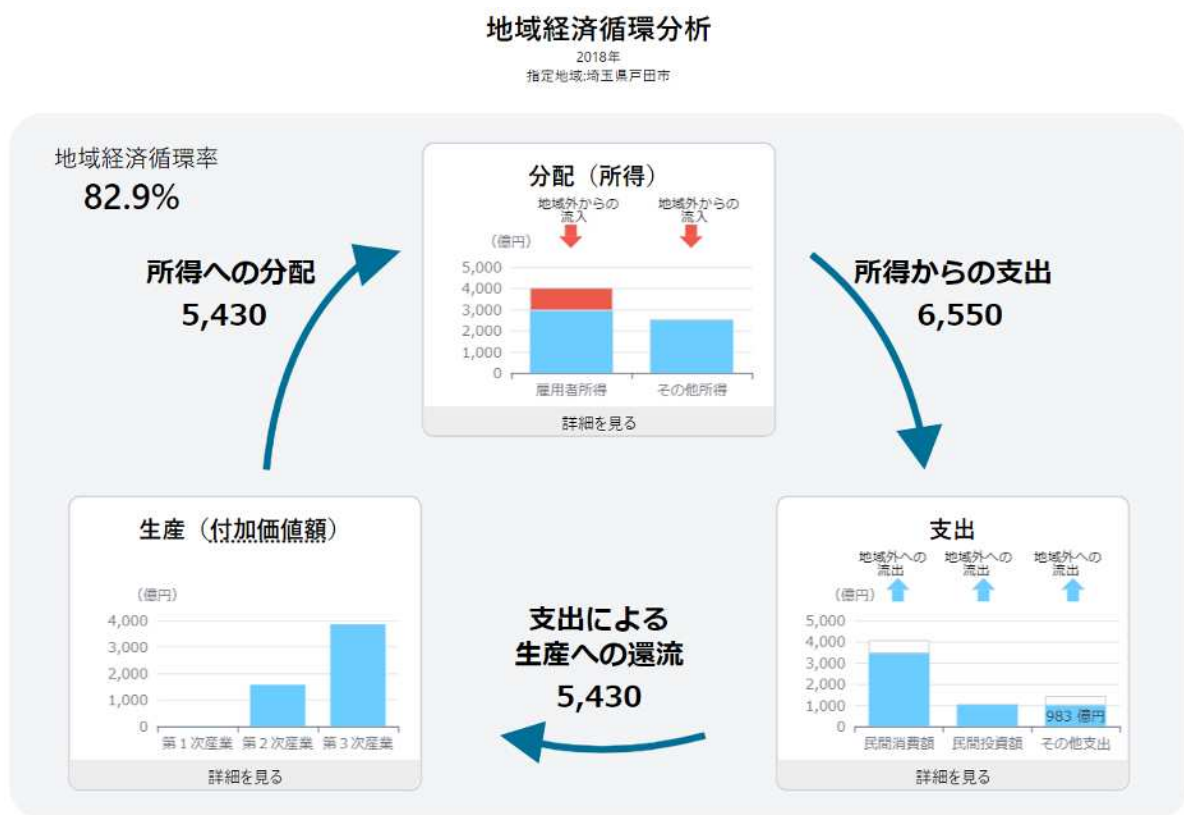


図2-14 本市の地域経済循環分析(埼玉県・近隣市との比較)

出典: RESAS「地域経済循環マップ」

4 本市の産業振興における課題

(1) 経営全般における課題

市内事業者等を対象としたアンケート調査において、経営上の課題を尋ねたところ、「人材確保・育成」が多数を占めており、2024年問題の影響が大きい運輸業や建設業をはじめ、多くの業種で共通する喫緊の課題であることが伺えます。人材不足に関連する課題として、「後継の育成・事業承継」や「業務の効率化」、「技術力・専門性の向上」も上位となっています。

また、「販売力の強化・販路開拓」を課題としている事業者も多く、コロナ禍や物価高騰等の影響による顧客の減少を受け、売上増加に向けた新たな顧客や販売チャネルの開拓が必要となっています。

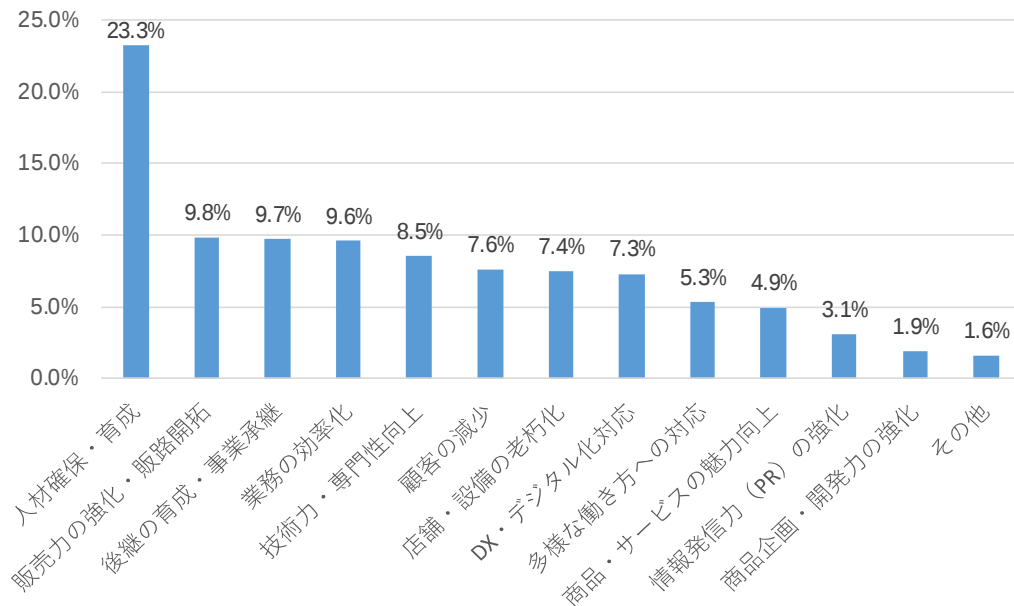


図2-15 市内事業者における経営上の課題

出典：戸田市企業経営状況調査（2025年3月実施）

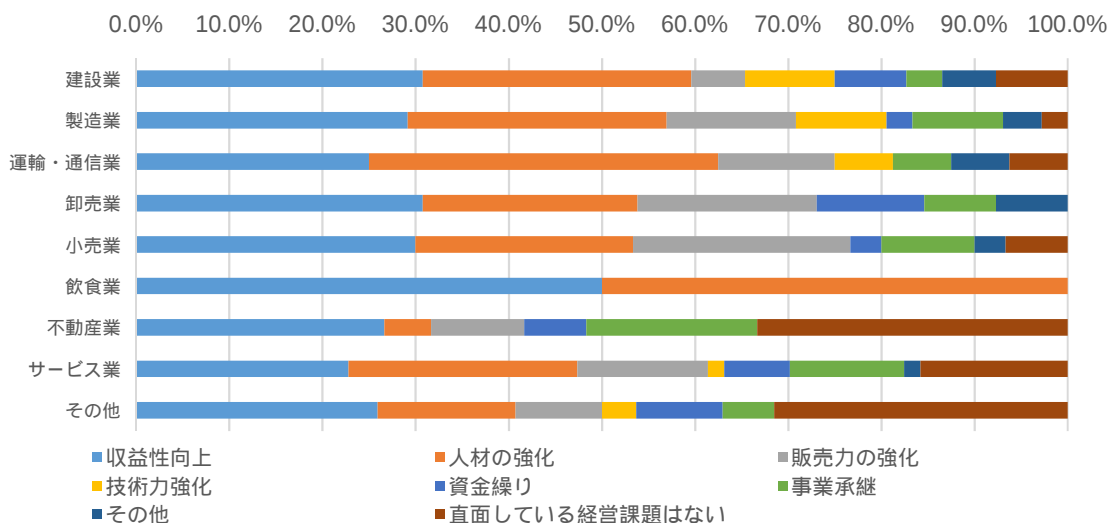


図2-16 市内事業者業種別の経営課題

出典：戸田市景気動向調査（2024年7月実施）

(2) 雇用のミスマッチ

統計データ上、市内の従業者数は大きく増加しているにもかかわらず、企業側が人材不足を最大の経営課題と感じている背景として、企業側が求める人材の要件と求職者側が希望する条件が一致しない、いわゆる「雇用のミスマッチ」が要因の一つであることが考えられます。企業経営状況調査では技術職や専門職が不足しているという結果も出ており、業種別の人材不足の傾向を捉えた上で、企業と求職者のマッチングを促進する取組が求められます。

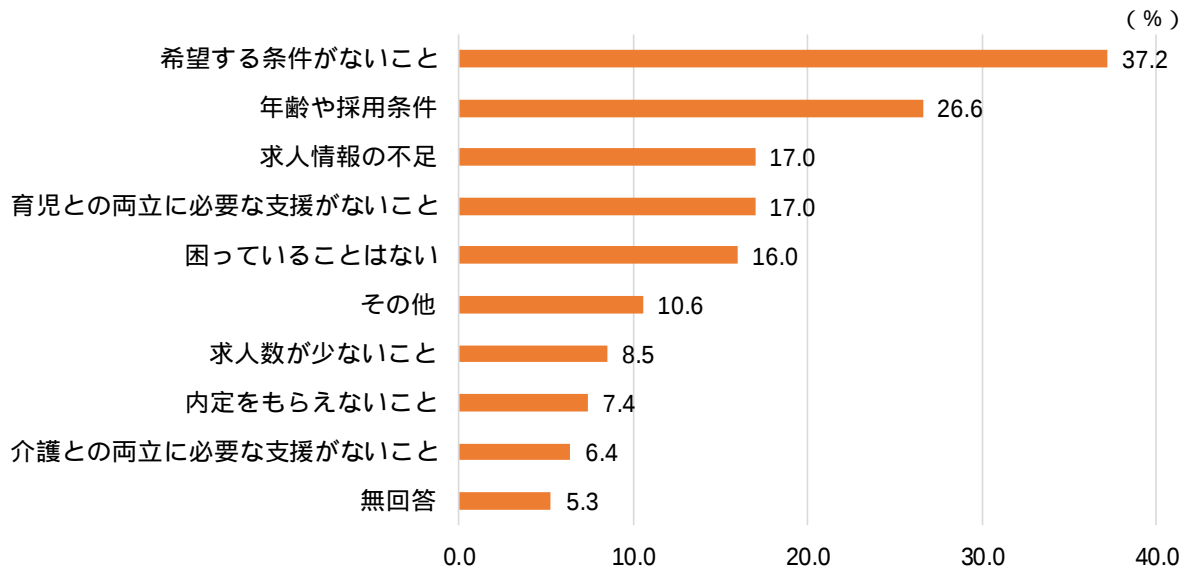


図2-17 求職者の就職活動における困りごと

出典：令和6年度戸田市労働状況調査（未就労調査）

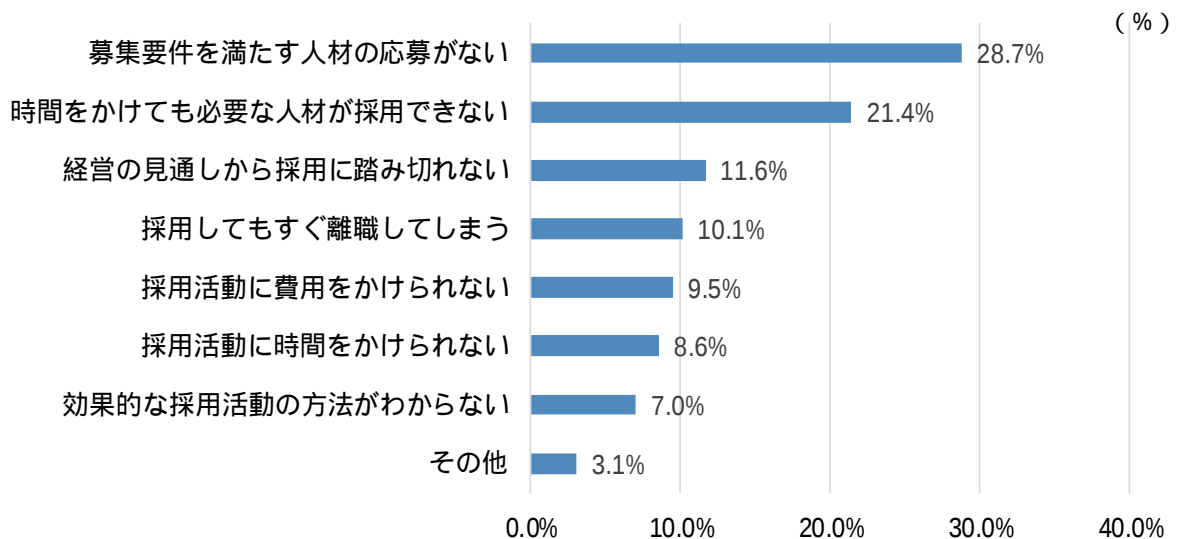


図2-18 市内企業において人材確保ができていない理由

出典：戸田市企業経営状況調査（2025年3月実施）

(3) 既存支援施策の有効性と充実してほしい支援策

現在本市で実施している事業者向け支援施策の中で有効と思われる施策については、経営課題とリンクする形で、「公的資格等取得補助事業」や「人材確保支援事業」といった人材確保・育成に関する支援策が上位を占めており、その他、経営基盤の安定化を図る「中小企業融資事業」やデジタル化による生産性向上を目的とした「DX推進補助金事業」、事業所等の改修等に活用できる「住宅改修資金助成事業」についても有効性を感じている事業者が多いことが伺えます。

また、今後充実してほしい事業者向け支援策についても、「人材確保・育成」、「事業所・店舗の改修・設備購入」、「デジタル化」、「制度融資」への支援に関するニーズが伺える結果となっており、今後も継続的な支援が求められます。

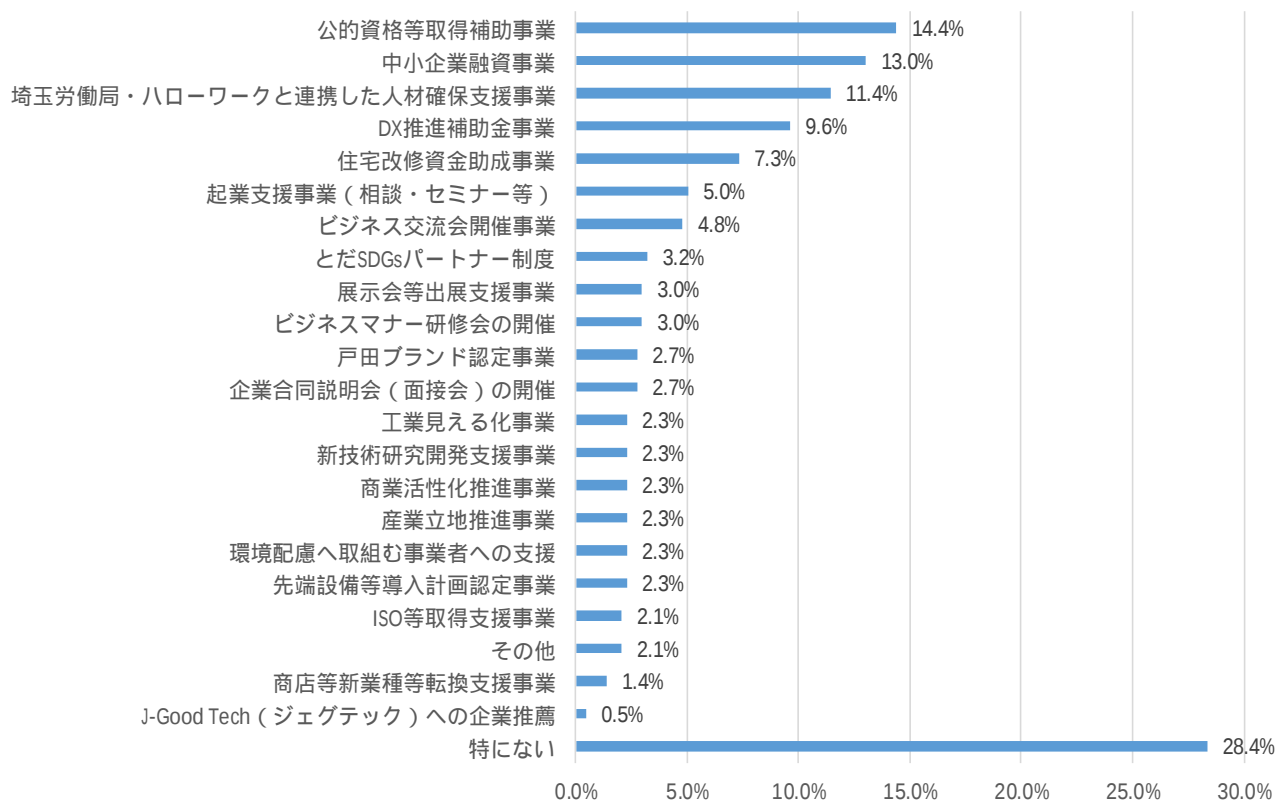


図2 - 19 既存の事業者向け施策のうち有効だと思う施策

出典：戸田市企業経営状況調査（2025年3月実施）

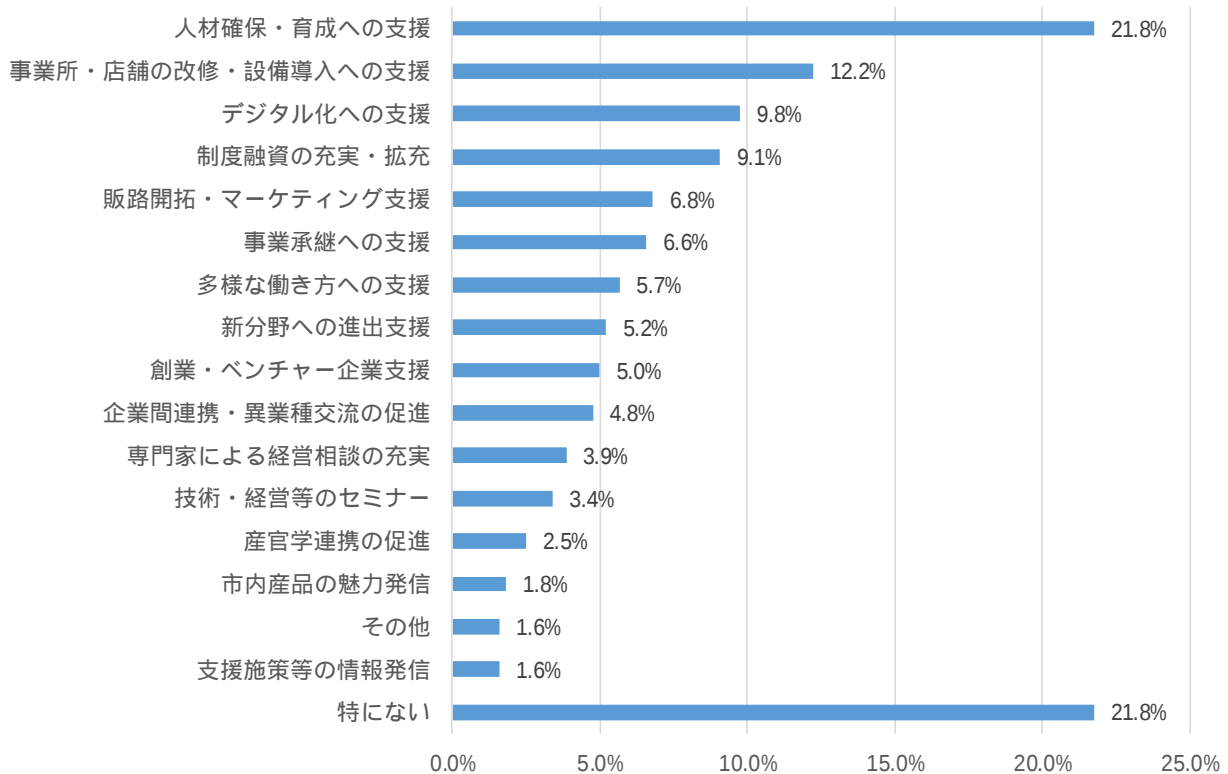


図2 - 20 充実してほしい市の事業者向け支援策

出典：戸田市企業経営状況調査（2025年3月実施）

（4）課題の解決に向けて

前期計画の策定以降、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化したことや原油高・物価高騰、円安等の要因により、本市の地域経済も大きな打撃を受けており、こうした状況下でも事業者の安定的な事業継続と市内の消費回復を図るとともに、市民生活を支えるための施策をいち早く打ち出し、展開してきました。一方で、長引くコロナ禍の影響により人々の行動や価値観、ライフスタイルが大きく変化するとともに、社会や企業におけるデジタル化が飛躍的に進展し、社会の変革をもたらしました。

現在、コロナ禍による業況悪化からの好転やまちなかにおけるにぎわいの回復が見られる一方で、事業者においては、人材不足の深刻化や長引く原材料価格の高騰などにより、経営資源となるヒト・モノの安定的な確保が困難となる状況が続くことが見込まれます。

さらには、災害時における事業継続体制の構築や、SDGs・気候変動等への対応、働き方改革やデジタル化による業務効率化・生産性向上・キャッシュレス化の推進など、多様な側面から情報技術の活用や新たな企業価値を創出する取組が求められています。

こうした先行き不透明な社会情勢の中、第2次戸田市経済戦略プランでは、「人材確保」、「新たな価値の創造」、「経営基盤強化」、「地域魅力発信」の4つの観点から、前期プランにおける施策の有効性を踏まえ、継続実施する施策を整理するとともに、第5次総合振興計画との整合性を図りながら、持続的な経済循環・産業発展を見据えた施策を展開していきます。

第3章 目指すビジョンと基本方針

1 目指すビジョン

本市産業の現状と課題を踏まえ、市内産業の維持・発展や地域経済の活性化に向けた取組を進めることで活力と賑わいのある社会を実現し、市民・企業・地域の三者が手を取り合い、共に輝く未来を創出することを目的として、目指すビジョンを以下のとおり定めます。

人・企業・地域が共創するサステナブルシティ 戸田

2 基本方針

目指すビジョンを実現するため、以下の4つの方向性を経済振興における基本方針として設定し、施策を進めていきます。

1. 人材確保・育成と働く環境の整備

市内企業における人材不足が深刻化している現状を踏まえ、第1の柱として、市の経済を支える人材確保の強化や雇用の促進に向けた支援策を講ずるとともに、多様な人材や働き方に対応した労働環境の整備を支援することで、持続的な経営の継続と発展を図ります。

2. 新たな価値の創造と担い手づくり

持続的な地域活力を創造するためには企業の新陳代謝が不可欠であり、新たな産業の担い手として誰もが起業にチャレンジできる環境整備やイノベーションの創出に向けた支援を講ずるとともに、社会や経済の変化に対応した新たな企業価値の創造を推進します。

3. 経営基盤の強化と持続的発展

原材料費や人件費の高騰等により経営コストが圧迫される中、企業の安定的な経営基盤の構築や事業継続への備えに対する支援を充実させるとともに、販路拡大や生産性の向上による競争力の強化を図ることで、将来を見据えた持続可能な事業運営を支援します。

4. 地域資源の活用と賑わい創出

地域産品や観光資源を広く情報発信することにより本市の認知度を高めるとともに、魅力的な商店の発掘や、地域振興イベント・交流事業等の実施を通して、関係人口の増加や賑わいの創出に繋げ、地域の活性化を図ります。

3 基本方針ごとの施策体系 施策番号、事業名番号の数は仮のものです。

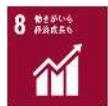
4つの基本方針に基づき、○つの施策と○つの事業を実施することとし、施策体系を以下のとおり示します。

基本方針	施策	事業名
1. 人材確保・育成 と働く環境の整備	1.	
	2.	
	3.	
2. 新たな価値の 創造と担い手づくり	1.	
	2.	
3. 経営基盤の強化 と持続的発展	1.	
4. 地域資源の活用 と販わい創出	1.	
	2.	
	3.	

第4章 展開する施策

基本方針1 人材確保・育成と働く環境の整備

施策1:人材確保・就労支援

1	事業名	埼玉労働局・ハローワークと連携した人材確保支援	継続	
	事業概要			
	目標指標			
	第5次総合振興計画における該当施策			

施策2:人材育成支援

	事業名		継続	
	事業概要			
	目標指標			
	第5次総合振興計画における該当施策			

施策3:多様な働き方推進環境整備

	事業名		継続	
	事業概要			
	目標指標			
	第5次総合振興計画における該当施策			

基本方針2 新たな価値の創造と担い手づくり

施策1: 起業・創業支援の充実

	事業名		継続	
	事業概要			
	目標指標			
	第5次総合振興計画における該当施策			

施策2: イノベーションの創出

	事業名		継続	
	事業概要			
	目標指標			
	第5次総合振興計画における該当施策			

施策3: 社会貢献活動支援

	事業名		継続	
	事業概要			
	目標指標			
	第5次総合振興計画における該当施策			

基本方針3 経営基盤の強化と持続的発展

施策1:経営基盤の安定化

	事業名		継続	
	事業概要			
	目標指標			
	第5次総合振興計画における該当施策			

施策2:競争力の強化

	事業名		継続	
	事業概要			
	目標指標			
	第5次総合振興計画における該当施策			

施策3:持続可能な事業運営

	事業名		継続	
	事業概要			
	目標指標			
	第5次総合振興計画における該当施策			

基本方針4 地域資源の活用と販わい創出

施策1:地域産品の創出と魅力発信

	事業名		継続	
	事業概要			
	目標指標			
	第5次総合振興計画における該当施策			

施策2:販わいの創出と地域活性化

	事業名		継続	
	事業概要			
	目標指標			
	第5次総合振興計画における該当施策			

施策3:観光資源の情報発信

	事業名		継続	
	事業概要			
	目標指標			
	第5次総合振興計画における該当施策			

第5章 計画の推進・評価

1 計画の推進体制

本プランの推進にあたっては、「戸田市中小企業振興条例」に規定した、企業（事業者）、市民、市の各主体がそれぞれの役割を果たしつつ、商工会や金融機関等の関係機関を含め、相互の連携を密にしながら、協働により推進します。

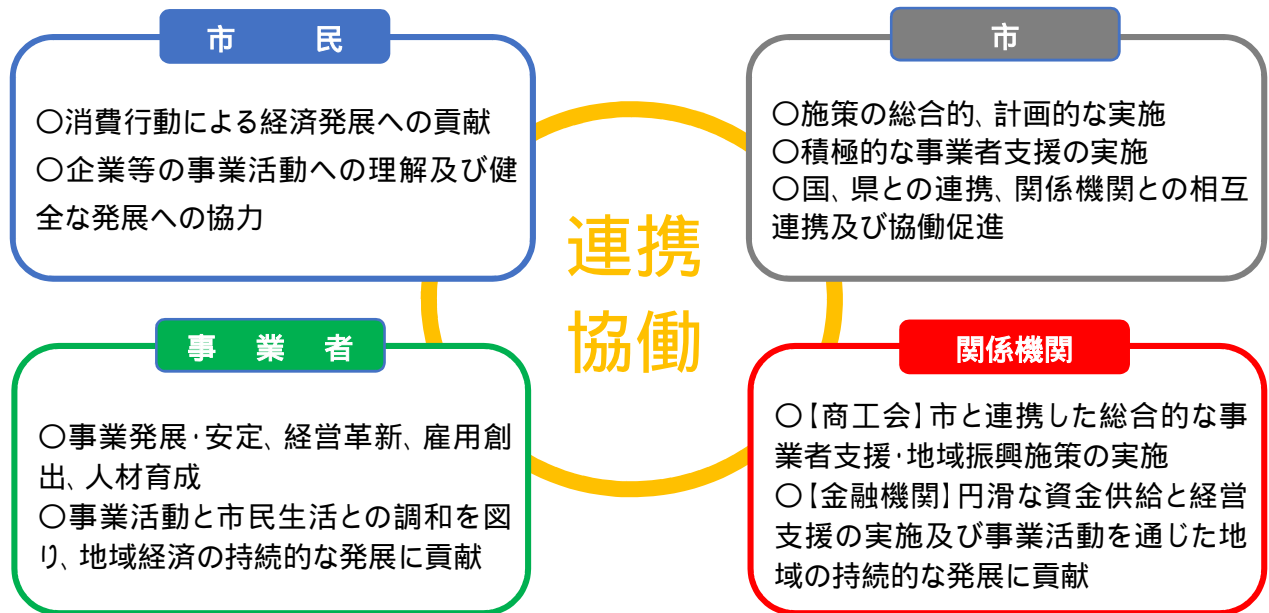


図5-1 計画の推進体制概念図

2 計画の進行管理と評価

本プランは、令和12（2030）年度を目標年度としていますが、経済産業の分野は社会情勢、諸制度及びニーズの変化など予測が困難な要素が多く存在するため、策定後に起こり得る諸課題へ柔軟に対応すべく、毎年度見直しを行います。

本プランの進捗管理は、戸田市総合振興計画における行政評価システムで実践されているように、PDCAサイクルにより進捗状況を庁内で自己評価をするとともに、毎年度第三者による外部評価を実施することにより、専門的な見地から事業の実施状況や目標の達成状況等についての検証をしていきます。

また、評価については、第4章「展開する施策」に掲載している○○の各事業の目標となる指標の実績により評価するものとします。

なお、外部評価機関としては、中小企業経営者、学識経験者及び行政機関職員等により構成されている戸田市中小企業振興会議がその任に当たることとします。

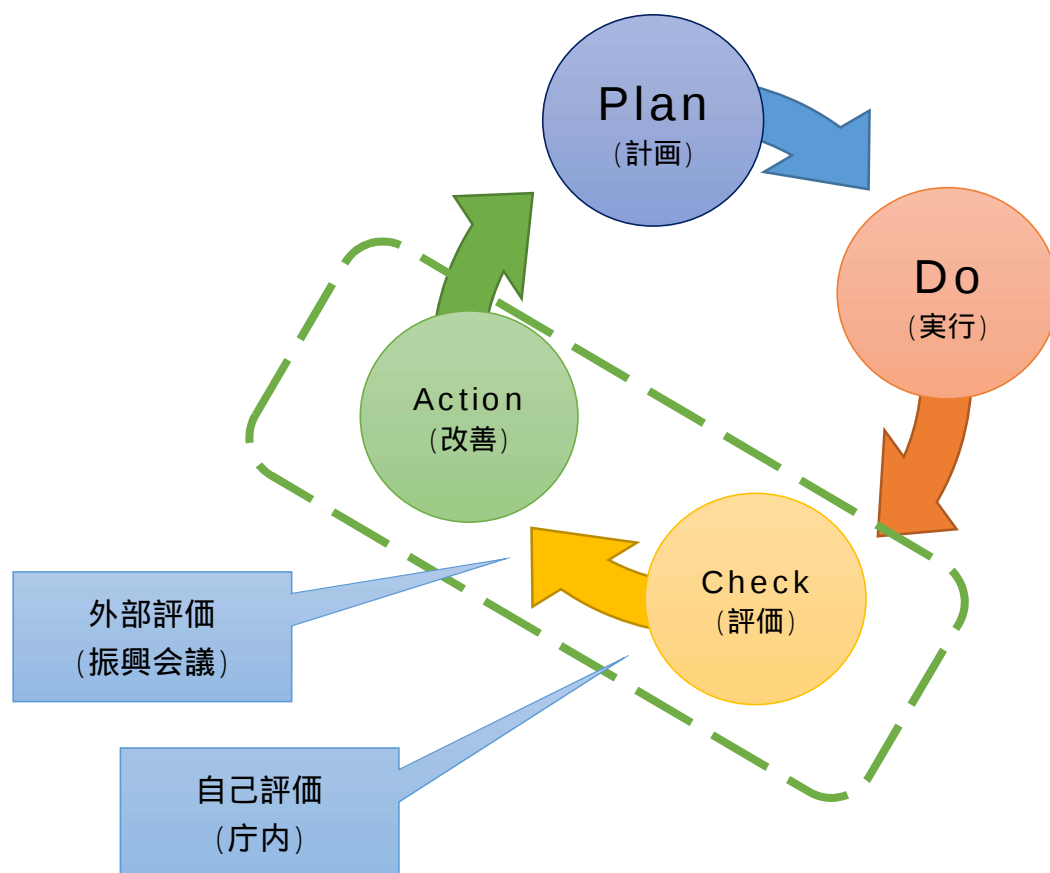


図5 - 2 計画の進行管理模式図